

# 終了しました

## 令和2年度 埼玉大学 学生募集要項

### 一般入試（前期日程）

教養学部・経済学部(昼間コース)・教育学部・理学部・工学部

### 一般入試（後期日程）

教養学部・経済学部(昼間コース)・理学部・工学部

### 帰国子女入試

教養学部・工学部

### 私費外国人留学生入試

教養学部・経済学部(昼間コース)・教育学部・理学部・工学部

#### 不測の事態が生じた場合における本学からの情報提供について

公共交通機関の乱れや自然災害の影響などにより、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、以下のWEBサイトにてお知らせします。

なお、これらの不測の事態が生じた場合は、試験日程や入学者選抜方法を変更した上で、入学者の選抜を行うことがあります。

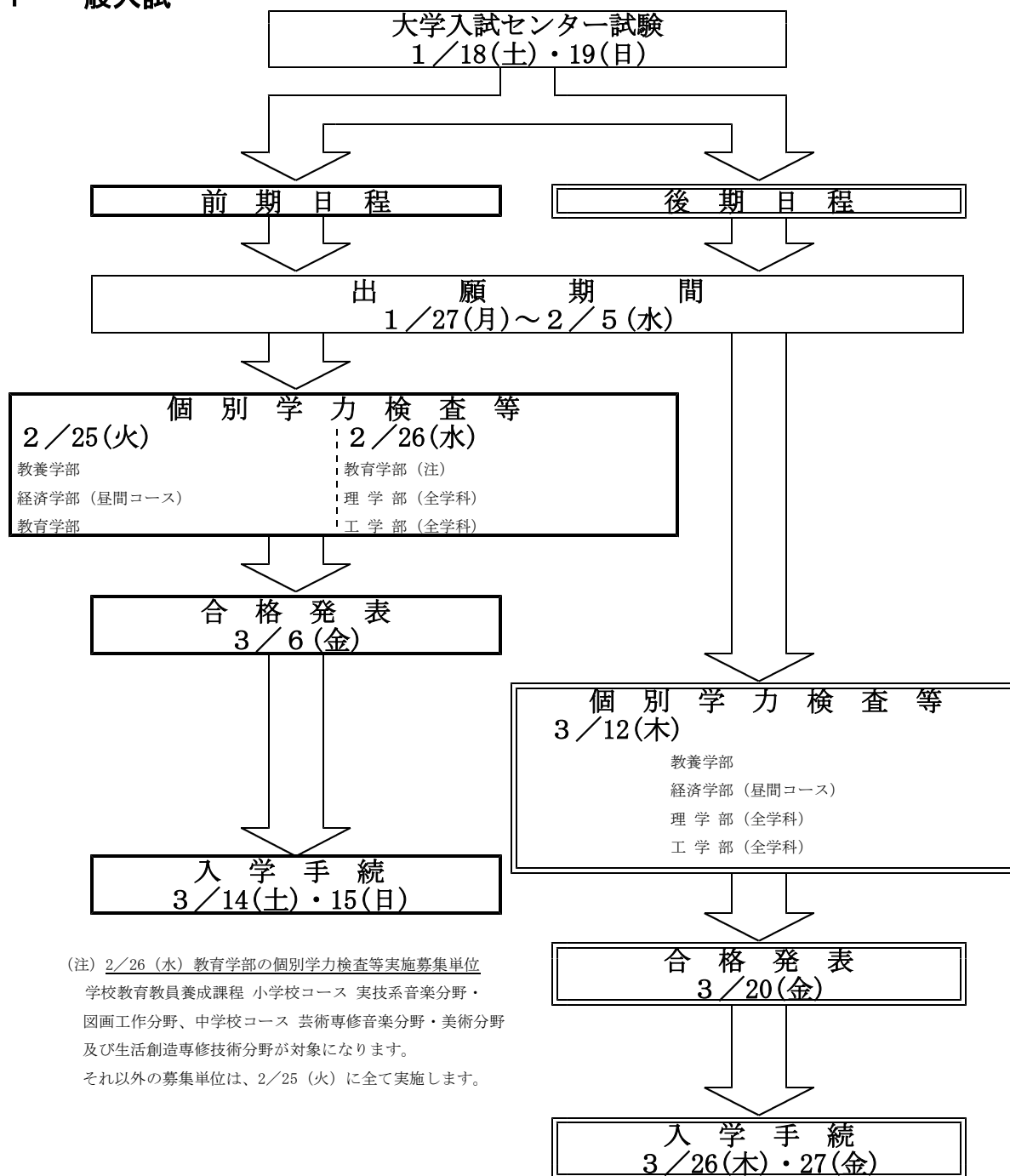
・埼玉大学ホームページ

<http://www.saitama-u.ac.jp>

令和元年11月

# 令和2年度入学者選抜日程の概要

## 1 一般入試



## 2 特別入試

選抜区分	出願期間	学部	入試期日	合格発表	入学手続
帰国子女入試	1/20(月)～ 1/27(月)	教養学部	2/25(火)	3/6(金)	3/14(土), 15(日)
		工学部	2/26(水)		
教養学部		2/25(火)	3/6(金)	3/14(土), 15(日)	
経済学部 (昼間コース)		2/18(火), 20(木)			
教育学部		2/21(金), 25(火), 26(水) ※			
私費外国人 留学生入試			理学部	3/12(木), 13(金)	3/20(金)
	工学部		2/26(水)	3/6(金)	3/14(土), 15(日)

※志望課程・コース・専修・分野によって日程が異なるため、67頁を確認すること。

# 目 次

<b>I 入学者受け入れの方針</b>	3
<b>II 一般入試 募集人員及び出願資格等</b>	
1 学部・学科・課程・コース・系・専修・分野及び募集人員	7
2 出願資格	8
3 出願にあたっての留意事項	8
<b>III 一般入試 選抜方法等</b>	
1 前期日程 選抜方法	10
2 後期日程 選抜方法	11
3 大学入試センター試験及び個別学力検査等の出題教科・科目、配点等	12
4 前期日程（面接・小論文・総合問題）	38
5 前期日程（教育学部実技検査）	40
6 後期日程（小論文）	43
7 調査書について	43
8 入試過去問題の活用について	43
<b>IV 一般入試の個別学力検査日程及び出願手続等</b>	
1 前期日程（個別学力検査等日程、出願手続、合格者の発表、入学手続）	44
2 後期日程（個別学力検査等日程、出願手続、合格者の発表、入学手続）	48
3 Web出願の流れ	51
4 受験票のダウンロード	54
5 合否照会システムの利用方法について	56
<b>V 帰国子女入試</b>	
1 募集人員及び選抜方法	57
2 出願資格	58
3 出願手続	59
4 合格者の発表	60
5 入学手続	60
6 Web出願の流れ	61
7 受験票のダウンロード	64
8 合否照会システムの利用方法について	66
<b>VI 私費外国人留学生入試</b>	
1 募集人員及び選抜方法	67
2 出願資格	72
3 修了証明書及び成績証明書等	73
4 出願手続	74
5 試験当日必ず持参するもの	75
6 合格者の発表	75
7 入学手続	75
8 Web出願の流れ	77
9 受験票のダウンロード	80
10 合否照会システムの利用方法について	82

## Ⅶ 全選抜共通事項

1	出願・受験等に関する注意事項等について	
1	障がい等のある入学志願者の事前相談について	88
2	併願校の記載について	88
3	受験にあたっての注意事項	89
4	欠員補充	89
5	埼玉大学入試情報ホームページ(出願状況、合格状況、欠員補充第2次募集)	89
6	入試情報の開示	89
7	個人情報の保護について	90
2	埼玉大学の検定料免除及び奨学生について	
1	検定料の免除	90
2	奨学生	90
3	高等教育の修学支援新制度について	91
4	学生宿舎について	91

# I 入学受け入れの方針

首都圏の一角を構成する埼玉の地で、ひとつのキャンパスに全学部が集まる総合大学として、埼玉大学は多様な個性が行き交い、融合する場として発展することを目指しています。私たちの下で学んだ卒業生が主体的にこの機会を活かし、知の継承を支える人に育つことを期待します。

社会を構成する組織と活動はますます広域化・複雑化しており、多くの人や組織をひとつの目的に向けて協力させることは困難になる一方で、切実に必要とされています。埼玉大学は実験報告や演習などを通じて知を伝え合う教育や、英語など国際化教育のために多くの資源を割いていますが、自分が確かな専門性を持ってこそ、交流による相互貢献も豊かなものになります。専門的な知を得ること、それを伝え、また受け入れること、そしてその全体を主体的に推し進めることのすべてが大切です。

埼玉大学の各学部では、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に沿った多様な教育を実施し、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った厳格な卒業認定を行います。埼玉大学および入学する学部について、ふたつのポリシーを理解し、自らが学ぶ場として主体的に選んでくれることを、すべての入学者に希望します。

多様性は現代の大学に課された重要課題です。大学もまたひとつの社会なので、教職員も含めすべての参加者が国籍や性別、ハンディキャップの有無に関わらず、互いに尊重し合う方法を学ばなければなりません。

埼玉大学は、キャンパスに多様な知性が輝き融合するよう、各学部・学科等において様々な条件の入試を課します。

## 【教養学部】

**教養学部では、次のような人材の育成を目指します。**

教養学部は、グローバル・ガバナンス、現代社会、哲学歴史、ヨーロッパ・アメリカ文化、日本・アジア文化の5専修より構成され、人文学・社会科学の伝統・成果の継承と、多様な文化や価値観の理解を深めるための教育・研究を行っています。自ら問題を設定し解決する能力と、国内外の人々との的確なコミュニケーション能力を身につけて現代の諸問題に適切に対処し、解決の展望を切り拓ける人材の育成を目標としています。

**教養学部では、次のような知識の修得、能力の獲得を目指した教育を行います。**

- ① 人文学、社会科学、自然科学に関する幅広い基礎知識
- ② 人文学、社会科学の専門分野(グローバル・ガバナンス、現代社会、哲学歴史、ヨーロッパ・アメリカ文化、日本・アジア文化)における十分な知識と能力
- ③ 国際的視野を持ち、国内外の多様な文化及び価値観を理解する能力
- ④ 自ら問題を設定して論理的に考察し、表現する能力
- ⑤ 国内外の人々との的確に意思を疎通できる能力

**教養学部では、次のような人が入学することを望んでいます。**

- ① 高等学校までの課程の教育内容を幅広く修得している人
- ② 自らを高め、社会に貢献する意欲と経験のある人
- ③ 様々な地域・時代の人々及びその文化に関心と敬意を抱ける人
- ④ 英語をはじめとする外国語を修得する意欲のある人

## 【経済学部】

**経済学部では、私たちの下で学んだ卒業生が次のような人に育つことを期待します。**

- ① 自らの感性を生かし、すすんで問題を発見し、その解決方法を探究できる人
- ② 国際的視野をもち、社会に積極的に意見を発信し、貢献することができる人
- ③ 自らの教養と専門的知見を、卒業した後も積極的に高めていくことができる人

**経済学部では、次のような知識、能力などの獲得を目指した教育を行います。**

- ① 社会科学に関する幅広い基礎知識と、各専門分野（経済分析、国際ビジネスと社会発展、経営イノベーション、法と公共政策）についての体系的で深い専門的知識
- ② 疑問を学びにつなげ、目的に沿って学びをデザインする能力(必修科目「アカデミック

- ・スキルズ」など)
- ③ 国際的視野に裏打ちされた対話能力(プレゼミ、演習など)
- ④ 自ら問題を発見・探求し、その成果を統合的にまとめ、効果的に発信できる能力(卒業研究)

**経済学部では、次のような人が入学することを望んでいます。**

- ① 高等学校までに学ぶべきことがらを幅広く修得し、入学後に必要な基礎学力を有している人
- ② 国内外の社会のさまざまな問題に対して旺盛な好奇心や知的関心をもち、それらを学ぶ意欲が高い人
- ③ 自分の将来像を思い描き、その中に経済学部で学ぶ意味を位置づけられる人
- ④ 幅広い教養と社会科学の専門的知見を身につけて、社会に貢献したいと考えている人
- ⑤ 自らの知識や経験を生かして、生涯にわたり自分自身をさらに発展させようと考えている人

**経済学部では、入学する皆さんに次のような学習姿勢を期待します。**

(1) 基礎学力の習得

- ・ 思考を明瞭にし、人に正しく伝える基礎的な力として、意味を明確に理解して使いこなせる豊かな語彙を蓄えること。
- ・ 断片的な知識の後ろにある一般的な論理や構造に関心を持ち、ある事柄が正しいと認めるときは、そのための条件や前提を合わせて理解すること。

(2) 国内外の社会への関心を養うこと

- ・ 社会の諸現象について、過去の例、他地域・他産業の例などとの比較の視点を持ち、そこから学べる点を自分の言葉にまとめ直して、すぐ取り出せるようにしておくこと。
- ・ ひとつの問題を複数の立場(利害関心)や複数の社会的な望ましさからとらえ、それらの対立点を理解し、複合的に問題を見る練習をすること。

(3) 論理的思考力・表現力およびその基礎となる読解力の習得

- ・ 主張の根拠とその確からしさを意識し、相対的・客観的な見方によって議論を整理できるようになること。
- ・ 文章やデータなどの判断材料に基づき、正しいかどうかを客観的に判断する多様な方法を身につけ、具体的な問題に応用できるようになること。
- ・ 文章構成(論理の流れ、段落分けなど)を意識した、平明に論旨が伝わる文章が書けるようになること。

## 【教育学部】

**教育学部では、次のような人に育つことを期待します。**

教育学部は幼稚園(認定こども園を含む)・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校など、様々な学校で活躍する教員を育成するための学部です。教育学部における学びを通じて、確かな学力を有した力量ある質の高い教員に育つことを目標とします。そのために必要な資質・能力として、まず、豊かな人間性や社会性、主体的に行動する態度、常に学び続ける姿勢などが育まれることを期待します。その上で、教育の場で出会う多様な人々との関りの中で問題を解決していく力と、各教科・諸学に関する高い専門性と教員としての幅広い知識・実践力という二つの力量を統合させた人材が育成されることを期待します。

**教育学部では、次のような知識の修得、能力の獲得などを目指した教育を行います。**

- ① 人文学・社会科学・自然科学を通じた幅広い教養・知識
- ② 教育にたずさわる人が身につけておくべき幅広い基礎知識
- ③ 教育の諸分野(教育に関する諸分野・各教科に関する様々な学問)に関する専門的な知識・技能
- ④ 問題の答えを主体的に探し求めるのに必要な思考力・判断力・表現力
- ⑤ 教育の場における高度な実践的指導力
- ⑥ 豊かな人間性を有し、多様な人々との相互理解を通じて協働できる人間力

**教育学部では、次のような人が入学することを望んでいます。**

- ① 幼児・児童・生徒の個性を伸ばし、社会を生き抜く力をはぐくむ教職への意欲・情熱・使命感がある人
- ② 幅広い教育に対する問題への関心の中に、自分の探求したい得意分野がある人
- ③ コミュニケーション能力や表現力が豊かで、相手の立場に立って考え、周囲と協調して行動できる人
- ④ 高等学校までに学ぶべき事項を幅広く修得し、入学後、専門的な知識・技能を理論と実践の両面にわたって修得するために必要な、諸教科の学力や実技能力を有している人

- ⑤ 入学後の学修において必要となる、様々な諸問題に柔軟に対応できるだけの確かな学力を有している人

## 【理学部】

理学部では、次のような人を育成することを目指しています。

理学とは広く数学・物理・化学・生物・地学にわたる自然科学を対象として、その謎を解き明かし、自然現象の把握に有効な概念を確立し、その現象を支配する法則を発見し、それを活用・応用していく英知を持って広く社会の進歩に貢献することを目指す学問分野です。埼玉大学理学部には、これらの基礎的な自然科学分野を網羅し、その関連性も重視した5学科（数学科・物理学科・基礎化学科・分子生物学科・生体制御学科）が設置されています。

理学部では、学士課程学生(以下、学生)が、自らが専攻する専門分野を、基礎から応用へむけて段階的に学び、専門知識と思考力・探求力・問題発見および解決力を修得・獲得することを目指します。また理学部では、学生が専攻する専門分野を超えて、広く自然科学分野の知識と思考力を修得し、加えて人文学、社会科学、現代テクノロジー分野についても幅広い基本的知識を身につけ、自らが修得した知識を活用できる汎用的な能力や国内外の人々とのコミュニケーション能力を身につけた人材を育成することを目指しています。

理学部では、このような知識を修得し、能力・技能を獲得した学生が社会の様々な分野に進出したのちに客観的な判断力と合理的な決断力を発揮できる人材として活躍すること、あるいはさらに大学院に進み、高度な研究環境のもとでさらなる研究能力の向上に研鑽し、その学問分野の理解を深め、研究者や高度専門職業人として社会をリードし、中核となって活躍する人材として成長することを期待します。

理学部では、次のような知識の修得、能力などの獲得を目指した教育を行います。

理学部では入学した学生を、「育成したい人材像」に向けて育成するために、以下の知識・能力・技能を修得・獲得するための教育を行います。

- ① 自然科学の専門分野に対する十分な知識と思考力、問題発見および解決能力  
学生が所属する学科が開講する講義・実験・演習・実習等授業を受講し、専攻する専門分野を基礎から応用へ向けて段階的に学ぶことにより、専門知識と思考力・探求力・問題解決力・分析力を高度に深化・育成する教育を行います。
- ② 自然科学に対する幅広い基礎知識  
専攻する専門分野を超えて、理学部他学科等が開講する授業を受講することにより、広く自然科学に関する知識とそれを踏まえた思考力を修得する教育を行います。
- ③ 人文学、社会科学、現代テクノロジー、情報機器に関する基本的理解・技能  
埼玉大学基盤科目群の授業等を受講することにより、社会人として身につけておくべき基礎知識・技能の修得、またそれを生かした思考力を育成する教育を行います。
- ④ 知識を活用できる汎用的な能力、国内外の人々との確に意思疎通できるコミュニケーション能力  
理学部や各学科が開講する関連授業を受講することにより、理工系人材として、専門知識以外の身につけるべき能力の獲得と向上を目指す教育を行います。

理学部では、次のような人が入学することを期待します。

自然科学の各分野に関わり、強い知的的好奇心と探求心を有することは、学士課程で理学を学び、継続的に自己を磨き進化させていくための原動力です。埼玉大学理学部で学ぼうとする皆さんには入学時において、

- ① 自然科学の学問分野に関心を持ち、その分野の専門知識を主体的に学習し、修得することに強い好奇心と熱意をもっていること。
- ② 「理学部の入学者受入れの方針」に書かれた理念に共感するとともに、その方針に従い学修に努め、将来、学士あるいは修士・博士課程を修めた、自然科学分野の専門性を有する社会人として、様々な分野で社会に貢献しようとする志をもっていること。  
これらに加えて、入学までに身につけておいてほしいことは以下の点です。
- ③ 入学後の理学部各学科での学修で必要となる理科、数学について、高等学校学習指導要領に基づき「学ぶべき事項」を幅広く修得していること。加えて、英語・国語は自然科学の研究活動における国際的な共通言語として、また論理的な文章の作成のための素養として不可欠であり、これらの語学能力を今後さらに発展させるために十分な基礎力を入学時に有すること。
- ④ 高等学校における理科・数学に関わる実験・演習、もしくは課外活動は、自然科学を学ぶ上で必要な論理的思考力や分析力・判断力を育くむために有効な取り組みです。加えて、協働して実験・演習などの課題に取り組む経験はコミュニケーション能力の向上に有効であり、また、実験や実習・演習の過程・成果を説明・記述する作業は、表現力の向上に役に立つと考えられることから、これらの諸活動に積極的に参加することを推奨します。

## 【工学部】

工学部では、次のような人を育成することを目指しています。

工学部は、自然科学、人文・社会科学等に対する幅広い教養と知識を有し、専門分野における十分な知識と能力を備え、次代の我が国及び世界の産業社会を担う優れた技術者を養成することを目的としており、機械工学・システムデザイン学科、電気電子物理工学科、情報工学科、応用化学科、環境社会デザイン学科の5つの専門教育プログラム（学科）で構成されています。また、専門教育において修得した基礎的な知識・能力を活かして、大学院に進学し、高度技術者、研究者への道を歩むための能力を身に付けるとともに、豊かな教養と社会的責任を自覚できる倫理観を有し、実践的な企画・立案ができる人材を育てることを目指しています。

工学部では、次のような知識、能力などの修得を目指した教育を行います。

- ① 人文・社会科学に対する幅広い教養と知識
- ② 工学の基礎及び各専門分野における十分な知識と能力
- ③ 課題を探求・発見し解決する実践的能力
- ④ 国際的視野とコミュニケーション能力
- ⑤ 多様な人々と協調し、主体的に行動する資質
- ⑥ 科学技術が社会や自然に及ぼす影響，技術者・研究者の社会的責任を理解できる倫理観

工学部では、次のような人が入学することを望んでいます。

- ① 高等学校までに学ぶべき事項を幅広く修得しているとともに、入学後の学修において特に必要となる数学、理科、英語の基礎学力を有している人
- ② 国際的なプレゼンテーションやコミュニケーションの能力を修得するために必要な基礎学力を有している人
- ③ 知識を応用問題に活かすために、論理的思考ができる人
- ④ 工学の問題に関して知的好奇心が旺盛で、自ら学ぼうとする学習意欲のある人
- ⑤ 専門技術者として、グローバルな視点に立って国際社会に貢献する意欲のある人
- ⑥ 問題を整理し、解決方法を見出して、それを実践する意欲を有する人
- ⑦ 幅広い分野・世代の人との議論および共同作業によって目的を達成する意欲を有する人



## Ⅱ 一般入試 募集人員及び出願資格等

### 1 学部・学科・課程・コース・系・専修・分野及び募集人員

単位：人

学部	学科又は課程等		募集人員		
			前期	後期	
教養学部	教 養 学 科		115	25	
経済学部 (昼間コース) (注1)(注2)	経 済 学 科		195 一 般 入 試 枠	20 国 際 プ ロ グ ラ ム 枠	
	合 計		215	50	
教育学部	小学校	文 系	117 (注5)		
		理 系	38 (注5)		
	コース	実 技 系	音 楽 分 野	23	8 (注3)
			図 画 工 作 分 野		7 (注3)
			体 育 分 野		8 (注3)
	中学校	言語文化専修	国 語 分 野	6	
			英 語 分 野	7	
		社 会 専 修		8	
		自然科学専修	数 学 分 野	10	
			理 科 分 野	10	
		芸術専修	音 楽 分 野	3	
			美 術 分 野	3	
		身体文化専修	保 健 体 育 分 野	3	
	生活創造専修	技 術 分 野	5		
		家 庭 科 分 野	3		
	乳 幼 児 教 育 コ ー ス		15		
特 別 支 援 教 育 コ ー ス		18			
養 護 教 諭 養 成 課 程		15			
合 計		284			
理学部	数 学 科		20	20	
	物 理 学 科		10	30	
	基 礎 化 学 科		15	30	
	分 子 生 物 学 科		22	18	
	生 体 制 御 学 科		22	18	
	合 計		89	116	
工学部	機 械 工 学 ・ シ ス テ ム デ ザ イ ン 学 科		50	60	
	電 気 電 子 物 理 工 学 科		55	55	
	情 報 工 学 科		40	35	
	応 用 化 学 科		40	50	
	環 境 社 会 デ ザ イ ン 学 科		50	40	
	合 計		235	240	
総 計		938	431		

(注1) 経済学部(昼間コース)の一般入試枠(前期)と国際プログラム枠は、併願できない。

(注2) 経済学部(夜間主コース)は、一般入試では募集しない。

(注3) この内訳は目安である。

(注4) 教育学部は、後期日程の募集はしない。

(注5) 教育学部小学校コース文系及び理系入学者については、本人の希望と1年次前半の成績によって所属する専修(分野)を決定する。

所属先は原則として以下のとおり。

文系入学者の所属先：教育学専修、心理・教育実践学専修、言語文化専修国語分野、言語文化専修英語分野、社会専修、生活創造専修家庭科分野\*

理系入学者の所属先：自然科学専修算数分野、自然科学専修理科分野、生活創造専修ものづくりと情報分野、生活創造専修家庭科分野\*

\*生活創造専修家庭科分野は、文系入学者・理系入学者いずれも所属先とすることができる。

## 2 出願資格

本学に志願することができる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和2年度大学入試センター試験のうち、志望する学部・学科が指定する教科・科目(12～37頁参照)のすべてを受験した者とする。

なお、第1解答科目で本学が指定していない科目を受験した場合には、たとえ第2解答科目で本学が指定する科目を受験しても、個別学力検査等の受験はできない。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込の者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月卒業見込の者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者及び令和2年3月卒業見込の者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月卒業見込の者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和2年3月修了見込の者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込の者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和2年3月31日までに合格見込の者で、令和2年3月31日までに18歳に達する者
- (8) 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者
- (9) その他本学において、個別の入学審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和2年3月31日までに18歳に達する者

なお、本学に入学する意思があつて、出願資格に不明な点がある者、及び(9)に規定する入学資格認定を必要とする者は、可能な限り令和元年中にアドミッションセンター（入試課）へ問い合わせること。

※ 埼玉大学入学資格審査要項、申請書等は本学ホームページに掲載している。

([http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam\\_info/examination/](http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/examination/))

## 3 出願にあたっての留意事項

- (1) 志願者は、本学の「前期日程」及び「後期日程」からそれぞれ一つの（同一又は異なった）学部への出願ができます。なお、経済学部（昼間コース）一般入試枠と国際プログラム枠の併願はできない。
- (2) 国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)の試験日程グループ間の併願について、「前期－前期」、「後期－後期」はできない。  
※公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/?cat=26>) 参照
- (3) 他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)の推薦入試に合格した者は、たとえ受験しても本学の合格者とはならない。  
ただし、令和2年2月19日（水）までに当該大学に推薦入学辞退許可を得た場合は、この限りではない。
- (4) 他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)のAO入試に合格した者は、たとえ受験しても本学の合格者とはならない。  
ただし、令和2年2月19日（水）までに当該大学にAO入試の入学辞退手続きを行った場合は、この限りではない。



# Ⅲ 一般入試 選抜方法等

## 1 前期日程 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、調査書の内容、スポーツ活動に関する調書（教育学部学校教育教員養成課程小学校コース実技系体育分野及び中学校コース身体文化専修保健体育分野志願者）及び大学入試センター試験・個別学力検査等の成績による。
- (2) すべての学部・学科等において2段階選抜は行わない。
- (3) 合否判定基準について  
 あらかじめ決められた配点により、大学入試センター試験と個別学力検査等の成績の総合点順に合否を決定します。なお、調査書（成績証明書等を含む）は選抜の基礎資料とする。  
 また、上記の基準に加え、特別な基準等を設けている募集単位は、下記のとおりである。

学 部	合 否 判 定 基 準
教 養 学 部	あらかじめ決められた配点以外に特定の科目を重視したり、基準最低点は設けない。 総合点が同点の場合は同順位とする。
経済学部（昼間コース）	総合点が同点の場合は同順位とする。
教 育 学 部	総合点が同点の場合は同順位とする。 小学校コース実技系音楽分野及び中学校コース芸術専修音楽分野において、実技検査の満点(500点)の60%(300点)に達しない者は、総合点の如何にかかわらず不合格とする。
理 学 部	数学科において、個別学力検査の得点が2割未満の場合は不合格とする。総合点が同点の場合は、個別学力検査の得点の高い者を上位とする。総合点、個別学力検査の得点が同点の場合は、大学入試センター試験の数学の得点の高い者を上位とする。総合点、個別学力検査の得点、大学入試センター試験の数学の得点が同点の場合は同順位とする。 物理学科、分子生物学科において、個別学力検査の得点が2割未満の場合は不合格とする。総合点が同点の場合は同順位とする。 基礎化学科において、総合点が同点の場合は、大学入試センター試験の理科の得点の高い者を上位とする。総合点、大学入試センター試験の理科の得点が同点の場合は同順位とする。 生体制御学科において、総合点が同点の場合は、同順位とする。
工 学 部	総合点が同点の場合は、大学入試センター試験の得点の高い者を上位とする。総合点、大学入試センター試験の得点が同点の場合は同順位とする。

(4) 得点調整について

教育学部学校教育教員養成課程小学校コース理系の「個別学力検査の数学・理科」及び経済学部(昼間コース)一般入試枠の「個別学力検査の英語・国語・数学」の得点については、中央値補正法による得点調整を行う。

## 2 後期日程 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、調査書の内容及び大学入試センター試験・個別学力検査等の成績による。
- (2) すべての学部・学科等において2段階選抜は行わない。
- (3) 合否判定基準について

あらかじめ決められた配点により、大学入試センター試験と個別学力検査等の成績の総合点順に合否を決定する。なお、調査書（成績証明書等を含む）は選抜の基礎資料とする。

また、上記の基準に加え、特別な基準等を設けている募集単位は、下記のとおりである。

学 部	合 否 判 定 基 準
教 養 学 部	あらかじめ決められた配点以外に特定の科目を重視したり、基準最低点は設けない。 総合点が同点の場合は同順位とする。
経済学部(昼間コース)	総合点が同点の場合は同順位とする。
理 学 部	数学科において、個別学力検査の数学の得点が2割未満の場合は不合格とする。総合点が同点の場合は、個別学力検査の数学の得点の高い者を上位とする。総合点、個別学力検査の数学の得点が同点の場合は、大学入試センター試験の数学の得点の高い者を上位とする。総合点、個別学力検査の数学の得点、大学入試センター試験の数学の得点が同点の場合は同順位とする。 物理学科、分子生物学科、生体制御学科において、総合点が同点の場合は同順位とする。 基礎化学科において、総合点が同点の場合は、個別学力検査の理科の得点の高い者を上位とする。総合点、個別学力検査の理科の得点が同点の場合は同順位とする。
工 学 部	総合点が同点の場合は、個別学力検査の得点の高い者を上位とする。総合点、個別学力検査の得点が同点の場合は同順位とする。

### 3 大学入試センター試験及び個別学力検査等の出題教科・科目、配点等

※本学に志願することができる者は、令和2年度大学入試センター試験のうち、志願する学部・学科が指定する教科・科目のすべてを受験した者とする。  
 なお、第1解答科目で本学が指定していない科目を受験した場合には、たとえ第2解答科目で本学が指定する科目を受験しても、個別学力検査等の受験はできない。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度 志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験		個別学力検査等	
		教科科目名等	利用方法	教科等	科目名等
教養学部 教養学科 160人 前期115 後期25 その他20 [4.8]	前期	国語	国語	必須	外国語 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）
		地歴	世界史B、日本史B、地理B	左の7科目の中から2科目選択 (※)公民から2科目選択することはできない。	
		公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』		
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須	
		理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 (物理、化学、生物、地学)	左の「基礎を付した科目」から2科目選択、 又は「基礎を付していない科目」から2科目選択	
		外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択	
	〔5教科8科目〕又は〔6教科8科目〕				
後期	前期日程と同じ		その他	小論文 (詳細は43頁を参照すること)	

- (注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。  
 (注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。  
 (注3) 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎の4科目の中から2科目と、物理、化学、生物、地学の4科目の中から1科目選択した場合には、基礎を付した2科目を利用する。  
 (注4) 物理、化学、生物、地学の4科目から2科目を選択した場合には、合計得点(200点満点)を100点満点に換算して利用する。

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接	配点合計		
前期	センター試験	200	100	100	100	200 (注2)					900	帰国子女 私費 [以下、 別冊子] 推薦	実施 しない
			100	100									
	個別学力検査					300					300		
	計	200	200	200	100	500					1200		
後期	センター試験	200	100	100	100	300 (注3)					1000		
			100	100									
	個別学力検査					200					200		
	計	200	200	200	100	300	200				1200		

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。

(注2) 前期試験において、センター試験の外国語で英語を選択した場合、  
「〔筆記(200点)＋リスニング(50点)] × 0.8 = 200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。  
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

(注3) 後期試験において、センター試験の外国語で英語を選択した場合、  
「〔筆記(200点)＋リスニング(50点)] × 1.2 = 300点」とする。  
英語以外を選択した場合は、「筆記(200点) × 1.5 = 300点」とする。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験		個別学力検査等		
		教科科目名等	利用方法	教科等	科目名等	
経済学部 (昼間コース) 経済学科 280人 前期215 後期50 その他15 〔5.1〕	前期(国際プログラム枠)	国語	国語	必須	その他 小論文 (詳細は38頁を参照すること)	
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の4科目の中から1科目選択 (※)なお、地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用する。		
		公民(注7)	『倫理, 政治・経済』			
		外国語(注4)	英語(リスニングを含む)			
		〔2教科2科目〕又は〔3教科3科目〕(注5)				
	前期(一般入試枠)	国語	国語	必須	国語	国語総合・国語表現・現代文B(近代以降の文章)
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の5科目の中から2科目選択 (※)公民から2科目選択することはできない。	数学	数学I・数学II・数学A・数学B(数列, ベクトル)
		公民(注7)	現代社会, 『倫理, 政治・経済』			
		数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須	外国語	英語(コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II)
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目選択 「基礎を付した科目」を2科目及び「基礎を付していない科目」を1科目受験した場合、「基礎を付した科目」の成績を採用する。 「基礎を付していない科目」を2科目選択した場合、「第1解答科目」の成績を採用する。		
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
		〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕			上記の3教科から2教科選択する。	
	後期	前期日程(一般入試枠)と同じ			その他	小論文 (詳細は43頁を参照すること)

- (注1) 経済学部(夜間主コース)は、社会人入試(入学定員15人)で募集する。
- (注2) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。
- (注3) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。
- (注4) 前期(国際プログラム枠)において、英語力検定試験(TOEFL iBT(ITPを含む), IELTS(アカデミック・モジュール), TOEIC L&R(IPを含む), GTEC(4技能版のオフィシャルスコアに限る, CBTタイプも可)のいずれか)を受験した場合は、出願時にTOEFL, IELTS, TOEIC及びGTECの成績証明書を提出できる。その成績をセンター試験(英語)の成績に換算して採用する。TOEICスコアからセンター試験(英語)への換算は、経済学部1年生のデータを用いて行い、換算にあたっては偏差値を用いる。
- TOEFL, IELTS及びGTECのスコアは、換算表(15頁)に従いTOEICへ換算する。また、英語力検定試験とセンター試験(英語)の両方を受験した場合、あるいは英語力検定試験のうち複数の試験を受験した場合は、高得点の方を採用する。
- (注5) 英語力検定試験の成績証明書を提出した場合は、外国語を受験せずに2教科2科目で受験することができる。
- (注6) 「地理歴史及び公民」並びに「理科②」の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」とする。
- (注7) 『倫理』および『政治・経済』のいずれかを指すものではなく、『倫理, 政治・経済』の1科目を指す。

国際プログラムについて (<http://www.eco.saitama-u.ac.jp/5-gtp/index.html>)

前期(国際プログラム枠)で入学した学生は、原則として、教育プログラム「グローバル・タレント・プログラム」に参加することになります。

本プログラムは、世界の多様性・多面性を理解し、世界の文脈の中で英語で発信できるコミュニケーション能力を磨きます。

国際的に展開している多数のわが国企業や世界の企業、国際組織などで幅広く活躍できる人材を育成します。



学力検査等 区分・ 日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別 入試	2段階 選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接	配点合計		
前期（国際プログラム枠）	センター試験	150 (近代以降の文章)	200								800	私費 [以下、 別冊子] 推薦	実施 しない
		50 (古文・漢文)											
	個別学力検査					200				200			
	計	200	200			400	200			1000			
前期（一般入試枠）	センター試験	200	100	100	100	200 (注2)					900		
			100	100									
	個別学力検査	*250 (注3)		*250 (注3)		*250 (注3)				500			
	計	*450	200	*450	100	*450				1400			
後期	センター試験 Ⅰ (注4)	100	50	150	50	350 (注4)					900		
			50	150									
	個別学力検査					300				300			
	計	100	100	300	50	350	300			1200			
	センター試験 Ⅱ (注4)	300	50	50	50	350 (注4)					900		
			50	50									
個別学力検査					300				300				
計	300	100	100	50	350	300			1200				

- (注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。  
(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。  
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。  
(注3) 個別学力検査は、国語・数学・外国語の3教科から2教科を出願時に選択し受験する。選択教科には\*印を付した。  
なお、3教科の得点については、中央値補正法による調整を行う。  
(注4) 経済学部の後期日程は、ⅠとⅡの方式で採点し、高得点の方を採用する。Ⅰ・Ⅱともセンター試験の外国語で英語を選択した場合、「筆記(200点)×1.5+リスニング(50点)=350点」とする。英語以外を選択した場合は「筆記(200点)×1.75=350点」とする。  
(注5) センター試験の外国語(英語)の配点は、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×1.6=400点」とする。

経済学部「国際プログラム枠」入試換算表

TOEFL iBT	TOEIC	TOEFL iBT	TOEIC	TOEFL iBT	TOEIC	IELTS	TOEIC
120	990	94	830	88	644	9.0	990
119	990	93	825	87	635	8.5	990
118	990	92	816	86	629	8.0	990
117	990	91	807	85	624	7.5	990
116	990	90	802	84	609	7.0	882
115	990	89	796	83	595	6.5	807
114	990	88	787	82	592	6.0	730
113	990	87	779	81	586	5.5	652
112	990	86	773	80	578	5.0	578
111	989	85	767	59	572	4.5	480
110	980	84	764	58	566	4.0	443
109	966	83	753	57	552		
108	951	82	739	56	537		
107	945	81	736	55	529		
106	940	80	730	54	526		
105	922	79	727	53	520		
104	911	78	721	52	506		
103	908	77	716	51	491		
102	902	76	707	50	480		
101	894	75	693	49	477		
100	882	74	687	48	471		
99	865	73	681	47	463		
98	859	72	675	46	451		
97	853	71	667	45	443		
96	845	70	652				
95	836	69	649				

GTEC	TOEIC
1400	990
1345-1399	990
1293-1344	882
1241-1292	807
1189-1240	730
1131-1188	652
1074-1130	578
1017-1073	480
960-1016	443

※TOEICスコアから大学入試センター試験(英語)への換算は、経済学部1年生のデータを用いて行い、換算にあたっては偏差値を用いる。  
TOEFL, IELTS及びGTECのスコアは、換算表に従いTOEICへ換算する。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等		
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等	
教育学部 380人 前期284 その他96 〔3.4〕	小学校 教員 養成 課程	文系	前期	国語	国語	必須	外国語 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）
			地歴	世界史B、日本史B、地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目、「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択（16頁（注4）参照） ②左の「地歴及び公民」から2科目、「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』	上記の①もしくは②のパターンを選択する。（16頁（注3）の①・②参照） （※）「公民」から2科目選択はできない。		
			理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	左の2科目必須		
			数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の5科目の中から1科目選択		
			外国語	英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕		
	理系	前期	国語	国語	必須	数学 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（数列、ベクトル）	
			地歴	世界史B、日本史B、地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目、「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択（16頁（注4）参照） ②左の「地歴及び公民」から2科目、「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』	上記の①もしくは②のパターンを選択する。（16頁（注3）の①・②参照） （※）「公民」から2科目選択はできない。		
			理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	左の2科目必須		
			数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	①物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、地学基礎・地学の4科目から1科目 ②物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎の4科目から1科目		
			外国語	英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	計2科目選択 ただし、①のグループから選択する科目の分野と②のグループから選択する科目の分野は異なること。		
		〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕		上記の2教科から1教科選択する。			

〔注1〕 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。

〔注2〕 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。

〔注3〕 本学が指定する科目数を超過受験した場合の成績採用方法は、下記の通りとする。

- ① 「地歴及び公民」から2科目、「基礎を付した科目」から2科目、「基礎を付していない科目」から1科目を受験した場合は、「地歴及び公民」の「第1解答科目」の成績を採用し、他は高得点の科目の成績を採用する。
- ② 「地歴及び公民」から2科目、「基礎を付していない科目」から2科目を受験した場合は、「地歴及び公民」並びに「基礎を付していない科目」の「第1解答科目」の成績を採用し、他は高得点の科目の成績を採用する。
- ③ 「基礎を付した科目」から2科目、「基礎を付していない科目」から1科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を採用する。
- ④ 「基礎を付していない科目」から2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用する。
- ⑤ 「地歴及び公民」から2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用する。

〔注4〕 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』の合計3科目選択する場合、同一名称を付した科目（例：「物理基礎」と「物理」など）を選択することができる。

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜	
	試験の区分	国語	地歴・公民		数学	理科		外国語	小論文	総合問題	実技			面接
前期	センター試験	200	*100	*100	100 100	*100	*100	200					900	実施しない  私費の募集単位は、67頁を参照すること。 [以下、別冊子] 推薦の募集単位は、特別入試学生募集要項を参照すること。
	個別学力検査							500					500	
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	700					1400	
前期	センター試験	200	*100	*100	100 100	*100	*100	200					900	私費の募集単位は、67頁を参照すること。 [以下、別冊子] 推薦の募集単位は、特別入試学生募集要項を参照すること。
	個別学力検査				500 (注3)	500 (注3)							500	
	計	200	*100	*100	700 または 200	*600 または *100	*600 または *100	200					1400	

- (注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。選択教科には\*を付した。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。  
 (注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。  
 なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。  
 (注3) 個別学力検査は、数学・理科の2教科から1教科を出願時に選択し受験する。なお、2教科の得点については、中央値補正法による調整を行う。

学部・学科等名 及び入学定数 〔平成31年度 志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等		
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等	
教育学部 380人 前期284 その他96 〔3.4〕	音楽	前期	国語	国語	必須	その他	実技検査 (詳細は40頁を参照すること)
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択(16頁(注4)参照)		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (16頁(注3)の①・②参照)  (※)「公民」から2科目選択はできない。		
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕				
	実技系 小学校 教育 教員 養成 課程	前期	国語	国語	必須	その他	実技検査 (詳細は41頁を参照すること)
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択(16頁(注4)参照)		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (16頁(注3)の①・②参照)  (※)「公民」から2科目選択はできない。		
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕				
	音楽	前期	国語	国語	必須	その他	実技検査 (詳細は41~42頁を参照すること)
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択(16頁(注4)参照)		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (16頁(注3)の①・②参照)  (※)「公民」から2科目選択はできない。		
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕				
実技系 小学校 教育 教員 養成 課程	前期	国語	国語	必須	その他	実技検査 (詳細は41~42頁を参照すること)	
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択(16頁(注4)参照)			
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択			
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (16頁(注3)の①・②参照)  (※)「公民」から2科目選択はできない。			
		数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須			
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
		〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕					

(注1) 「基礎を付した科目」とは, 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎を指す。  
(注2) 「基礎を付していない科目」とは, 物理, 化学, 生物, 地学を指す。  
(注3) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法は, 16頁の(注3)を参照すること。

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜		
	試験の区分	国語	地歴・公民		数学	理科		外国語	小論文	総合問題	実技			面接	配点合計
前期	センター試験	200	*100	*100	100	*100	*100	200					900	私費の募集単位は、67頁を参照すること。 [以下、別冊子] 推薦の募集単位は、特別入試学生募集要項を参照すること。	実施しない
	個別学力検査				100						500	500			
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200			500	1400			
前期	センター試験	200	*100	*100	100	*100	*100	200					900	私費の募集単位は、67頁を参照すること。 [以下、別冊子] 推薦の募集単位は、特別入試学生募集要項を参照すること。	
	個別学力検査				100						500	500			
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200			500	1400			
前期	センター試験	200	*100	*100	100	*100	*100	200					900	[以下、別冊子] 推薦の募集単位は、特別入試学生募集要項を参照すること。	
	個別学力検査				100						500 (注3)	500			
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200			500	1400			

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。選択教科には\*印を付した。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。  
 (注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。  
 なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。  
 (注3) 小学校コース実技系体育分野実技の配点は、第1得意種目250点、第2得意種目250点とする。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等		
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等	
教育学部 380人 前期284 その他96 〔3.4〕	言語文化 (国語)	前期	国語	国語	必須	国語	国語総合・国語表現・現代文B・古典B
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から2科目選択 (※)「公民」から2科目選択はできない。		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目又は 「基礎を付していない科目」から1科目選択 (16頁〔注3〕の③・④参照)		
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕				
	言語文化 (英語)	前期	国語	国語	必須	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択(16頁〔注4〕参照) ②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (16頁〔注3〕の①・②参照) (※)「公民」から2科目選択はできない。		
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
外国語			英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕							
社会	前期	国語	国語	必須	その他	小論文 (詳細は38頁を参照すること)	
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から2科目選択 (※)「公民」から2科目選択はできない。			
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』				
		数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須			
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目又は 「基礎を付していない科目」から1科目選択 (16頁〔注3〕③・④参照)			
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
		〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕					

- (注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。  
(注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。  
(注3) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法は、16頁の(注3)を参照すること。

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜	
	試験の区分	国語	地歴・公民		数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接			配点合計
前期	センター試験	200	100		100	100	200					900	私費 [以下、別冊子] 推薦	実施しない
			100		100									
	個別学力検査	500										500		
計	700	200		200	100	200						1400		
前期	センター試験	200	*100	*100	100	*100	*100	200				900	私費 [以下、別冊子] 推薦	
					100									
	個別学力検査							500				500		
計	200	*100	*100	200	*100	*100	700					1400		
前期	センター試験	200	200		100	100	200					1100	私費 [以下、別冊子] 推薦	
			200		100									
	個別学力検査							300				300		
計	200	400		200	100	200	300					1400		

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。選択教科には\*印を付した。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。  
(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。  
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等			
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等		
教育学部 380人 前期284 その他96 〔3.4〕	中学校 教育 教員 養成 課程	自然科学 (数学)	前期	国語	国語	必須	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列, ベクトル)
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から1科目選択 (16頁(注3)の⑤参照)			
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』				
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須			
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目選択 又は「基礎を付していない科目」から2科目 選択(16頁(注4)参照)			
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
			〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕					
	自然科学 (理科)	前期	国語	国語	必須	理科	①物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物 基礎・生物, 地学基礎・地学の4科目から 1科目 ②物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学 基礎の4科目から1科目 計2科目選択 ただし, ①のグループから選択する科目の 分野と②のグループから選択する科目の 分野は異なること。	
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から1科目選択 (16頁(注3)の⑤参照)				
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』					
		数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須				
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目選択 又は「基礎を付していない科目」から2科目 選択(16頁(注4)参照)				
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択				
		〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕						

- (注1) 「基礎を付した科目」とは, 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎を指す。  
(注2) 「基礎を付していない科目」とは, 物理, 化学, 生物, 地学を指す。  
(注3) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法は, 16頁の(注3)を参照すること。



学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接	配点合計		
前期	センター試験	200	100	100	100	200					900	私費 [以下、 別冊子] 推薦	実施 しない
				100	100								
	個別学力検査			500							500		
	計	200	100	700	200	200					1400		
前期	センター試験	200	100	100	100	200					900	私費 [以下、 別冊子] 推薦	
				100	100								
	個別学力検査				500						500		
	計	200	100	200	700	200					1400		

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。  
(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。  
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等		
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等	
教育学部 380人 前期284 その他96 〔3.4〕	中学校 教育 教員 養成 課程	芸術 (音楽)	前期	国語	国語	必須	その他 実技検査 (詳細は40頁を参照すること)
				地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択(16頁(注4)参照) ②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択	
				公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (16頁(注3)の①・②参照) (※)「公民」から2科目選択はできない。	
				理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の2科目必須	
				数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の5科目の中から1科目選択	
				外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]	
				[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]			
	芸術 (美術)	前期	国語	国語	必須	その他 実技検査 (詳細は41頁を参照すること)	
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択(16頁(注4)参照) ②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (16頁(注3)の①・②参照) (※)「公民」から2科目選択はできない。		
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の2科目必須		
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の5科目の中から1科目選択		
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]		
			[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]				
	身体文化 (保健体育)	前期	国語	国語	必須	その他 実技検査 (詳細は41~42頁を参照すること)	
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択(16頁(注4)参照) ②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (16頁(注3)の①・②参照) (※)「公民」から2科目選択はできない。		
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の2科目必須		
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の5科目の中から1科目選択		
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]		
			[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]				

(注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。  
(注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。  
(注3) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法は、16頁の(注3)を参照すること。

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜		
	試験の区分	国語	地歴・公民		数学	理科		外国語	小論文	総合問題	実技			面接	配点合計
前期	センター試験	200	*100	*100	100	*100	*100	200					900	私費 [以下、別冊子] 推薦	実施しない
					100										
	個別学力検査										500		500		
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200			500		1400		
前期	センター試験	200	*100	*100	100	*100	*100	200					900	私費 [以下、別冊子] 推薦	実施しない
					100										
	個別学力検査										500		500		
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200			500		1400		
前期	センター試験	200	*100	*100	100	*100	*100	200					900	私費 [以下、別冊子] 推薦	実施しない
					100										
	個別学力検査										500 (注3)		500		
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200			500		1400		

- (注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。選択教科には\*印を付した。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。  
(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「〔筆記(200点)＋リスニング(50点)〕×0.8＝200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。  
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。  
(注3) 中学校コース身体文化専修保健体育分野実技の配点は、第1得意種目350点、第2得意種目150点とする。

学部・学科等名 及び入学定等 〔平成31年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等		
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等	
教育学部 380人 前期284 その他96 〔3.4〕	中学校 教育 教員 養成 課程	生活創造 (技術)	前期	国語	国語	必須	その他 面接 (詳細は38頁を参照すること)
				地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から1科目選択 (16頁(注3)の⑤参照)	
				公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』		
				数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須	
				理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目選択 又は「基礎を付していない科目」から2科目選択(16頁(注4)参照)	
				外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択	
				〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕			
	生活創造 (家庭科)	前期	国語	国語	必須	外国語 英語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)	
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択(16頁(注4)参照) ②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (16頁(注3)の①・②参照) (※)「公民」から2科目選択はできない。		
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕				

- (注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。  
(注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。  
(注3) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法は、16頁の(注3)を参照すること。

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜		
	試験の区分	国語	地歴・公民		数学	理科		外国語	小論文	総合問題	実技			面接	配点合計
前期	センター試験	200	100		100	100		200					900	私費 [以下、別冊子] 推薦	実施しない
					100	100									
	個別学力検査										500	500			
	計	200	100		200	200		200				500	1400		
前期	センター試験	250	*150	*150	150			150					1150	私費 [以下、別冊子] 推薦	
					150	*150 *150									
	個別学力検査							250				250			
	計	250	*150	*150	300	*150 *150		400					1400		

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。選択教科には\*印を付した。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。  
(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。  
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等	
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等
教育学部 380人 前期284 その他96 〔3.4〕	乳幼児教育 コース	前期	国語	国語	必須	外国語 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）
	特別支援教育 コース	地歴	世界史B、日本史B、地理B		左の「地歴及び公民」から2科目選択 （※）「公民」から2科目選択はできない。	
公民		現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』				
数学		数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B		左の2科目必須		
理科		物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学		左の「基礎を付した科目」から2科目又は 「基礎を付していない科目」から1科目選択 （16頁（注3）の③・④参照）		
外国語		英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語		左の5科目の中から1科目選択		
〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕						
養護教諭養成課程	前期	国語	国語	必須	外国語 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）	
	地歴	世界史B、日本史B、地理B		①左の「地歴及び公民」から1科目、 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択（16頁（注4）参照） ②左の「地歴及び公民」から2科目、 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
	公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』				
	理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学		上記の①もしくは②のパターンを選択する。 （16頁（注3）の①・②参照）  （※）「公民」から2科目選択はできない。		
	数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B		左の2科目必須		
	外国語	英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語		左の5科目の中から1科目選択		
	〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕					
養護教諭養成課程	前期	国語	国語	必須	その他 面接 （詳細は38頁を参照すること）	
	地歴	世界史B、日本史B、地理B		①左の「地歴及び公民」から1科目、 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択（16頁（注4）参照） ②左の「地歴及び公民」から2科目、 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
	公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』				
	理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学		上記の①もしくは②のパターンを選択する。 （16頁（注3）の①・②参照）  （※）「公民」から2科目選択はできない。		
	数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B		左の2科目必須		
	外国語	英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語		左の5科目の中から1科目選択		
	〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕					

〔注1〕 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。  
〔注2〕 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。  
〔注3〕 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法は、16頁の〔注3〕を参照すること。

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜		
	試験の区分	国語	地歴・公民		数学	理科		外国語	小論文	総合問題	実技			面接	配点合計
前期	センター試験	200	100		100	100		200					900	私費 [以下、別冊子] 推薦	実施しない
	個別学力検査							500				500			
	計	200	200		200	100		700					1400		
前期	センター試験	200	*100	*100	100	*100	*100	200					900	私費 [以下、別冊子] 推薦	実施しない
	個別学力検査				100			500				500			
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	700					1400		
前期	センター試験	200	*100	*100	100	*100	*100	200					900	私費 [以下、別冊子] 推薦	実施しない
	個別学力検査				100			500			500	500			
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200			500	1400			

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。選択教科には\*印を付した。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。  
(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。  
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度 志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等		
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等	
理学部 210人 前期 89 後期 116 その他 5 〔5.2〕	数学科	前期	国語	国語	必須	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)
			地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお, 地理歴史及び公民の試験時間において, 2科目を受験した場合は, 「第1解答科目」の成績を採用する。		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B			
			理科	物理, 化学, 生物, 地学	左の4科目の中から2科目選択		
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			〔5教科7科目〕				
	後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)	
					理科	物理基礎・物理と化学基礎・化学から1科目を選択する。	
	物理学科	前期	国語	国語	必須	その他	総合問題(物理, 数学及び英語に関する総合問題を出題する。前提とする物理及び数学の知識は, それぞれ高等学校における物理基礎・物理及び数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列,ベクトル)にわたる。また, 英語の読解力と記述力が要求される。)
			地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお, 地理歴史及び公民の試験時間において, 2科目を受験した場合は, 「第1解答科目」の成績を採用する。		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B			
			理科	物理	必須		
化学, 生物, 地学				左の3科目の中から1科目選択			
外国語			英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
〔5教科7科目〕							
後期		前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)	
					理科	物理基礎・物理	
基礎化学科		前期	国語	国語	必須	その他	総合問題(化学を中心とした自然科学の内容についての知識, 理解力, 論理的思考力, 表現力等を総合的にみる。)
			地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお, 地理歴史及び公民の試験時間において, 2科目を受験した場合は, 「第1解答科目」の成績を採用する。		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B			
	理科		化学	必須			
			物理, 生物, 地学	左の3科目の中から1科目選択			
	外国語		英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
	〔5教科7科目〕						
	後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)	
					理科	物理基礎・物理と化学基礎・化学から1科目を選択する。	



学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接	配点合計		
前期	センター試験	200	100	150	100	200					1000	私費	実施しない
				150	100								
	個別学力検査			1000						1000			
	計	200	100	1300	200	200				2000			
後期	センター試験	200	100	150	100	200					1000	私費	実施しない
				150	100								
	個別学力検査			800	200					1000			
	計	200	100	1100	400	200				2000			
前期	センター試験	200	100	100	100	200					900	私費	実施しない
				100	100								
	個別学力検査						400			400			
	計	200	100	200	200	200		400		1300			
後期	センター試験	200	100	100	100	200					900	私費	実施しない
				100	100								
	個別学力検査			400	400					800			
	計	200	100	600	600	200				1700			
前期	センター試験	200	100	100	100	300					1000	私費 [以下、別冊子] 推薦	実施しない
				100	100								
	個別学力検査						300			300			
	計	200	100	200	200	300		300		1300			
後期	センター試験	200	100	100	100	400					1100	私費	実施しない
				100	100								
	個別学力検査			200	600					800			
	計	200	100	400	800	400				1900			

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。  
(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。  
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等		
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等	
理学部 210人 前期 89 後期116 その他5 〔5.2〕	分子生物学科	前期	国語	国語	必須	その他	総合問題(生物学を中心とした自然科学の内容についての知識、理解力、論理的思考力、表現力等を総合的に判定する。)
			地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお、地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用する。		
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』			
			数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
			理科	物理、化学、生物、地学	左の4科目の中から2科目選択		
			外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			〔5教科7科目〕				
	後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列、ベクトル)	
		前期日程と同じ			理科	物理基礎・物理と化学基礎・化学と生物基礎・生物から1科目を選択する。	
	生体制御学科	前期	国語	国語	必須	その他	総合問題(生物学を中心とした自然科学的内容についての理解力、思考力、表現力等を総合的にみる。)
			地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお、地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用する。		
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』			
			数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
			理科	物理、化学、生物、地学	左の4科目の中から2科目選択		
外国語			英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
〔5教科7科目〕							
後期		前期日程と同じ			理科	化学基礎・化学と生物基礎・生物から1科目を選択する。	

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接	配点合計		
前期	センター試験	100	100	100	200	300					1100	私費	実施しない
				100	200								
	個別学力検査							300		300			
	計	100	100	200	400	300		300		1400			
後期	センター試験	200	100	100	200	300					1200	私費	実施しない
				100	200								
	個別学力検査			200	300					500			
	計	200	100	400	700	300				1700			
前期	センター試験	200	100	100	200	300					1200	私費	実施しない
				100	200								
	個別学力検査							400		400			
	計	200	100	200	400	300		400		1600			
後期	センター試験	200	100	200	100	400					1300	私費	実施しない
				200	100								
	個別学力検査				400					400			
	計	200	100	400	600	400				1700			

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。  
(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。  
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等			
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等		
工学部 490人 前期235 後期240 その他15 〔4.5〕	機械工学・ システム デザイン学科	前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用する)	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)	
			地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお, 地理歴史及び公民の試験時間において, 2科目を受験した場合は, 「第1解答科目」の成績を採用する。			
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』				
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B				左の2科目必須
			理科	物理	必須			左の3科目の中から1科目選択
				化学, 生物, 地学				
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
	〔5教科7科目〕							
	後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)		
					理科	物理基礎・物理		
	電気電子 物理工学科	前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用する)	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)	
			地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお, 地理歴史及び公民の試験時間において, 2科目を受験した場合は, 「第1解答科目」の成績を採用する。			
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』				
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B				左の2科目必須
理科			物理	必須	左の3科目の中から1科目選択			
			化学, 生物, 地学					
外国語			英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択				
〔5教科7科目〕								
後期		前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)		
					理科	物理基礎・物理		
情報工学科		前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用する)	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)	
			地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお, 地理歴史及び公民の試験時間において, 2科目を受験した場合は, 「第1解答科目」の成績を採用する。			
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』				
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B				左の2科目必須
	理科		物理, 化学, 生物, 地学	左の4科目の中から2科目選択				
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
	〔5教科7科目〕							
	後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)		
					理科	物理基礎・物理		

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接	配点合計		
前期	センター試験	100	100	100	100	200					800	帰国子女 私費	実施 しない
				100	100								
	個別学力検査			300			100				400		
	計	100	100	500	200	200	100				1200		
後期	センター試験	100	100	100	100	200					800	帰国子女 私費	実施 しない
				100	100								
	個別学力検査			200	200						400		
	計	100	100	400	400	200					1200		
前期	センター試験	100	100	100	100	200					800	帰国子女 私費	実施 しない
				100	100								
	個別学力検査			200			100				300		
	計	100	100	400	200	200	100				1100		
後期	センター試験	100	100	100	100	200					800	帰国子女 私費	実施 しない
				100	100								
	個別学力検査			200	200						400		
	計	100	100	400	400	200					1200		
前期	センター試験	100	100	100	100	200					800	帰国子女 私費 [以下、 別冊子] A O	実施 しない
				100	100								
	個別学力検査			300			100				400		
	計	100	100	500	200	200	100				1200		
後期	センター試験	100	100	100	100	200					800	帰国子女 私費	実施 しない
				100	100								
	個別学力検査			300	300						600		
	計	100	100	500	500	200					1400		

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。  
(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。  
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等				
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等			
工学部 490人 前期235 後期240 その他15 〔4.5〕	応用化学科	前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用する)	その他	総合問題（化学に関する知識、理解力、論理的思考力、計算力、および英語読解力等を総合的に評価する。）		
			地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお、地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用する。				
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』					
			数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B				左の2科目必須	
			理科	化学	必須			左の2科目の中から1科目選択	
				物理、生物					
			外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択				
		〔5教科7科目〕							
		後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列、ベクトル)		
						理科	化学基礎・化学		
		環境社会 デザイン学科		前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用する)	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列、ベクトル)
					地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお、地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用する。		
					公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』			
					数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B			
理科	物理				必須	左の3科目の中から1科目選択			
	化学、生物、地学								
外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語				左の5科目の中から1科目選択				
〔5教科7科目〕									
後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列、ベクトル)				
				理科	物理基礎・物理				

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接	配点合計		
前期	センター試験	100	100	100	200 (化学)	200					900	帰国子女 私費	実施 しない
				100	100 (物理又は生物)								
	個別学力検査					100	300			400			
	計	100	100	200	300	200	100	300		1300			
後期	センター試験	100	100	100	200 (化学)	200					900	帰国子女 私費 [以下、 別冊子] 推薦	
				100	100 (物理又は生物)								
	個別学力検査			100	600					700			
	計	100	100	300	900	200				1600			
前期	センター試験	100	100	100	100	200					800	帰国子女 私費 [以下、 別冊子] 推薦	
				100	100								
	個別学力検査			200		100				300			
	計	100	100	400	200	200	100			1100			
後期	センター試験	100	100	100	100	300					900	帰国子女 私費 [以下、 別冊子] 推薦	
				100	100								
	個別学力検査			200	200					400			
	計	100	100	400	400	300				1300			

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。  
(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。  
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

#### 4 前期日程(面接・小論文・総合問題)

##### (1) 面接の内容について(前期日程)

学部	課程・コース等	検査項目	面接形式	採点・評価基準
教育学部	学校教育教員養成課程 中学校コース 生活創造専修 技術分野	面接（技術に関する口頭試問を含む。）	個人面接及び課題についてのグループディスカッションを行う。 面接員は複数である。	口頭による質問及びグループ討議により、学問一般、技術に関する意欲、関心、知識、理解、及び技能等を総合的に評価する。
	養護教諭養成課程	面接（保健に関する口頭試問を含む。）	集団面接を行う。面接員は複数である。	保健についての知識・理解、思考力、コミュニケーション能力、教職への意欲等を総合的に評価する。

##### (2) 小論文の出題意図等について(前期日程)

学部	学 科	出 題 意 図	採点・評価基準
経済学部	経済学科(国際プログラム枠)	国内外の社会に関する関心と論理的思考力、表現力を評価する。	論理的思考力、表現力を評価する。
教育学部	学校教育教員養成課程 中学校コース 社会専修	社会的事象に対する関心、論理的思考力等を評価する。	思考力、判断力、表現力を評価する。
工学部	全 学 科	社会や工学に関する関心、学びの意欲、あるいは多様性の中で協力しながら活動する力を評価する。	主体性、多様性への対応、協働性の観点を重視して評価する。



(3) 総合問題の採点・評価基準について(前期日程)

学部	学 科	採 点 ・ 評 価 基 準
理 学 部	物 理 学 科	考察力・理解力・表現力に優れているかどうか、出題の意図をよく理解しているかどうかについて判定する。
	基 礎 化 学 科	化学を中心とした自然科学の内容についての知識、理解力、論理的思考力、表現力等を総合的に評価する。
	分 子 生 物 学 科	生物学を中心とした自然科学の内容についての知識、理解力、論理的思考力、表現力等を総合的に評価する。
	生 体 制 御 学 科	生物及び生命現象全般について、深く広く理解し、正しく認識できていることを求めている。従って、理解が適切で十分であり論理的に正しく考察されていることを評価する。
工 学 部	応 用 化 学 科	化学に関する知識、理解力、論理的思考力、計算力、英文読解力等を総合的に評価する。

## 5 前期日程(教育学部実技検査)

- (1) **音楽実技** 教育学部学校教育教員養成課程小学校コース実技系音楽分野及び中学校コース芸術専修音楽分野を志望する者

### 検査項目

次のA)、B)、C)を全員が受験する。なお、「音楽実技検査に関する調書」を出願書類と同時に提出すること。

#### A) 声楽：次の歌曲の中から、任意の1曲を選び原語・暗譜で歌う。

- ・A. カルダラ (Caldara)作曲 : Selve amiche (ロ短調、イ短調、ト短調)
- ・F. ドゥランテ (Durante)作曲 : Vergin, tutto amor (ニ短調、ハ短調、ロ短調)
- ・A. スカルラッチェ (Scarlatti)作曲 : Sento nel core (ヘ短調、ホ短調、ニ短調)
- ・滝廉太郎作曲 山田耕筰編曲 : 秋の月 (ロ短調)

[注] ①「音楽実技検査に関する調書」の所定の欄に選んだ曲名及び歌唱する調を記入すること。提出された曲及び調の変更は認めない。

②それぞれの歌曲について、( )内に示した調の楽譜は本学で用意する。楽譜提出の必要はない。上記以外の調で歌うことを希望する場合は、伴奏者用としてその調の楽譜を出願書類と同時に提出すること。提出の際、1頁がA4縦のサイズになるようにすること。製本しないこと。提出された楽譜は返却しない。

③伴奏者は、本学で用意する。

④演奏を途中で打ち切ることがある。

#### B) 器楽：次の1または2のどちらか1つを選択して受験する。ただし2の場合は、イとロの両方を受験すること。

1. 次の作曲家のピアノソナタの中から任意の楽章(複数でもよい)を暗譜で演奏する。複数の楽章を演奏する場合は、同一の作品から選ぶこと。演奏時間は3分以上とする。(繰り返しは省略。ただし、ダ・カーポは行うこと。)

- ・J. ハイドン
- ・W. A. モーツァルト
- ・L. van ベートーヴェン

2. 次のイとロの両方を受験する。(特にイは、受験する楽器によって課題が異なるので注意すること。)

イ. 次の楽器の中から1つを選び、下記の指示に従って演奏する。(音階以外は視奏も可。繰り返しは省略。)

フルート、リコーダー、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

##### 【管楽器で受験する者】

フルートで受験する者は、次の〈課題1〉と〈課題2〉を演奏する。フルート以外の管楽器で受験する者は、〈課題1〉と〈課題3〉を演奏する。

〈課題1〉(管楽器共通)

任意の1つの長調、または短調の音階を2オクターヴ演奏する。(上行形と下行形を続けて暗譜で演奏する。テンポ、リズム、アーティキュレーションは自由。短調の場合は和声的短音階とする。)

〈課題2〉(フルートで受験する者のみ)

E. ケーラー：「35の練習曲」op. 33の第1巻(15 Easy Exercises)及び第2巻(12 Medium Difficult Exercises)(版は指定しない)の中から任意の曲、または同程度の練習曲、独奏曲を選び4分以上8分程度まで演奏する。(曲数は問わない。)

〈課題3〉(フルート以外の管楽器で受験する者のみ)

任意の独奏曲を選び4分以上8分程度まで演奏する。(曲数は問わない。)

##### 【弦楽器で受験する者】

任意の独奏曲を選び4分以上8分程度まで演奏する。(曲数は問わない。)

ロ. J. S. バッハ：「2声のインヴェンション」より任意の1曲をピアノで演奏する。(繰り返しは省略。暗譜とする。)

[注] ①伴奏はつけない。

②演奏する曲の楽譜を出願書類と同時に提出すること。提出の際、1頁がA4縦のサイズになるようにすること。製本しないこと。

(ピアノ及び音階の楽譜の提出は不要。提出された楽譜は返却しない。)

③ピアノ以外の楽器は、志願者各自が持参すること。

④演奏する箇所を指定することがある。

⑤複数曲提出した場合は、「音楽実技検査に関する調書」に記入した曲順通りに演奏すること。

なお、演奏する曲目を指定することがある。

⑥演奏を途中で打ち切ることがある。

#### C) 音楽理論

楽典 (筆記用具を持参すること。試験時間は50分。)

採点・評価基準 演奏技術、音楽性、音楽的知識による総合評価

- (2) **美術実技** 教育学部学校教育教員養成課程小学校コース実技系図画工作分野及び中学校コース芸術専修美術分野を志望する者

**検査項目**

木炭による静物デッサン（試験時間：3時間） サイズ：木炭紙大

静物：卓上に置かれた単体のモチーフ

〔注〕① 画用木炭、消し具は各自持参すること。

② 画板、イーゼル、木炭紙（MBM）、下敷用紙は本学で用意する。

③ はかり棒、構図フレーム等は使用してもよい。

**採点・評価基準**

意欲、表現力、素描力を総合的に評価する。

- (3) **体育実技** 教育学部学校教育教員養成課程小学校コース実技系体育分野及び中学校コース身体文化専修保健体育分野を志望する者

**検査項目**

下表の運動種目の実技及びスポーツ活動に関する調書

領域	種目	第1得意種目としての内容	第2得意種目としての内容
1	陸上競技	100m走、1500m走、走り幅跳び、砲丸投げ、の中から1つについて評価する。 100m走は、土のグラウンド（使用できない場合ゴムシート上）でスターティングブロックから疾走する。1500m走は、土のグラウンドで400mトラックを3周と3/4周する。走り幅跳びは、ゴムシートの助走路から、実測距離を測定する。砲丸投げは、高校用砲丸（男子6kg、女子4kg）を投てきする。 なお、専用シューズやスパイクを使用して構わない。また、荒天の場合、屋内において異なる内容に変更することがあるが、選択内容に近い距離や検査内容とする。	100m走、1500m走、走り幅跳び、砲丸投げ、の中から1つについて評価する。 100m走は、土のグラウンド（使用できない場合ゴムシート上）でスターティングブロックから疾走する。1500m走は、土のグラウンドで400mトラックを3周と3/4周する。走り幅跳びは、ゴムシートの助走路から、実測距離を測定する。砲丸投げは、高校用砲丸（男子6kg、女子4kg）を投てきする。 なお、専用シューズやスパイクを使用して構わない。また、荒天の場合、屋内において異なる内容に変更することがあるが、選択内容に近い距離や検査内容とする。
2	バレーボール	下記の全てを行う。 1. 2人組のパス 2. レセプション（サーブレシーブ） 3. アタック 4. ポジション別の課題 5. 4人対4人のゲーム （人数によっては、やり方を変えることがある）	下記の全てを行う。 1. オーバーハンドパス 2. アンダーハンドパス 3. アタック
	バスケットボール	バスケットボールの個人技能を観る（ディフェンスがいない状態で自分の得意なシュートいくつかを行う） パス&ランを基本としたハーフコートの3対3を行う。 パス&ランを基本としたオールコートのゲームを行う。 （人数によっては、やり方を変えることがある）	バスケットボールの個人技能1（バックボードにボールを当てて左右に移動する回数をみる） バスケットボールの個人技能2（ランニングシュートを左右から行う。その際両手を使うようにする） ディフェンスのいない状態で、パスを受けてから自分の得意なシュートをいくつか行う。
	サッカー	1. ボールコントロール 2. パス&コントロール 3. 「2対2」の攻防（GK有） 4. 「4対4」のゲーム （人数によって、やり方を変えることがある） なお、サッカーシューズ（スパイク）は使用して構わない。荒天の場合、屋内において実技検査を行うことがあるため、屋内シューズを用意すること。	1. パス&ボールコントロール 2. ボールコントロールからシュート なお、サッカーシューズ（スパイク）は使用して構わない。荒天の場合、屋内において実技検査を行うことがあるため、屋内シューズを用意すること。

		こと。	
3	ダンス	創作ダンス作品の演技（3分以内）。 ・作品のタイトル・テーマは自由。 ・音楽（CDに限る）を持参して使用してもよい（プレイヤーは大学で用意）。 ・衣装は自由（スカート、上着など簡単な衣装をつけてもよい）。	創作ダンスあるいは現代的なリズムのダンスの演技（1分30秒以内） *創作ダンスの演技 ・作品のタイトル・テーマは自由 ・音楽（CDに限る）を持参して使用してもよい（プレイヤーは大学で用意）。 *現代的なリズムのダンスの演技 ・ロックまたはヒップホップのリズムから1つ選び、持参した音楽（CD）に合わせて踊ること（プレイヤーは大学で用意）。
	器械運動	マット運動、鉄棒運動のどちらか1つを選択し、5技以上で演技を構成し実施する。 マット運動は12mのマットを往復する。 鉄棒は高鉄棒を使用し、上り技・下り技を含んで構成する。	マット運動において、5技で演技を構成し実施する。 マット運動は12mのマットを往復する。
<p><b>1から3の領域の中から、第1得意種目を1種目と第2得意種目を2種目選択し、合計3種目受験する。ただし、これらの3種目は異なる領域から選ばなければならない。</b> 陸上競技は、荒天の場合、屋内において異なる内容に変更することがある。 各種目の専用シューズを使用してもよい。</p>			
スポーツ活動に関する調書		<p>出身学校長の作成したスポーツ活動に関する調書（本学指定の用紙）は実技検査に併せて評価する。高等学校卒業程度認定試験合格者については、志願者本人が記載したスポーツ活動の記録（前記の調書に記入）に基づいて評価する。 調書に記載された事項について、それを証明できる書類（大会プログラム、公式記録、新聞記事、賞状等から1点）がある場合は、その写しを添付すること。</p>	

### 採点・評価基準

第1得意種目については、基礎的技能及び専門的技能を評価する。第2得意種目については、基礎的技能を評価する。

小学校コース実技系体育分野実技の配点は、第1得意種目250点、第2得意種目250点、中学校コース身体文化専修保健体育分野実技の配点は、第1得意種目350点、第2得意種目150点とする。

## 6 後期日程(小論文)

### 小論文の出題意図等について(後期日程)

学部	学 科	出 題 意 図	採 点 ・ 評 価 基 準
教養学部	教 養 学 科	社会や文化について書かれた日本語の課題文を与え、それに関する設問に対して論述形式で解答させ、理解力、論理的考察力・構成力、表現力を評価する。	理解力、論理的考察力・構成力、表現力を評価する。
経済学部	経 済 学 科	課題文やデータを正確に読み取る能力や、自らの考えを論理的、説得的に表現する能力を評価する。	論理的思考力、表現力を評価する。

## 7 調査書について

- (1) 出身学校長が作成したもの。
- (2) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格(フランス共和国)取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者並びに高等学校卒業程度認定試験合格者(従前の大学入学資格検定合格者を含む。)については、当該試験等の成績証明書等をもって調査書に代える。  
なお、高等学校卒業程度認定試験合格者(従前の大学入学資格検定合格者を含む。)で、科目免除のある者、あるいは一部科目合格者については、該当する入試の出願手続の調査書の欄に詳細を記載しているので、必要な証明書等を併せて提出すること。
- (3) 全ての募集単位において、調査書は入試の基礎資料とする。
- (4) 既卒者の調査書は、卒業後に発行されたものであれば発行日を問いません。なお、卒業後、5年を経過し、出身学校から調査書が発行されない場合は、卒業証明書及び出身学校が発行する理由書(様式任意)を提出すること。
- (5) 廃校・被災により調査書が得られない場合には、卒業証明書・成績証明書・成績通信簿等、調査書に代わり提出可能な証明書等を提出すること。

## 8 入試過去問題の活用について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、個別学力検査において、本学だけでなく「入試過去問題活用宣言」参加校の過去問題を利用する場合がある。

# IV 一般入試の個別学力検査日程及び出願手続等

## 1 前期日程

### (1) 個別学力検査等日程(前期日程)

学 部 ・ 学 科 等		個 別 学 力 検 査 日 程 等					
		試験区分	試験期日	教科等	時間	試験場	
教 養 学 部		学力検査	令和2年 2月25日(火)	英語	10:00~11:30	埼玉大学	
経済学部 (昼間コース)	一般入試 枠	学力検査	令和2年 2月25日(火)	英語	10:00~11:30		
	国際プログラム 枠			国語	13:00~14:30		
小論文				数学	15:30~17:00		
教育 学 部	小学校 コース	文系	学力検査	令和2年 2月25日(火)	英語		10:00~11:30
		理系			数学 または 理科		15:30~17:00
	実技系	音楽分野	実技検査	令和2年 2月26日(水)	音楽		9:00~
		図画工作分野			美術		9:00~12:00
		体育分野			体育		9:00~
	言語文化 専修	国語分野	学力検査	令和2年 2月25日(火)	国語		13:00~14:30
		英語分野			英語		10:00~11:30
	社会専修		小論文	令和2年 2月25日(火)	小論文		13:00~14:30
	自然科学 専修	数学分野	学力検査		令和2年 2月25日(火)		数学
		理科分野		理科			
	芸術専修	音楽分野	実技検査	令和2年 2月26日(水)	音楽		9:00~
		美術分野			美術		9:00~12:00
	身体文化 専修	保健体育分野	面接	令和2年 2月25日(火)	体育		9:00~
	生活創造 専修	技術分野			令和2年 2月26日(水)		面接
家庭科分野		面接	令和2年 2月25日(火)	英語			10:00~11:30
乳幼児教育コース		学力検査		令和2年 2月25日(火)	英語		10:00~11:30
特別支援教育コース		面接	令和2年 2月25日(火)			面接	
理学部		学力検査	令和2年 2月26日(水)	数学	10:00~12:00		
物理学科				総合問題			
基礎化学科							
分子生物学科							
生体制御学科							
工学部	機械工学・システムデザイン学科	学力検査	令和2年 2月26日(水)	数学	10:00~12:00		
	電気電子物理工学科						
	情報工学科						
	環境社会デザイン学科						
	応用化学科						
全学	小論文	令和2年 2月26日(水)	総合問題	13:30~14:30			

(注1) 試験当日必ず本学受験票及び大学入試センター試験受験票を持参すること。

なお、大学入試センター試験受験票は入学手続の際にも必要となるので、紛失した場合には事前に再発行を受けておくこと。

(注2) 当該学部・学科等が指定する大学入試センター試験及び個別学力検査の1教科・科目でも受験しない者は失格とする。

(注3) 教育学部の学力検査を受験する者は、志願した課程・専修等の教科の試験時間にあわせて来場すること。

(注4) 志願者数により近隣の会場を利用する場合がある。この場合、受験票ダウンロード時に連絡する。

## (2) 出願手続(前期日程)

出願方法	出願は、Web出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送）のみとします。 <b>51頁「3 Web出願の流れ」をよく読み、手続きを行ってください。</b>	
出願期間	<b>令和2年1月27日（月）～2月5日（水）期間内必着とします。</b> インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、1月20日（月）から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、 <b>簡易書留速達郵便</b> で発送してください。 （ただし、出願期間が過ぎて2月6日（木）正午までに到着した出願書類のうち、2月4日（火）までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。）	
提出書類等	入学志願票 (注1)(注2)	Web出願サイト ( <a href="https://e-apply.jp/e/saitama-n/">https://e-apply.jp/e/saitama-n/</a> ) 又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。 顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。（この写真は、入学後、学生証にも使用します。） 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。 入学検定料17,000円の支払方法は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。 その後、入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。入学志願票にはセンター試験成績請求票を貼り付けてください。出願書類提出用封筒（市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm））は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	調査書 (注3)	出身学校長が作成し厳封したもの。なお、外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者並びに高等学校卒業程度認定試験合格者（従前の大学入学資格検定合格者を含む。）については、当該試験等の成績証明書等を提出すること。また、高等学校卒業程度認定試験合格者で科目免除のある者は、合格成績証明書に加え在学した高等学校の「単位取得証明書」及び文部科学省の発行する「合格証書」の写しを提出すること。 高等学校卒業程度認定試験の一部科目合格者で、大学入学までに合格する見込みがある者は、出願時に調査書に代えて、文部科学省発行の「合格見込成績証明書」を提出すること。なお、本学の入学者選抜に合格し入学する場合は、文部科学省発行の「合格証書（写）」を合格した学部を担当学部係に令和2年3月27日（金）までに提出すること。これを怠った者は、入学を許可しない。
	音楽実技検査に関する調査書	教育学部学校教育教員養成課程小学校コース実技系音楽分野及び中学校コース芸術専修音楽分野志願者のみ提出すること。 <b>【本学ホームページ掲載の様式を利用】</b> なお、必要に応じて楽譜を提出すること（40頁参照）。
	スポーツ活動に関する調査書	教育学部学校教育教員養成課程小学校コース実技系体育分野及び中学校コース身体文化専修保健体育分野志願者のみ提出すること。なお、調査書に記載された事項について、それを証明できる書類（大会プログラム、公式記録、新聞記事、賞状等から1点）がある場合は、その写しを添付すること。 <b>【本学ホームページ掲載の様式を利用】</b>
	英語力検定試験の成績証明書	経済学部国際プログラム枠入試志願者は、英語力検定試験の成績証明書を提出することができます。TOEIC L&R（IPを含む）の場合、公式認定証または、スコアレポートを提出してください。TOEFL（ITPを含む）やIELTSの場合、手持ちの成績証明書（Examinee Score Report）を提出してください。GTECの場合、「GTEC」OFFICIAL SCORE CERTIFICATEを提出してください。複数回の試験を受験している場合、15頁にある換算表をもとに、最も有利なもの1つを提出してください。 ETSから本学へのスコア送付（Official Score Report）は利用できません。 提出された成績証明書は返却いたしません。
書類郵送先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学 入試課	

(注1) 経済学部一般入試枠の受験科目選択は、Web出願時に行う。なお、出願書類受理後は科目の変更を一切認めない。

(注2) 教育学部学校教育教員養成課程小学校コース理系の受験教科・科目（理科）選択、及び中学校コース自然科学専修理科分野の受験科目（理科）選択は、Web出願時に行う。なお、出願書類受理後は教科・科目の変更を一切認めない。

(注3) 既卒者の調査書は、卒業後に発行されたものであれば発行日を問わない。なお、卒業後、5年を経過し、出身学校から調査書が発行されない場合は、卒業証明書及び出身学校が発行する理由書（様式任意）を提出すること。

ア 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。

到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要になります。)

イ 提出された書類等に不備がある場合には、受理しないことがある。

ウ 提出された書類が受理された場合、出願の取り消し・書類の返却はいかなる理由があってもできない。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。

1) 検定料の返還請求ができるもの

- i) 検定料を払い込んだが出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
- ii) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- iii) 出願後、個別学力検査等受験要件となる大学入試センター試験の科目(12~37頁参照)を受験しなかったことが明らかになった場合(この場合は13,000円のみを返還する。)
- iv) 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合

2) 返還請求の方法

本学ホームページの入試情報ページ(<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/index.html>)より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。

**送付先** 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当  
(返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。)

エ インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合

【入学検定料の支払い前】

お手数ではありますが、再度始めからお申し込み直してください。

新たに【お支払いに必要な番号】が通知されますので、新しい番号で入学検定料をお支払いください。

大学へ出願する書類は、必ず再度印刷した書類を提出してください。

(※前回の出願内容は、お支払期限内に入学検定料の納入がなければ自動的に削除されます。)

【入学検定料を支払った後(入学検定料の免除が認められた者で入力完了した者も含む)】

入学検定料を支払った後に入力誤りに気づいた場合は、やり直しはできません。

その場合は、印刷した出願書類の入力誤り部分を二重線(赤)で消して、訂正のうえで郵送してください。ただし、「前期・後期日程の区分」「希望する学部・学科等」「選択する受験科目」の訂正は一切応じません。

オ 他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)の推薦入試に合格した者は、たとえ受験しても本学の合格者とはならない。ただし、令和元年2月19日(水)までに当該大学に推薦入学辞退の許可を得た場合は、この限りではない。

※公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/?cat=26>)参照

カ 他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)のAO入試に合格した者は、たとえ受験しても本学の合格者とはならない。ただし、令和元年2月19日(水)までに当該大学にAO入試の入学辞退手続きを行った場合は、この限りではない。

※公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/?cat=26>)参照

キ 本学に入学する意思があつて、出願資格に不明な点がある者、及び8頁2(9)に規定する入学資格認定を必要とする者は、可能な限り令和元年中にアドミッションセンター(入試課)へ問い合わせること。

※ 埼玉大学入学資格審査要項、申請書等は本学ホームページに掲載している。

([http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam\\_info/examination/](http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/examination/))

**教育学部学校教育教員養成課程小学校コース実技系体育分野及び中学校コース身体文化専修保健体育分野志願者への注意**

実技検査は、1から3の領域の中から、第1得意種目を1種目と第2得意種目を2種目選択し、合計3種目を受験する。これらの3種目は、異なる領域から選ばなければならないので注意すること。

**実技検査 領域・種目一覧表**

領域	第1得意種目・内容	第2得意種目・内容
1	100m走	100m走
	1500m走	1500m走
	走り幅跳び	走り幅跳び
	砲丸投げ	砲丸投げ
2	バレーボール	バレーボール
	バスケットボール	バスケットボール
	サッカー	サッカー
3	ダンス	ダンス
	マット運動	マット運動
	鉄棒運動	

※ 第2得意種目では「鉄棒運動」は実施しない。



### (3) 合格者の発表(前期日程)

合格発表は、合格者への「合格通知書及び入学手続書類」の発送により行います。掲示による合格発表は行いません。また、不合格者には通知書等の送付は行いません。

- ① 合格通知書及び入学手続書類の発送日  
令和2年3月6日(金)
- ② 電話による合否結果の問い合わせには一切応じません。
- ③ 合否照会システム  
補助手段としてパソコン・携帯電話・スマートフォンによりインターネットで照会することができます。利用方法の詳細は、56頁をご覧ください。  
合否照会システムの利用期間は、以下のとおりです。  
令和2年3月6日(金)14:00～3月9日(月)17:00

### (4) 入学手続(前期日程)

本学が指定した提出書類等を指定の期間内に本人又は代理人が直接大学に持参し、入学手続を行うこと。なお、郵送による入学手続については合格者に通知する。

入学手続日	令和2年3月14日(土)、15日(日) 9時から17時まで
提出書類	(ア) 大学入試センター試験受験票 (イ) 埼玉大学受験票 (ウ) その他本学の指定する書類等(合格者に通知する。)
納付金	(ア) 入学料 282,000円 (イ) 授業料(前期分) 267,900円 (年額 535,800円)

#### 注意事項

- (1) 令和2年3月15日(日)までに入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱う。
- (2) 前期日程合格者で令和2年3月15日(日)までに入学手続を行った者は、後期日程試験を受験していてもその合格者とならない。
- (3) 前期日程合格者で入学を辞退した者は当該学部・学科の追加合格者の対象とならない。
- (4) 本学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことはできない。
- (5) 他の国公立大学に入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできない。
- (6) 追加合格者の入学手続は該当者への合格通知のときに知らせる。
- (7) 本学が定めた上記の入学手続日以外は、いかなる理由があっても一切受付しない。
- (8) 入学料及び授業料は、改定される場合がある。
- (9) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができる。
- (10) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。
- (11) 入学時には上記入学料等のほか、学生教育研究災害傷害保険の加入料など若干の諸経費が必要となる。  
保険金は、本学の教育研究活動中(授業・クラブ活動等の時)に生じた不慮の事故・災害により身体傷害を被った場合並びに、国内において、正課(教育実習、インターンシップ、ボランティア活動を含む。)・学校行事及びその往復途中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより支払務を生じる損害賠償金について支払われる。
- (12) 令和2年3月31日(火)17時までに入学辞退の意思表示をした者については、入学志願者が納付した授業料及び学生教育研究災害傷害保険などの返還に応じるが、納付した入学料については、いかなる理由があっても返還しない。

## 2 後期日程

### (1) 個別学力検査等日程(後期日程)

学部・学科等		個別学力検査日程等				
		試験区分	試験期日	教科等	時間	試験場
教養学部		小論文	令和2年 3月12日(木)	小論文	10:00~11:30	埼玉(注3) 大学
経済学部(昼間コース)		小論文	令和2年 3月12日(木)	小論文	10:00~11:30	
理学部	数 学 科	学力検査	令和2年 3月12日(木)	理科	10:00~12:00	
	物 理 学 科			数学	13:30~15:30	
	基 礎 化 学 科				理科	
	分 子 生 物 学 科					
	生 体 制 御 学 科					
工学部	機械工学・システムデザイン学科	学力検査	令和2年 3月12日(木)	理科	10:00~12:00	
	電気電子物理工学科				数学	13:30~15:30
	情報工学科					
	応用化学科					
	環境社会デザイン学科					

(注1) 試験当日必ず本学受験票及び大学入試センター試験受験票を持参すること。

なお、大学入試センター試験受験票は入学手続の際にも必要となるので、紛失した場合には事前に再発行を受けておくこと。

(注2) 当該学部・学科等が指定する大学入試センター試験及び個別学力検査の1教科・科目でも受験しない者は失格とする。

(注3) 志願者数により近隣の会場を利用する場合がある。この場合、受験票ダウンロード時に通知する。

## (2) 出願手続(後期日程)

出願方法	出願は、Web出願(インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送)のみとします。 <b>51頁「3 Web出願の流れ」をよく読み、手続きを行ってください。</b>	
出願期間	<b>令和2年1月27日(月)～2月5日(水)期間内必着とします。</b> インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、1月20日(月)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、 <b>簡易書留速達郵便</b> で発送してください。 (ただし、出願期間が過ぎて2月6日(木)正午までに到着した出願書類のうち、2月4日(火)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。)	
提出書類等	入学志願票 (注1)	Web出願サイト ( <a href="https://e-apply.jp/e/saitama-n/">https://e-apply.jp/e/saitama-n/</a> ) 又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。 顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。(この写真は、入学後、学生証にも使用します。) 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。 入学検定料17,000円の支払方法は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。 その後、入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。入学志願票にはセンター試験成績請求票を貼り付けてください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	調査書 (注2)	出身学校長が作成し厳封したもの。なお、外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格(フランス共和国)取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者並びに高等学校卒業程度認定試験合格者(従前の大学入学資格検定合格者を含む。)については、当該試験等の成績証明書等を提出すること。また、高等学校卒業程度認定試験合格者で科目免除のある者は、合格成績証明書に加え在学した高等学校の「単位取得証明書」及び文部科学省の発行する「合格証書」の写しを提出すること。 高等学校卒業程度認定試験の一部科目合格者で、大学入学までに合格する見込みがある者は、出願時に調査書に代えて、文部科学省発行の「合格見込成績証明書」を提出すること。なお、本学の入学者選抜に合格し入学する場合は、文部科学省発行の「合格証書(写)」を合格した学部担当学係に令和2年3月27日(金)までに提出すること。これを怠った者は、入学を許可しない。
書類郵送先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学 入試課	

(注1) 理学部数学科・基礎化学科・分子生物学科・生体制御学科の受験科目(理科)の選択は、Web出願時に行う。

なお、出願書類受理後は科目の変更は一切認めない。

(注2) 既卒者の調査書は、卒業後に発行されたものであれば発行日を問わない。なお、卒業後、5年を経過し、出身学校から調査書が発行されない場合は、卒業証明書及び出身学校が発行する理由書(様式任意)を提出すること。

### ア 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。

到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要になります。)

イ 提出された書類等に不備がある場合には、受理しないことがある。

ウ 提出された書類が受理された場合、出願の取り消し・書類の返却はいかなる理由があってもできない。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。

(1) 検定料の返還請求ができるもの

- i) 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
- ii) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- iii) 出願後、個別学力検査等受験要件となる大学入試センター試験の科目(12～37頁参照)を受験しなかったことが明らかになった場合(この場合は13,000円を返還する)
- iv) 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合

(2) 返還請求の方法

本学ホームページの入試情報ページ(<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/index.html>)より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。

**送付先** 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当  
(返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。)

エ インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合

【入学検定料の支払い前】

お手数ではありますが、再度始めからお申し込み直してください。

新たに【お支払いに必要な番号】が通知されますので、新しい番号で入学検定料をお支払いください。

大学へ出願する書類は、必ず再度印刷した書類を提出してください。

(※前回の出願内容は、お支払期限内に入学検定料の納入がなければ自動的に削除されます。)

【入学検定料を支払った後（入学検定料の免除が認められた者で入力完了した者も含む）】

**入学検定料を支払った後に入力誤りに気づいた場合は、やり直しはできません。**

その場合は、印刷した出願書類の入力誤り部分を二重線（赤）で消して、訂正のうえで郵送してください。ただし、「前期・後期日程の区分」「希望する学部・学科等」「選択する受験科目」の訂正は一切応じません。

オ 他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)の推薦入試に合格した者は、たとえ受験しても本学の合格者とはならない。ただし、令和2年2月19日(水)までに当該大学の推薦入学辞退の許可を得た場合は、この限りではない。

※公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/?cat=26>) 参照

カ 他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)のAO入試に合格した者は、たとえ受験しても本学の合格者とはならない。ただし、令和2年2月19日(水)までに当該大学にAO入試の入学辞退手続きを行った場合は、この限りではない。

※公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/?cat=26>) 参照

キ 本学に入学する意思があつて、出願資格に不明な点がある者、及び8頁2(9)に規定する入学資格認定を必要とする者は、可能な限り令和元年中にアドミッションセンター(入試課)へ問い合わせること。

※ 埼玉大学入学資格審査要項、申請書等は本学ホームページに掲載している。

([http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam\\_info/examination/](http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/examination/))

### (3) 合格者の発表(後期日程)

合格発表は、合格者への「合格通知書及び入学手続書類」の発送により行います。

掲示による合格発表は行いません。また、不合格者には通知書等の送付は行いません。

① 合格通知書及び入学手続書類の発送日

令和2年3月20日(金)

② 電話による合否結果の問い合わせには一切応じません。

③ 合否照会システム

補助手段としてパソコン・携帯電話・スマートフォンによりインターネットで照会することができます。利用方法の詳細は、56頁をご覧ください。

合否照会システムの利用期間は、以下のとおりです。

令和2年3月20日(金)14:00～3月24日(火)17:00

### (4) 入学手続(後期日程)

本学が指定した提出書類等を指定の期間内に本人又は代理人が直接大学に持参し、入学手続を行うこと。なお、郵送による入学手続については合格者に通知する。

入学手続日	令和2年3月26日(木)、27日(金) 9時から17時まで
提出書類	(ア) 大学入試センター試験受験票 (イ) 埼玉大学受験票 (ウ) その他本学の指定する書類等(合格者に通知する。)
納付金	(ア) 入学料 282,000円 (イ) 授業料(前期分) 267,900円 (年額 535,800円)

#### 注意事項

- (1) 令和2年3月27日(金)までに入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱う。
- (2) 本学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことはできない。
- (3) 他の国公立大学に入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできない。
- (4) 追加合格者の入学手続は該当者への合格通知のときに知らせる。
- (5) 本学が定めた前記の入学手続日以外は、いかなる理由があつても一切受付しない。
- (6) 入学料及び授業料は、改定される場合がある。
- (7) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができる。
- (8) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。
- (9) 入学時には上記入学料等のほか、学生教育研究災害傷害保険の加入料など若干の諸経費が必要となる。保険金は、本学の教育研究活動中(授業・クラブ活動等の時)に生じた不慮の事故・災害により身体傷害を被った場合並びに、国内において、正課(教育実習、インターンシップ、ボランティア活動を含む)・学校行事及びその往復途中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより支払義務を生じる損害賠償金について支払われる。
- (10) 令和2年3月31日(火)17時までに入学辞退の意思表示をした者については、入学志願者が納付した授業料及び学生教育研究災害傷害保険などの返還に応じるが、納付した入学料については、いかなる理由があつても返還しない。

# Web出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



## STEP

1



### 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)  
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、写真データ、センター試験成績請求票など



## STEP

2



### Web出願サイトにアクセス

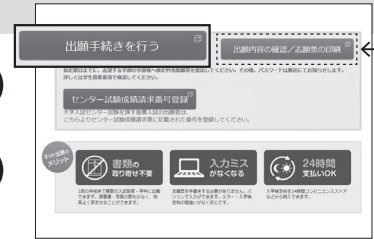
Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/e/saitama-n/>

または、

大学ホームページ ▶ <http://www.saitama-u.ac.jp/>

からアクセス

※出願期間の1週間前から入力・登録可能



## STEP

3



### 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

① 試験区分、志望学部・学科等

② 個人情報(氏名・住所等)

③ 申込登録完了

受付番号(12桁)は必ず控えてください。出願情報を確認する場合と、出願書類を出力する際に必要になります。

「出願内容の確認/志願票の印刷」ボタンより、受付番号(※)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、Web志願票の出力ができます。

④ 入学検定料の支払い方法

● コンビニエンスストア  
● ペイジー対応銀行ATM  
● ネットバンキング ● クレジットカード

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号	_____
番号メモ(13桁)	_____

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済	_____
番号メモ(11桁)	_____

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号	_____
メモ(11桁)	_____
確認番号	_____
メモ(6桁)	_____
収納機関番号	5 8 0 2 1
(5桁)	

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

## 入学検定料の支払い

## 1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

## 2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

## 3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能

## セブン-イレブン



Loppi

LAWSON

Famiポート

あなたと、コンビニ。  
FamilyMart

クラブ  
ステーション

Seicomart

## 4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

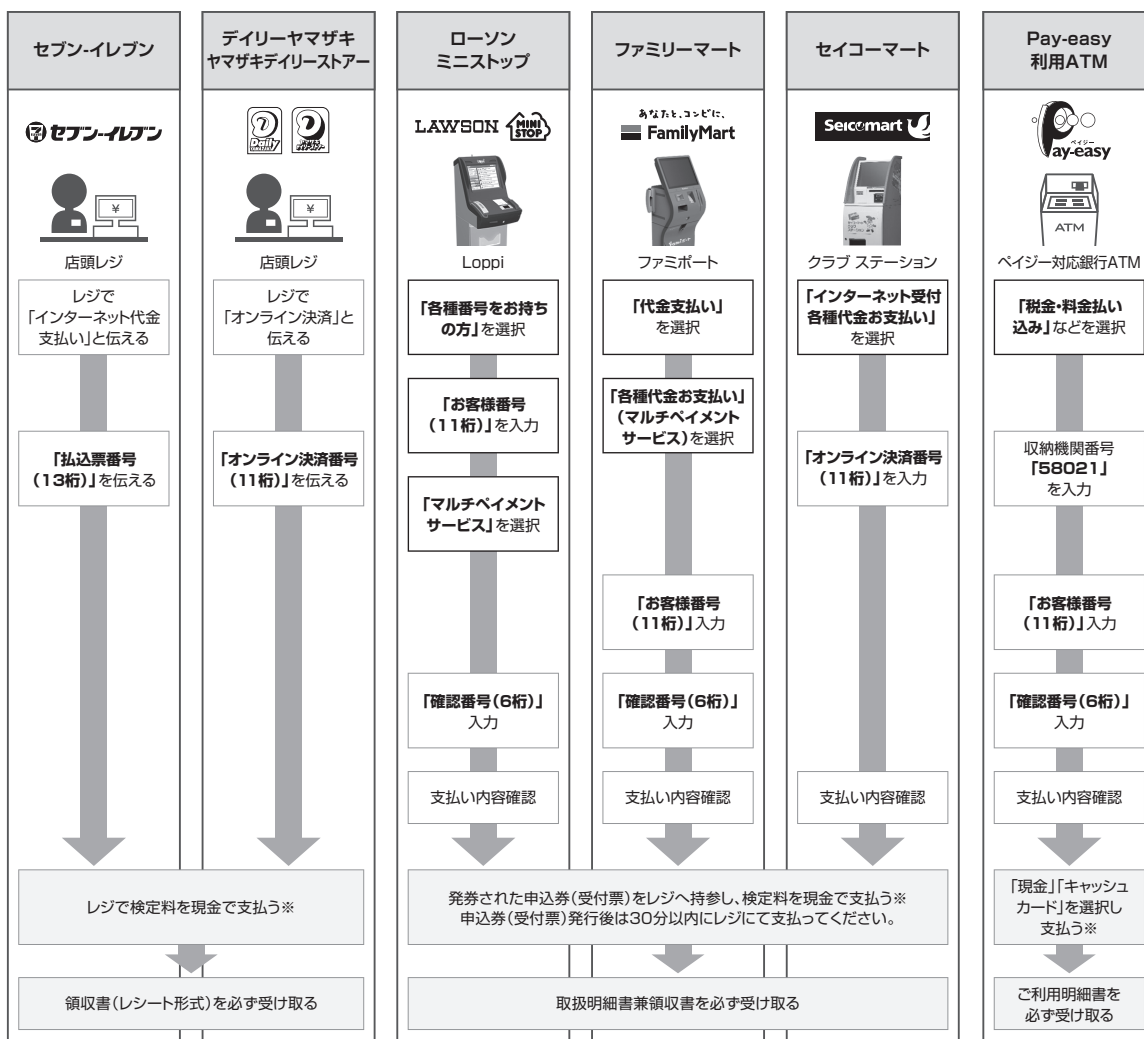
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

## 3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

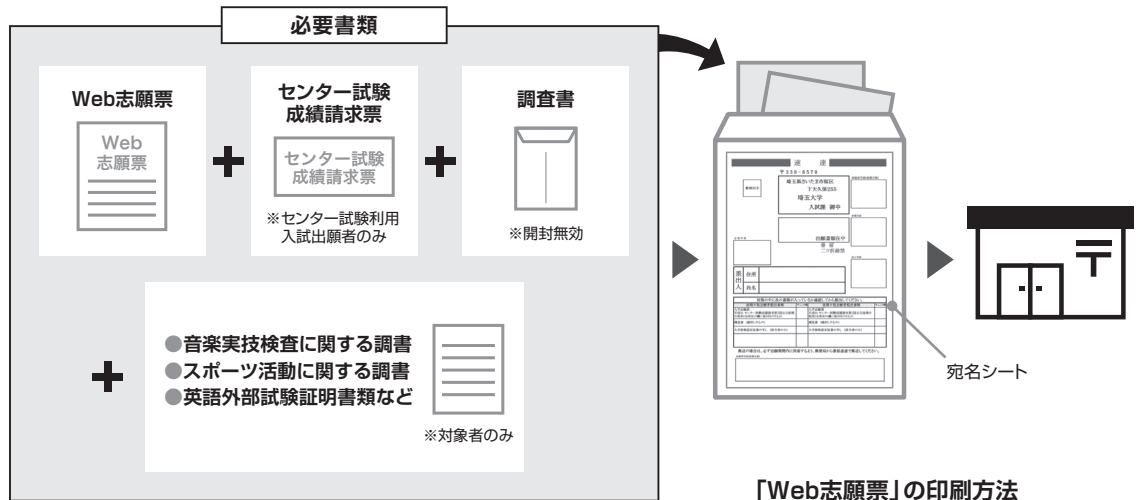
STEP

5

必要書類の郵送

\*登録しただけでは出願は完了していませんのでご注意ください。

登録完了画面、または確認メールに記載されている必要書類を郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。※出願期間内必着です。



送付先

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255  
埼玉大学入試課 行

■出願書類

詳細は本学HPで公表している学生募集要項で確認してください。

※出願受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

「Web志願票」の印刷方法



「出願内容の確認/志願票の印刷」ボタンより、受付番号(\*)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、Web志願票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の  
注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんのでご注意ください。

Web出願は24時間可能です。ただし、出願期間最終日の出願登録、入学検定料の支払は、17時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)までとなりますが、必要書類の郵送は各募集要項で定められた期間内に必ず到着するよう、ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

6

受験票の印刷

\*出願締切後にご登録のメールにご連絡します。

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間受付終了後から試験前日までに一斉に受験票を配信します。Web出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に片面印刷してください。





## 4 受験票のダウンロード

- (1) 令和2年2月17日(月)に、出願時に登録したメールアドレスへ「**受験票ダウンロード通知メール**」を**送信しますので**、受験票をダウンロードして印刷してください。

なお、メールが届かない場合であっても、出願が受理されていれば、同日以降に受験票のダウンロードができますので、下記【STEP2】【STEP3】を参照して受験票をダウンロードし、印刷してください。


ダウンロードした受験票の氏名等に間違いがある場合、学務部入試課へ連絡してください。

連絡先: 埼玉大学学務部入試課 【電話 048 (858) 3036】

- 【STEP1】 志願者より郵送される出願書類を本学にて確認後、インターネット出願時に登録したメールアドレスへ以下のとおり受験票ダウンロード通知メールを送信します。

【埼玉大学】出願サービス 受験票印刷可能メール 受信トレイ x

---

 **no-reply@e-apply.jp** disc.co.jp 経由  
To e-apply\_staff

◆=====◆  
【e-applyインターネット申込受付サイト】  
埼玉大学 出願サービス 受験票印刷可能のご案内  
◆=====◆

\*\*\*\*\*

このたびは、出願サイトをご利用いただき、誠にありがとうございます。  
受験票の印刷が可能となりましたので、お知らせいたします。

■受付番号  
228823856610  
※受験番号ではありません。

■以下のURLから登録内容を必ず確認の上、受験票を印刷してください。  
<https://rehearsal.e-apply.jp/n/saitama-n/login/228823856610>

■注意  
○試験当日は、印刷をした受験票を持参してください。  
○スマートフォン等の画面表示による受験票の提示は認めません。  
○受験票が印刷できない場合は、速やかに募集要項に記載されている問い合わせ先に連絡をしてください。  
○本メールは入試が終了するまで大切に保管をしてください。

\*\*\*\*\*

本メールは、送信専用メールアドレスから配信されています。  
返信をいただいてもお答えできませんので、ご了承下さい。

問い合わせについては、募集要項に記載されている問い合わせ先に連絡願います。


当メールに心当たりが無い場合は、誠に恐れ入りますが破棄していただきますよう、  
よろしく申し上げます。

\*\*\*\*\*



【STEP2】 受験票ダウンロード通知メールを受信後、登録内容確認画面にログインします。

登録内容確認ページにログインするには、出願登録時の【受付番号(数字 12桁)・生年月日・メールアドレス】が必要になります。



## Step6 受験票の印刷

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールにて通知します。  
必ず印刷し、試験当日持参してください。

🔴 出願内容の確認 / 志願票・受験票の印刷はこちら



※ トップページ / Top

出願したときの受付番号(12桁)、生年月日、メールアドレスを入力して、「ログイン」ボタンを押してください。

### ログイン

受付番号	<input type="text"/>	(半角数字)
生年月日	<input type="text" value="2000"/> / <input type="text" value="01"/> / <input type="text" value="01"/>	
メールアドレス	<input type="text"/>	

ログイン

※ サイトの管理運営は株式会社ディスコが行っています。  
© DISCO Inc.

【STEP3】 ログイン後、受験生登録画面より受験票(PDF)をダウンロードし、カラー印刷して、試験当日に持参してください。

#### お申込内容

受付番号	228582633633
受付日時	2019年1月14日 0時00分00秒
検定料	17,000 円
決済種別	クレジットカード
払込手数料	810 円
合計金額	17,810 円

<b>書類(PDF)の表示</b>	<p>入学検定料は納入済みです。</p> <p>【入学志願票等を印刷する皆さまへ】 次のボタンを押して表示される「入学志願者名票」「出願書類提出用宛名シート」を印刷し、その他の必要な書類とあわせて、必ず提出期限内に「簡易書留・速達郵便」で郵送してください。 (必要書類・提出期限は必ず募集要項を確認してください。) ※「入学志願者名票」には「平成31センター試験成績請求票」を必ず貼付して提出してください(一般入試志願者のみ)。 ※「出願書類提出用宛名シート」は送付先の宛名等があらかじめ記載されていますので、書類を封入する角形2号封筒の表面に貼付して使用してください。</p> <p>【大学入試センター成績請求票貼付用紙を印刷する皆さまへ】 次のボタンを押して表示される「大学入試センター成績請求票貼付用紙」を印刷し、用紙に記載された説明をよく読み、「推薦 国公立推薦入試用」成績請求票を貼り付けのうえ、「〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学入試課」宛に12月19日(水)迄に届くよう郵送してください。</p> <p style="text-align: center;"><a href="#">書類(PDF)の表示</a></p>
<b>受験票等のPDF</b>	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"><a href="#">受験票等のPDFの表示</a></div>

#### 写真

(2) 「埼玉大学受験票」及び「大学入試センター試験受験票」は、個別学力検査等受験、入学手続及び入試情報開示請求の際に必要なため、大切に保管しておいてください。

## 5 合否照会システムの利用方法について

### ■WEB による合否結果通知

#### 1. URLの入力

URL: <https://www.gouhi.com/saitama-u/>



※QRコードリーダー対応携帯電話をお持ちの方は、右のQRコードを読み取り、表示されたURLをクリックしてインターネットに接続してください。

#### 2. 操作手順



# V 帰国子女入試

## 1 募集人員及び選抜方法

次の表による募集人員において、大学入試センター試験を免除し、試験の成績及び成績証明書等の内容による。

学部・学科	募集人員	学力検査	小論文 (帰国子女 用試験)	面接 (注2)	選 抜 日 程 等		
					学力検査等日時	面接日時等	
教 養 学 部	若干名	×	×	○	—	令和2年2月25日(火) 時間等は入学志願者に 通知する。	
工 学 部	機械工学・システムデザイン学科	各学科 若干名 一般入試と 同一問題 (注1)	○	×	○	令和2年2月26日(水)  10:00~12:00  集合場所等は入学志願者 に通知する。	令和2年2月26日(水)  集合時間：13:00  集合場所等は入学志願者 に通知する。
	電気電子物理工学科						
	情報工学科						
	応用化学科						
	環境社会デザイン学科						

(注1) 工学部の学力検査は、数学〔数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数Bは「数列」と「ベクトル」とする。)]である。

(注2) 面接は日本語で行う。

### (1) 配点

学部・学科	学力検査	小論文	面接
教 養 学 部	—	—	200
工 学 部	100	—	面接は、得点化しないで「合・否」の判定を行う。

### (2) 面接の形式及び採点・評価基準

学部・学科	面接形式	採点・評価基準
教 養 学 部	個人面接	大学教育に必要な日本語能力、勉学意欲(志望分野への適性を含む。)だけでなく、海外生活体験で修得したものを積極的に評価する。
工 学 部	個人面接	理解力、論理的思考力、推理力、意欲、表現力、及び一般的学力(高等学校卒業レベル)・語学力を評価する。 志望の理由について、明確な論旨で説明できるかどうかで勉学に対する意欲を評価し、問題解決能力や新しい考え方を発想する能力などを多面的に評価する。

(注1) 面接は、複数の面接員で実施する。  
なお、グループディスカッションは行わない。

(注2) 個人面接を基本とするが、志願者数により集団面接とすることもある。

### (3) 合否判定基準等

各学部の募集単位の合否判定基準等は以下のとおりである。

学 部	合 否 判 定 基 準 等
教 養 学 部	あらかじめ決められた配点に基づき、面接により合否を決定する。 提出された資料は面接の際に活用し、総合的な判断に用いる。
工 学 部	あらかじめ決められた配点により、学力検査の成績に基づいて順位を付けて合否を決定するが、面接が一定の評価基準に達しない者は、不合格とする。 提出された資料は面接の際に活用し、総合的な判断に用いる。

## 2 出願資格

日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、外国において最終の学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、かつ、次のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成30年（2018年）4月1日から令和2年（2020年）3月31日までの間に修了した者及び修了する見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（学校教育法施行規則第150条第1号）
- (2) 外国において次の資格のいずれかを平成30年(2018年)から令和2年(2020年)に取得した者
  - ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
  - ② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
  - ③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格

[注1] 上記①の「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」は、次のとおりです。

(昭和56年文部省告示第153号第1号)

外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に平成30年（2018年）又は平成31年・令和元年（2019年）に合格した者で、18歳に達した者及び令和2年（2020年）3月31日までに18歳に達する者

[注2] 外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなされません。

[注3] インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の外国の教育機関出身者は、出願が認められない場合があるので、必ず出願前（できるだけ早い時期）に、アドミッションセンター（入試課）までお問い合わせください。

本学に入学する意思があり、出願資格に不明な点がある者で、入学資格認定を必要とする者は、可能な限り令和元年中にアドミッションセンター（入試課）へ問い合わせること。

※ 埼玉大学入学資格審査要項、申請書等は本学ホームページに掲載している。

([http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam\\_info/examination/](http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/examination/))

### 3 出願手続

出願方法	出願は、Web出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送）のみとします。 <b>61頁「6 Web出願の流れ」をよく読み、手続きを行ってください。</b>	
出願期間	<b>令和2年1月20日（月）～1月27日（月）期間内必着とします。</b> インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、1月13日（月）から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、 <b>簡易書留速達郵便</b> で発送してください。 （ただし、出願期間が過ぎて1月28日（火）正午までに到着した出願書類のうち、1月26日（日）までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。）	
提出書類等	入学志願票	Web出願サイト（ <a href="https://e-apply.jp/e/saitama-n/">https://e-apply.jp/e/saitama-n/</a> ）又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。 顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。（この写真は、入学後、学生証にも使用します。） 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。 入学検定料17,000円の支払方法は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。 その後、入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒（市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm））は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	特別入試履歴等記入シート	所定の様式に必要な事項をもれなく記入すること。 【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	卒業（修了）証明書又は同見込証明書	「2 出願資格の（1）」に該当する者のみ提出すること。
	成績証明書等	ア 「2 出願資格の（1）」に該当する者については、高等学校3年間の成績証明書。 また、日本国の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）に在学したことのある者は、当該校の校長が作成し厳封した所定の成績証明書も提出すること。 イ 「2 出願資格の（2）①」に該当する者については、国際バカロレア資格証明書（写）と最終試験6科目の成績評価証明書を提出すること。 ウ 「2 出願資格の（2）②」に該当する者については、一般的大学入学資格証明書を提出すること。 エ 「2 出願資格の（2）③」に該当する者については、バカロレア資格証書の写し又は、バカロレア資格試験成績証明書を提出すること。
	在留カードの写し等（外国籍の者）	外国籍の者は、在留カードの両面の写し又は、国籍及び在留資格を確認できるものを提出すること。
	統一試験等の成績証明書	諸外国の国家試験等（アメリカ合衆国のSAT、イギリスのGCE等）を受験している者は、その試験の成績証明書。
	在籍証明書	在籍した外国の学校のそれぞれの学校長が作成したもの。
書類郵送先	〒338-8570	埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学 入試課

ア 前記の書類のうち、**外国語により作成されているものは、日本語の訳文を必ず添付**すること。

（志望者本人が翻訳したものでよく、この場合は厳封を不要とする。）

イ **提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。**

到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。（使用時は、簡易書留郵便送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要になります。）

ウ 提出された書類等に不備がある場合には、受理しないことがある。

エ 提出された書類等が受理された場合、出願の取り消し・書類の返却はいかなる理由があってもできない。  
また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。

- 1) 検定料の返還請求ができるもの
  - i) 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
  - ii) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
  - iii) 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合

2) 返還請求の方法

本学ホームページの入試情報ページ (<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/index.html>) より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。

**送付先** 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当  
 （返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。）

オ インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合

**【入学検定料の支払い前】**

お手数ではありますが、再度始めからお申し込み直してください。

新たに【お支払いに必要な番号】が通知されますので、新しい番号で入学検定料をお支払いください。

大学へ出願する書類は、必ず再度印刷した書類を提出してください。

（※前回の出願内容は、お支払期限内に入学検定料の納入がなければ自動的に削除されます。）

**【入学検定料を支払った後（入学検定料の免除が認められた者で入力完了した者も含む）】**

**入学検定料を支払った後に入力誤りに気づいた場合は、やり直しはできません。**

その場合は、印刷した出願書類の入力誤り部分を二重線（赤）で消して、訂正のうえで郵送してください。ただし、「希望する学部・学科等」「選択する受験科目」の訂正は一切応じません。

## 4 合格者の発表

合格発表は、合格者への「合格通知書及び入学手続書類」の発送により行います。

掲示による合格発表は行いません。また、不合格者には通知書等の送付は行いません。

① 合格通知書及び入学手続書類の発送日

令和2年3月6日(金)

② 電話による合否結果の問い合わせには一切応じません。

③ 合否照会システム

補助手段としてパソコン・携帯電話・スマートフォンによりインターネットで照会することができます。利用方法の詳細は、66頁をご覧ください。

合否照会システムの利用期間は、以下のとおりです。

令和2年3月6日(金)14:00～3月9日(月)17:00

## 5 入学手続

本学が指定した提出書類等を指定の期間内に本人又は代理人が直接大学に持参し、入学手続を行うこと。なお、郵送による入学手続については合格者に通知する。

入学手続日	令和2年3月14日(土)、15日(日) 9時から17時まで
提出書類	(ア) 埼玉大学受験票 (イ) その他本学の指定する書類等（合格者に通知する。）
納付金	(ア) 入学料 282,000円 (イ) 授業料(前期分) 267,900円（年額 535,800円）

### 注意事項

- (1) 上記の入学手続期間内に入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱う。
- (2) 本学が定めた上記の入学手続日以外は、いかなる理由があっても一切受付しない。
- (3) 入学料及び授業料は、改定される場合がある。
- (4) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができる。
- (5) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。
- (6) 入学時には上記入学料等のほか、学生教育研究災害傷害保険加入料など若干の諸経費が必要となる。  
 保険金は、本学の教育研究活動中（授業・クラブ活動等の時）に生じた不慮の事故・災害により身体傷害を被った場合並びに、国内において、正課（教育実習、インターンシップ、ボランティア活動を含む）・学校行事及びその往復途中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより支払義務を生じる損害賠償金について支払われる。
- (7) 令和2年3月31日（火）17時までに入学辞退の意思表示をした者については、入学志願者が納付した授業料及び学生教育研究災害傷害保険などの返還に応じますが、納付した入学料については、いかなる理由があっても返還しません。

# Web出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



## STEP

# 1



### 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)  
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…卒業証明書、成績証明書、写真データなど



## STEP

# 2



### Web出願サイトにアクセス

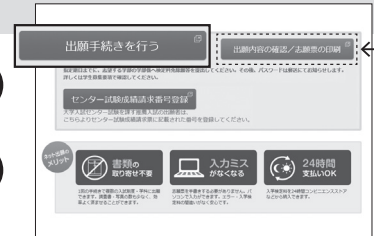
Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/e/saitama-n/>

または、

大学ホームページ ▶ <http://www.saitama-u.ac.jp/>

からアクセス

※出願期間の1週間前から入力・登録可能



## STEP

# 3



### 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

① 試験区分、志望学部・学科等

② 個人情報(氏名・住所等)

③ 申込登録完了

受付番号(12桁)は必ず控えてください。出願情報を確認する場合と、出願書類を出力する際に必要になります。

「出願内容の確認/志願票の印刷」ボタンより、受付番号(\*)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、Web志願票の出力ができます。

④ 入学検定料の支払い方法

● コンビニエンスストア  
● ペイジー対応銀行ATM  
● ネットバンキング ● クレジットカード

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号	_____
番号メモ(13桁)	_____

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済	_____
番号メモ(11桁)	_____

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号	_____
メモ(11桁)	_____
確認番号	_____
メモ(6桁)	_____
収納機関番号	5 8 0 2 1
(5桁)	

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。



## 入学検定料の支払い

## 1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

## 2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

## 3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能

セブン-イレブン

Loppi

LAWSON



Famiポート

あなたと、コンビニ。  
FamilyMart

クラブ  
ステーション

Seicomart

## 4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

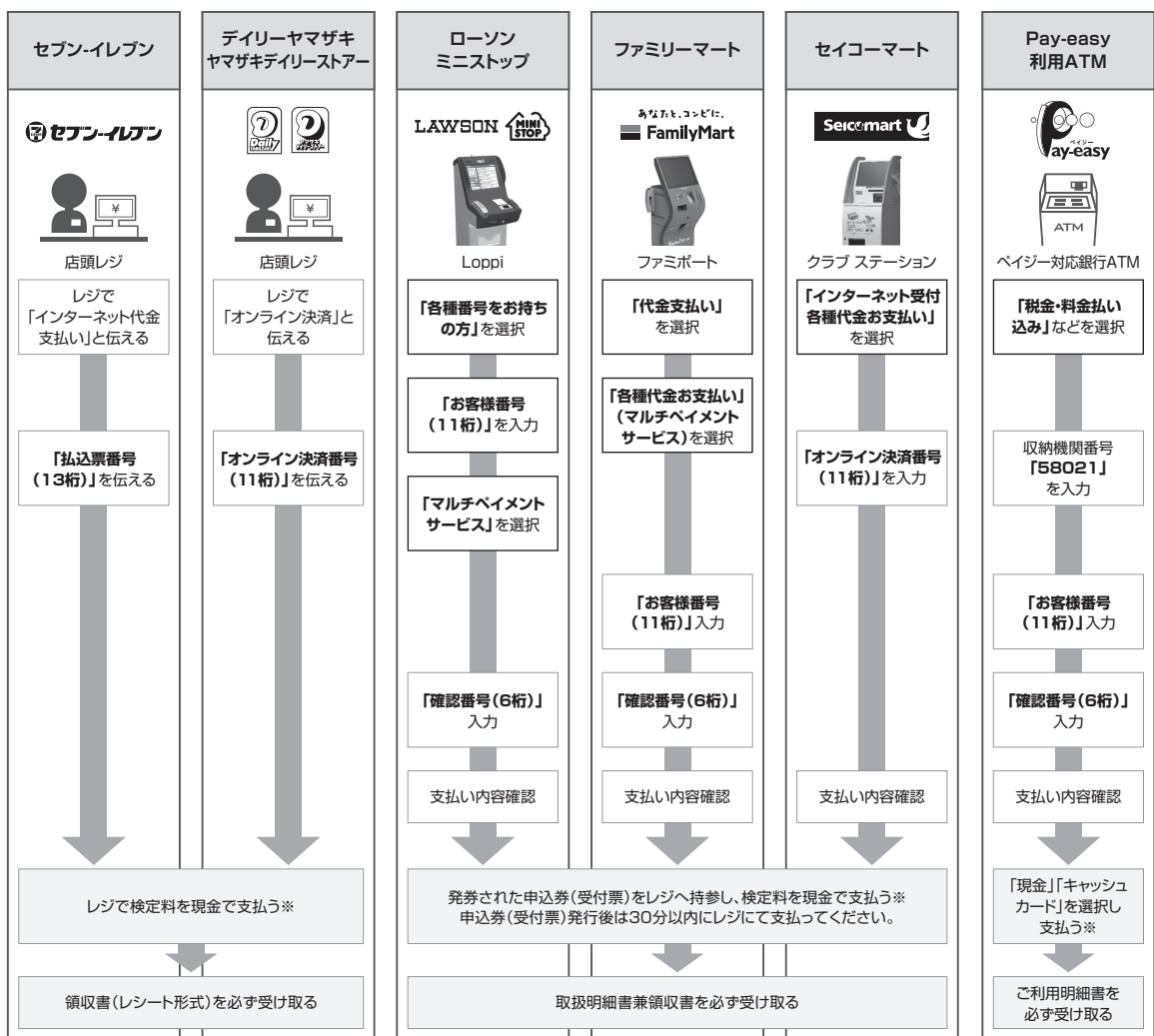
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

## 3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。



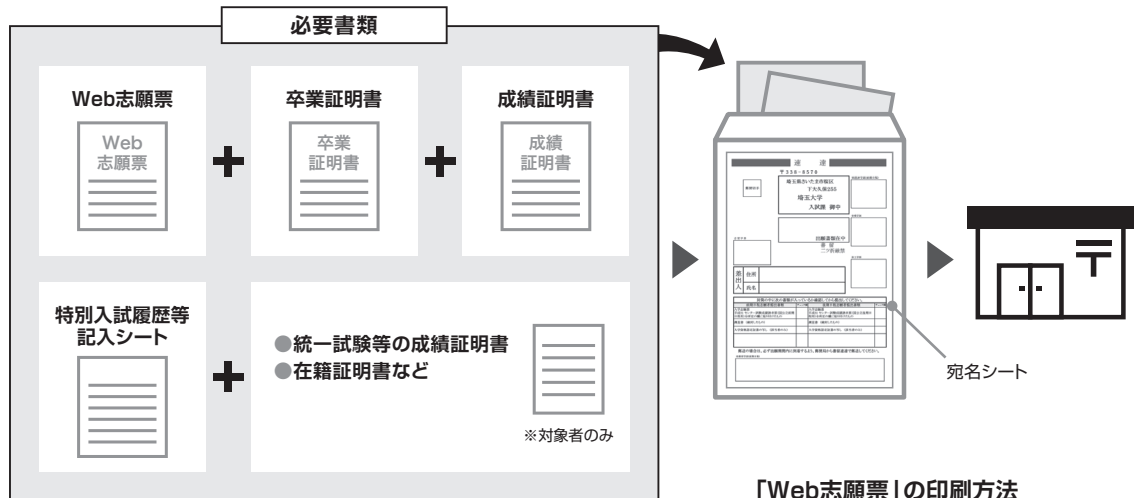
STEP

5

必要書類の郵送

\*登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

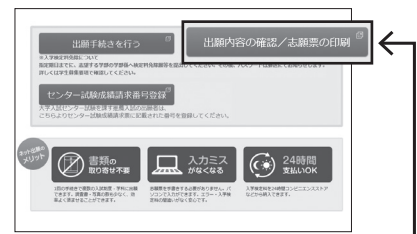
登録完了画面、または確認メールに記載されている必要書類を郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。※出願期間内必着です。



**送付先** 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255  
埼玉大学入試課 行

**■出願書類**  
詳細は本学HPで公表している学生募集要項で確認してください。  
※出願受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

「Web志願票」の印刷方法



「出願内容の確認/志願票の印刷」ボタンより、受付番号(\*)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、Web志願票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の  
注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。  
登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

Web出願は24時間可能です。ただし、出願期間最終日の出願登録、入学検定料の支払は、17時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)までとなりますが、必要書類の郵送は各募集要項で定められた期間内に必ず到着するよう、ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

6

受験票の印刷

\*出願締切後にご登録のメールにご連絡します。

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間受付終了後から試験前日までに一斉に受験票を配信します。Web出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください (※郵送はいたしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に片面印刷してください。



## 7 受験票のダウンロード

- (1) 令和2年2月12日(水)に、出願時に登録したメールアドレスへ「**受験票ダウンロード通知メール**」を**送信しますので**、受験票をダウンロードして印刷してください。

なお、メールが届かない場合であっても、出願が受理されていれば、同日以降に受験票のダウンロードができますので、下記【STEP2】【STEP3】を参照して受験票をダウンロードし、印刷してください。


ダウンロードした受験票の氏名等に間違いがある場合、学務部入試課へ連絡してください。

連絡先: 埼玉大学学務部入試課 【電話 048 (858) 3036】

- 【STEP1】 志願者より郵送される出願書類を本学にて確認後、インターネット出願時に登録したメールアドレスへ以下のとおり受験票ダウンロード通知メールを送信します。

【埼玉大学】出願サービス 受験票印刷可能メール 受信トレイ x

---

 **no-reply@e-apply.jp** disc.co.jp 経由  
To e-apply\_staff

◆=====◆  
【e-applyインターネット申込受付サイト】  
埼玉大学 出願サービス 受験票印刷可能のご案内  
◆=====◆

\*\*\*\*\*

このたびは、出願サイトをご利用いただき、誠にありがとうございます。  
受験票の印刷が可能となりましたので、お知らせいたします。

■受付番号  
228823856610  
※受験番号ではありません。

■以下のURLから登録内容を必ず確認の上、受験票を印刷してください。  
<https://rehearsal.e-apply.jp/n/saitama-n/login/228823856610>

■注意  
○試験当日は、印刷をした受験票を持参してください。  
○スマートフォン等の画面表示による受験票の提示は認めません。  
○受験票が印刷できない場合は、速やかに募集要項に記載されている問い合わせ先に連絡をしてください。  
○本メールは入試が終了するまで大切に保管をしてください。

\*\*\*\*\*

本メールは、送信専用メールアドレスから配信されています。  
返信をいただいてもお答えできませんので、ご了承下さい。


問い合わせについては、募集要項に記載されている問い合わせ先に連絡願います。

当メールに心当たりが無い場合は、誠に恐れ入りますが破棄していただきますよう、  
よろしく申し上げます。

\*\*\*\*\*

【STEP2】 受験票ダウンロード通知メールを受信後、登録内容確認画面にログインします。

登録内容確認ページにログインするには、出願登録時の【受付番号(数字 12桁)・生年月日・メールアドレス】が必要になります。



## Step6 受験票の印刷

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールにて通知します。  
必ず印刷し、試験当日持参してください。

➡ 出願内容の確認 / 志願票・受験票の印刷はこちら



※ トップページ / Top

出願したときの受付番号(12桁)、生年月日、メールアドレスを入力して、「ログイン」ボタンを押してください。

### ログイン

受付番号	<input type="text"/>	(半角数字)
生年月日	<input type="text" value="2000"/> / <input type="text" value="01"/> / <input type="text" value="01"/>	
メールアドレス	<input type="text"/>	

ログイン

※ サイトの管理運営は株式会社ディスコが行っています。  
© DISCO Inc.

【STEP3】 ログイン後、受験生登録画面より受験票(PDF)をダウンロードし、カラー印刷して、試験当日に持参してください。

#### お申込内容

受付番号	228582633633
受付日時	2019年1月14日 0時00分00秒
検定料	17,000 円
決済種別	クレジットカード
払込手数料	810 円
合計金額	17,810 円

書類(PDF)の表示	<p>入学検定料は納入済みです。</p> <p>【入学志願票等を印刷する皆さまへ】 次のボタンを押して表示される「入学志願者名票」「出願書類提出用宛名シート」を印刷し、その他必要な書類とあわせて、必ず提出期限内に「簡易書留・速達郵便」で郵送してください。(必要書類・提出期限は必ず募集要項で確認してください。) ※「入学志願者名票」には「平成31センター試験成績請求票」を必ず貼付して提出してください(一般入試志願者のみ)。 ※「出願書類提出用宛名シート」は送付先の宛名等があらかじめ記載されていますので、書類を封入する角形2号封筒の表面に貼付して使用してください。</p> <p>【大学入試センター成績請求票貼付用紙を印刷する皆さまへ】 次のボタンを押して表示される「大学入試センター成績請求票貼付用紙」を印刷し、用紙に記載された説明をよく読み、「推薦 国公立推薦入試用」成績請求票を貼り付けのうえ、「〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学入試課」宛に12月19日(水)迄に届くよう郵送してください。</p> <p style="text-align: center;"><a href="#">書類(PDF)の表示</a></p>
受験票等のPDF	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"><a href="#">受験票等のPDFの表示</a></div>

#### 写真

(2)「埼玉大学受験票」は、個別学力検査受験、入学手続及び入試情報開示請求の際に必要なため、大切に保管しておいてください。

## 8 合否照会システムの利用方法について

### ■WEB による合否結果通知

#### 1. URLの入力

URL: <https://www.gouhi.com/saitama-u/>



※QRコードリーダー対応携帯電話をお持ちの方は、右のQRコードを読み取り、表示されたURLをクリックしてインターネットに接続してください。

#### 2. 操作手順

「埼玉大学合格発表サイトです。ここでの発表は速報であり、合格者には大学より入学手続き書類が郵送されます。受験番号は間違いの無いようあわせて入力してください。」



# VI 私費外国人留学生入試

## 1 募集人員及び選抜方法

次の表に示す学部・学科等において若干名を募集し、大学入試センター試験を免除し、試験の成績及び69頁の表による「日本留学試験」の成績、スポーツ活動に関する調査(教育学部のうち体育実技による受験者)及び出身学校等の成績によって選抜する。

学部・学科等	学力検査 一般入試と 同一試験	小論文 外国人留学生 用試験	実技検査 一般入試と 同一試験	面接 (注9)	入試日程等			
					学力検査等日時	面接日時等		
教養学部	○ (12頁前期参照) (注1)	×	×	○	令和2年2月25日(火) 時間等は44頁を参照	令和2年2月25日(火) 時間等は入学志願者 に通知する。		
経済学部(昼間コース)	×	○ (注6)	×	○	第1次試験 令和2年2月18日(火) 集合時間:10:00 集合場所等は、入学志願者 に通知する。	第2次試験 令和2年2月20日(木) 時間等は入学志願者 に通知する。(注7)		
教育学部 学校教育教員養成課程	教育学専修	○(注2)	×	○ (教育専修は、教育と社会に関する口頭試験及び、日本語文献を読む力に関する口頭試験を含む。) 国語分野は、国語に関する口頭試験を含む。 英語分野は、英語に関する口頭試験を含む。 算数分野及び数学分野は、数学に関する口頭試験を含む。 理科分野は、理科に関する口頭試験を含む。 ものづくりと情報分野及び技術分野は、ものづくりと情報に関する口頭試験を含む。 家庭科分野は、家庭科に関する口頭試験を含む。 養護教諭養成課程は、保健に関する口頭試験を含む。)	○	令和2年2月25日(火) 時間等は44頁を参照	令和2年2月21日(金) 時間等は入学志願者 に通知する。	
	心理・教育実践学専修	○(注2)						
	言語文化専修	国語分野						○(注2)
		英語分野						○(注2)
	社会専修	○(注3)						
	自然科学専修	算数分野						○(注4)
		理科分野						○(注5)
	芸術専修	音楽分野						×
		図画工作分野						×
	生活創造専修	ものづくりと情報分野						×
		家庭科分野	○(注2)					
	言語文化専修	国語分野	○					
		英語分野	○					
	社会専修	○						
	自然科学専修	数学分野	○					
		理科分野	○					
	芸術専修	音楽分野	×					
		美術分野	×					
	身体文化専修	保健体育分野	×					
		技術分野	×					
生活創造専修	家庭科分野	○						
	乳幼児教育コース	○						
特別支援教育コース	○							
養護教諭養成課程	×							
理学部	数学科	○ (30,32頁 後期参照)	×	×	○	令和2年3月12日(木) 時間等は48頁を参照	令和2年3月13日(金) 時間等は入学志願者 に通知する。	
	物理学科							
	基礎化学科							
	分子生物学科							
工学部	機械工学・システムデザイン学科	×	×	×	○	×	令和2年2月26日(水)	
	応用化学科							
	電気電子物理工学科	○ (注8)	×	×	○	令和2年2月26日(水) 10:00~12:00	集合時間:13:00 集合場所等は、入学志願者 に通知する。	
	情報工学科							
環境社会デザイン学科								

(注1) 教養学部の学力検査には、辞書を1冊持参し使用することができる。但し電子辞書の使用は禁止する。

(注2) 小学校コース 文系の外国語を受験する。16頁参照。

(注3) 中学校コース 社会専修の小論文を受験する。20頁参照。

(注4) 小学校コース 理系の数学を受験する。16頁参照。

(注5) 小学校コース 理系の理科を受験する。16頁参照。

(注6) 経済学部の小論文試験は、「課題を与え、思考力、理解力、日本語能力をみる」という出題意図で実施する。

(注7) 経済学部の第2次試験(面接)は、第1次試験(小論文)の合格者に対して行う。[第1次試験の合格発表は令和2年2月19日(水)14:00]

(注8) 工学部電気電子物理工学科・情報工学科及び環境社会デザイン学科の学力検査は、数学[数I・数II・数III・数A・数B(「数列」と「ベクトル」)]である。

(注9) 面接は日本語で行う。

(日本留学試験で入学志願者に解答させる教科・科目名等)

入学志願者に解答させる教科・科目名		日本留学試験で入学志願者に解答させる教科・科目名	出題言語	入学者選抜に利用する日本留学試験		
学部・学科等						
教養学部		日本語・総合科目・数学(コース1)	日本語、英語のどちらでも可			
経済学部(昼間コース)						
教育学部	学校教育教員養成課程	教育学専修	下記の文系、理系のどちらを選択しても可 文系：日本語 総合科目 数学(コース1又はコース2) 理系：日本語 理科(3科目のうち2科目選択) 数学(コース1又はコース2)	日本語のみ	平成30年6月～ 令和元年11月 実施分	
		心理・教育実践学専修				
		言語文化専修				国語分野
						英語分野
		社会専修				
		自然科学専修				算数分野
						理科分野
		芸術専修				音楽分野
						図画工作分野
		生活創造専修				ものづくりと情報分野
	家庭科分野					
	言語文化専修	国語分野				
		英語分野				
	社会専修					
	中学校コース	自然科学専修				数学分野
						理科分野
		芸術専修				音楽分野
						美術分野
		身体文化専修				保健体育分野
	生活創造専修	技術分野				
家庭科分野						
乳幼児教育コース						
特別支援教育コース						
養護教諭養成課程						
理学部	数子生物学科	日本語 理科(3科目のうち2科目選択) 数学(コース2)				
	物理学科	日本語 理科[(物理)と(化学・生物から1)の計2] 数学(コース2)				
	基礎化学科	日本語 理科[(化学)と(物理・生物から1)の計2] 数学(コース2)				
	生体制御学科	日本語 理科[(化学)と(生物)の計2] 数学(コース2)				
工学部	機械工学・システムデザイン学科 電気電子物理工学科 情報報工学科 環境社会デザイン学科	日本語 理科[(物理)と(化学・生物から1)の計2] 数学(コース2)				
	応用化学科	日本語 理科[(物理)と(化学)の計2] 数学(コース2)				

(1) 配点

学部・学科等		学力検査 一般入試と 同一試験	小論文 外国人 留学生試験	実技検査 一般入試と 同一試験	面接	日本留学試験			合計		
						日本語	数学	総合科目 又は理科			
教 養 学 部		400	—	—	200	450(注2)	200	200	1,450		
経済学部(昼間コース)		—	400	—	400	800(注9)	400(注5)	400(注6)	2,400		
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校コース	教育学専修	500	—	(注1)	450(注2)	200	200	1,350	
			心理・教育実践学専修								
			言語文化専修								国語分野
											英語分野
			社会専修								
		自然科学専修	算数分野								
			理科分野								
		芸術専修	音楽分野	500							
			図画工作分野								
		生活創造専修	ものづくりと 情報分野	100							
		家庭科分野	(注1)								
	中学校コース	言語文化専修	国語分野	500	—	500	200	200	1,350		
			英語分野								
		社会専修									
		自然科学専修	数学分野								
			理科分野								
		芸術専修	音楽分野							500	
		美術分野									
身体文化専修	保健体育分野	200									
生活創造専修	技術分野	100									
	家庭科分野	500	—	(注1)	200	200	1,550				
乳幼児教育コース											
特別支援教育コース	—	—	—	—	—	—	—	—	850		
理学部	数 学 科	1,000	—	—	(注10)	0(注7)	0(注7)	0(注7)	1,000		
	物 理 学 科	800							800		
	基 礎 化 学 科	800							800		
	分 子 生 物 学 科	500							500		
	生 体 制 御 学 科	400							400		
工学部	機械工学・システムデザイン学科	—	—	—	(注10)	200	200	0(注7)	400		
	電気電子物理工学科	100						0(注7)	500		
	情報工学科	300						0(注7)	700		
	応用化学科	—						450(注2)	850		
	環境社会デザイン学科	200						225(注8)	825		

- (注1) 面接は得点化せず、「可・不可」の判定を行う。
- (注2) 日本語の読解、聴解・聴読解の合計400点に記述の50点を加算する。
- (注3) 数学の得点を0.5倍にする。
- (注4) 総合科目又は理科の得点を0.5倍にする。
- (注5) 数学の得点を2倍する。
- (注6) 総合科目又は理科2科目の合計点を2倍する。
- (注7) 日本留学試験の受験は課すが、配点はしない。
- (注8) 日本語の読解、聴解・聴読解、記述の合計点を0.5倍する。
- (注9) 日本語の読解、聴解・聴読解の合計点を2倍する。
- (注10) 面接は得点化しないで「合・否」の判定を行う。

## (2)小論文の出題意図及び採点・評価基準

学部・課程	出題意図及び採点・評価基準
経済学部（昼間コース）	読解力、論理構成力、日本語能力を総合的に評価する。

## (3)実技検査・面接について

ア 実技検査の採点・評価基準については、一般入試(前期日程)と同じである。

イ 面接の形式及び採点・評価基準は以下のとおりである。

学部・学科など		面接形式	採点・評価基準		
教 養 学 部		個人面接	日本語の文章を受験者に音読してもらうほか、面接員と受験者の質疑応答を行い、大学教育に必要な日本語能力（音読力、読解力、コミュニケーション能力）、勉学意欲（志望分野への適性を含む。）をみる。		
経 済 学 部（昼間コース）		集団面接	本学部への志望の動機・学びたい学問・海外で学習した内容等に関する質疑を行い、本学部で学習する意欲や可能性を総合的に判断する。		
教 育 学 部	小 学 校 コ ー ス	教 育 学 専 修	個人面接	志望動機、教育学への関心及び一般的知識、及び日本語能力を総合的に評価する。	
				心理・教育実践学専修	勉学意欲、日本語による理解能力、コミュニケーション能力及び論文・レポート作成能力。
		言 語 文 化 専 修		国 語 分 野	国語及び国語教育への関心、将来教育にかかわる仕事をする意欲、また教育実習等に十分対応しうる日本語能力があるかどうかという観点から採点・評価する。
				英 語 分 野	日本語および英語の文章について、音読・要約・質疑応答等を行い、日本語と英語の理解力・運用力をみるとともに、志望動機・勉学意欲・教職への意識等を総合的に評価する。
		社 会 専 修		意欲、表現力をみる。志望の動機が明確かどうか、学習意欲が高いかどうか、日本語コミュニケーション能力があるかどうかという観点から採点・評価する。	
		自 然 科 学 専 修		算 数 分 野	志望の理由等が明確であること、修業の意志が志望分野の内容と矛盾していないこと日本語能力があるかどうか等を総合的に判断して評価する。
				理 科 分 野	理解力、意欲、物のとらえ方、日本語会話力、志望の理由、学業成績、就学状況など。
		芸 術 専 修		音 楽 分 野	入学後の授業を受ける上で支障のない日本語能力、及び音楽的知識をみる。
	図画工作分野			教育への関心と意欲、芸術及び創造への関心と意欲を総合的に評価する。	
	生 活 創 造 専 修	ものづくりと情報分野		ものづくりと情報についての関心、教職への意欲、思考力、コミュニケーション能力を総合的に評価する。	
		家庭科分野		家庭科及び家庭科教育への関心、意欲、理解力、考察力、表現力をみる。	
	中 学 校 科 ー ス	言 語 文 化 専 修		国 語 分 野	国語及び国語教育への関心、将来教育にかかわる仕事をする意欲、また教育実習等に十分対応しうる日本語能力があるかどうかという観点から採点・評価する。
				英 語 分 野	日本語および英語の文章について、音読・要約・質疑応答等を行い、日本語と英語の理解力・運用力をみるとともに、志望動機・勉学意欲・教職への意識等を総合的に評価する。
		社 会 専 修		意欲、表現力をみる。志望の動機が明確かどうか、学習意欲が高いかどうか、日本語コミュニケーション能力があるかどうかという観点から採点・評価する。	
		自 然 科 学 専 修		数 学 分 野	志望の理由等が明確であること、修業の意志が志望分野の内容と矛盾していないこと日本語能力があるかどうか等を総合的に判断して評価する。
				理 科 分 野	理解力、意欲、物のとらえ方、日本語会話力、志望の理由、学業成績、就学状況など。
芸 術 専 修		音 楽 分 野	入学後の授業を受ける上で支障のない日本語能力、及び音楽的知識をみる。		
		美 術 分 野	教育への関心と意欲、芸術及び創造への関心と意欲を総合的に評価する。		
身 体 文 化 専 修		保健体育分野	口頭による質問等により、保健体育・スポーツに関する意欲、関心、知識、理解を総合的に評価する。また、日本語能力をみる。		



		生活創造 専 修	技術分野	個人面接	技術についての関心や経験、教職への意欲、思考力、コミュニケーション能力を総合的に評価する。
			家庭科分野		家庭科及び家庭科教育への関心、意欲、理解力、考察力、表現力をみる。
			乳幼児教育コース		志望動機、大学生活への構想、日本語の読解力と表現力をみる。
			特別支援教育コース		志望動機、日本語でのコミュニケーション能力。
			養護教諭養成課程		口頭による質問等により、保健に関する関心、知識、理解を総合的に評価する。また、日本語能力をみる。
理 学 部					考察力、理解力、表現力に優れているかどうか、総合的に判断する。
工 学 部			個人面接を基本とするが、志願者数により集団面接(4~6人)とする学科もある。		理解力、論理的思考力、推理力、意欲、表現力、及び一般学力(高等学校卒業レベル)・語学力を評価する。 志望の理由について、明確な論旨で説明できるかどうかで勉学に対する意欲を評価し、問題解決能力や、新しい考え方を発想する能力などを多面的に評価する。

注) 面接は、複数の面接員で実施する。なお、全募集単位にわたり、グループディスカッションは行わない。

#### (4) 合否判定基準等

各募集単位の合否判定基準は以下のとおりである。

学部・学科		合 否 判 定 基 準 等
教 養 学 部		あらかじめ決められた配点に基づき、学力検査、「日本留学試験」及び面接の総合点により合否を決定する。 提出された資料は面接の際に活用し、総合的な判断に用いる。
経 済 学 部 (昼間コース)		あらかじめ決められた配点により、小論文、面接及び「日本留学試験」の成績の総合点順に合否を決定する。また、成績証明書は入試方法の基礎資料とする。 なお、あらかじめ決められた配点以外に特定の科目を重視したり、基準最低点を設けたりしない。
教 育 学 部		あらかじめ決められた配点に基づいた、学力検査、実技検査、面接(身体文化専修保健体育分野、生活創造専修ものづくりと情報分野・技術分野、言語文化専修英語分野)の成績、「日本留学試験」の成績を総合して合否を決定する。 なお、面接の判定で「不可」の場合は不合格とする。 芸術専修音楽分野は、実技検査の満点(500点)の60%(300点)に達していない者は不合格とする。 出身学校等の成績は、入試の基礎資料とする。
理 学 部		あらかじめ決められた配点に基づき、学力検査の得点の総合点順に順位付けし合否を決定する。 なお、「日本留学試験」の成績及び調査書等の提出された書類は基礎資料とする。 また、面接の判定で「否」の場合は、不合格とする。
工 学 部	機械工学・応用化学科 応 用 化 学 科	あらかじめ決められた配点により、「日本留学試験」の成績に基づいて順位付けし合否を判定するが、面接が一定の評価基準に満たない者は、不合格とする。 提出された資料は面接の際に活用し、総合的な判断に用いる。
	電気電子物理工学科 情 報 工 学 科 環境社会デザイン学科	あらかじめ決められた配点により、「日本留学試験」及び学力検査の成績に基づいて順位付けし合否を判定するが、面接が一定の評価基準に満たない者は、不合格とする。 提出された資料は面接の際に活用し、総合的な判断に用いる。

## 2 出願資格

本学に出願できる者は、次の(1)～(3)のすべてに該当する者とする。

- (1) 日本の国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く）

注1 日本の国籍を有しない者であっても、日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）を卒業した者及び令和2年3月卒業見込の者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この入試には出願できない。

注2 日本国籍と外国籍の両方を持っている者（二重国籍）は、私費外国人留学生入試の出願はできない。

- (2) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格(留学等)を有する者で、次のいずれかに該当する者

区分	出 願 資 格
1	外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年(2020年)3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
2	1に準ずる者で文部科学大臣の指定した者
	ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。下記において同じ。）に合格した者で、令和2年(2020年)3月31日までに18歳に達する者
	イ 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は研修施設の課程等を修了した者【別表1、別表2参照】
	ウ エ オ 外国において、指定した11年以上の課程を修了したとされるものである等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者【別表3参照】 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者【別表4参照】 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものを除く。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了した者【別表1、5参照】
3	スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
4	ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
5	フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
6	グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者
7	外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者

注1 区分2の別表1～5は、83頁に掲載

- (3) 独立行政法人 日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を受験した者

注1 「日本留学試験」の受験科目等については、68頁の表を参照すること。

注2 経済学部、工学部志願者は、更に以下の条件を満たすこと。

- i) 経済学部志願者においては、「日本留学試験」の日本語（読解、聴解・聴読解）の合計得点が280点以上、総合科目又は理科（3科目のうち2科目選択）と数学（コース1又はコース2）の合計得点が280点以上
- ii) 工学部機械工学・システムデザイン学科、応用化学科及び環境社会デザイン学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語（読解、聴解・聴読解、記述）の合計得点が270点以上、理科（志望する学科が指定する2科目）の合計得点が120点以上、数学（コース2）の得点が120点以上
- iii) 工学部電気電子物理工学科及び情報工学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語（読解、聴解・聴読解、記述）の合計得点が320点以上、理科（物理と化学又は生物）の合計得点が140点以上、数学（コース2）の得点が140点以上

注3 日本留学試験の「受験票」・「成績通知書」(コピーは不可)を本学の試験当日に必ず持参すること。  
 なお、受験票・成績通知書は、出願の際提出した「成績通知書の写し」に則したものを持参すること。

注4 日本留学試験については下記に照会すること。

照会先 〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29

独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課 TEL 03-6407-7457(直通)

本学に入学する意思があり、出願資格に不明な点がある者で、入学資格認定を必要とする者は、可能な限り令和元年中にアドミッションセンター(入試課)へ問い合わせること。

※ 埼玉大学入学資格審査要項、申請書等は本学ホームページに掲載している。

([http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam\\_info/examination/](http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/examination/))

### 3 修了証明書及び成績証明書等

出願資格に該当する区分	提出書類
1	最終学校(外国における日本の高等学校に対応する)の修了(見込)証明書、及び成績証明書
2	ア 合格証明書、及び成績証明書
	イ ① 外国において高等学校に対応する学校の修了証明書(認定試験合格者は合格証明書)、及び成績証明書 ② 我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程の修了(見込)証明書、及び成績証明書
	ウ 外国において高等学校に対応する学校の修了(見込)証明書、及び成績証明書
	エ 外国において高等学校に対応する学校の修了(見込)証明書、及び成績証明書
	オ ① 外国において高等学校に対応する学校の修了証明書、及び成績証明書 ② 我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程の修了(見込)証明書、及び成績証明書
3	国際バカロレア資格証書(International Baccalaureate Diploma)の写し、及び最終試験6科目の成績評価証明書
4	アビトゥア資格取得者に授与される一般的大学入学資格証明書の写し(Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife)
5	バカロレア資格証書(Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré)の写し、及びバカロレア資格試験成績証明書
6	ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーションの成績評価証明書
7	当該教育施設の長が発行する修了(見込)証明書、成績証明書、及び当該教育施設が国際的な評価団体(WASC, ACSI, CIS)の認定を受けていることが確認できる書類

## 4 出願手続

出願方法	出願は、Web出願(インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送)のみとします。 <b>77頁「8 Web出願の流れ」をよく読み、手続きを行ってください。</b>	
出願期間	<b>令和2年1月20日(月)～1月27日(月)期間内必着とします。</b> インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、1月13日(月)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (但し、出願期間が過ぎて1月28日(火)正午までに到着した出願書類のうち、1月26日(日)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。)	
提出書類等	入学志願票 (注1)(注2)	Web出願サイト ( <a href="https://e-apply.jp/e/saitama-n/">https://e-apply.jp/e/saitama-n/</a> ) 又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。 顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。(この写真は、入学後、学生証にも使用します。) 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。 入学検定料17,000円の支払方法は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。 その後、入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	日本留学試験成績通知書の写し	複数回受験した場合は、交付を受けた成績通知書の中から <b>1通のみ</b> 提出し、 <b>2通以上提出しない</b> こと。
	修了証明書及び成績証明書等	上記「3 修了証明書及び成績証明書等」参照、オリジナル又は、その写しを大使館等公的機関が証明したものを提出すること。 <b>(オリジナルの写しを提出する場合には、大使館等公的機関の証明がないものは受け付けられない。)</b>
	特別入試履歴等記入シート	所定の様式に必要な事項をもれなく記入すること。 【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	住民票 (注3)	在留資格及び在留期間の明記されたもの。 なお、出願時に住民票を提出できない者は、その理由書(様式任意)及びパスポートの写しを提出すること。
	音楽実技検査に関する調書	教育学部学校教育教員養成課程芸術専修音楽分野志願者のみ提出すること。 【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	スポーツ活動に関する調書	教育学部学校教育教員養成課程身体文化専修保健体育分野志願者のみ提出すること。 【本学ホームページ掲載の様式を利用】
書類郵送先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学 入試課	

(注1) 教育学部学校教育教員養成課程小学校コース自然科学専修理科分野及び中学校コース自然科学専修理科分野の受験科目(理科)選択は、Web出願時に行う。なお、出願書類受理後は科目の変更を一切認めない。

(注2) 理学部数学科・基礎化学科・分子生物学科・生体制御学科の受験科目(理科)選択は、Web出願時に行う。  
なお、出願書類受理後は科目の変更を一切認めない。

(注3) 出願時において、記載内容に変更が生じていなければ、住民票の発行日は問わないものとする。

ア 前記の書類のうち、**外国語により作成されているものは、日本語の訳文を必ず添付**すること。  
(志望者本人が翻訳したものでよく、この場合は厳封を不要とする。)

イ **提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。**

到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要になります。)

ウ 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがある。

エ 提出された書類等が受理された場合、出願の取り消し・書類の返却はいかなる理由があってもできない。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。

1) 検定料の返還請求ができるもの

i) 検定料を払い込んだが出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合

ii) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

2) 返還請求の方法

本学ホームページの入試情報ページ (<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/index.html>) より

返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。

送付先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当  
(返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。)

オ インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合

**【入学検定料の支払い前】**

お手数ではありますが、再度始めからお申し込み直してください。  
新たに【お支払いに必要な番号】が通知されますので、新しい番号で入学検定料をお支払いください。  
大学へ出願する書類は、必ず再度印刷した書類を提出してください。  
(※前回の出願内容は、お支払期限内に入学検定料の納入がなければ自動的に削除されます。)

**【入学検定料を支払った後(入学検定料の免除が認められた者で入力完了した者も含む)】**

**入学検定料を支払った後に入力誤りに気づいた場合は、やり直しはできません。**

その場合は、印刷した出願書類の入力誤り部分を二重線(赤)で消して、訂正のうえで郵送してください。ただし、「希望する学部・学科等」「選択する受験科目」の訂正は一切応じません。

カ 出願時に住民票を提出できない者は、試験当日にパスポートを持参し係員に提示すること。

キ 入学試験当日に渡日不可能で受験が出来ない場合でも、検定料の返還は出来ない。

## 5 試験当日必ず持参するもの

- (1) 本学受験票
- (2) 日本留学試験受験票・成績通知書(コピーは不可)  
なお、受験票・成績通知書は、出願の際提出した「成績通知書の写し」に則したものを持参すること。

## 6 合格者の発表

合格発表は、合格者への「合格通知書及び入学手続書類」の発送により行います。

(経済学部の第1次試験合格発表を除く。)

掲示による合格発表は行いません。また、不合格者には通知書等の送付は行いません。

なお、補助手段としてパソコン・携帯電話・スマートフォンによりインターネットで照会することができます。利用方法の詳細は、82頁をご覧ください。

- (1) 経済学部の第1次試験合格発表
  - ① 経済学部ホームページ (<http://www.eco.saitama-u.ac.jp>) で  
令和2年2月19日(水)14:00に発表します。
  - ② 電話による合否結果の問い合わせには一切応じません。
- (2) 教養学部、経済学部(第2次試験)、教育学部及び工学部の合格発表
  - ① 合格通知書及び入学手続書類の発送日  
令和2年3月6日(金)
  - ② 合否照会システムの利用期間は、以下のとおりです。  
令和2年3月6日(金)14:00～3月9日(月)17:00
  - ③ 電話による合否結果の問い合わせには一切応じません。
- (3) 理学部の合格発表
  - ① 合格通知書及び入学手続書類の発送日  
令和2年3月20日(金)
  - ② 合否照会システムの利用期間は、以下のとおりです。  
令和2年3月20日(金)14:00～3月24日(火)17:00
  - ③ 電話による合否結果の問い合わせには一切応じません。

## 7 入学手続

本学が指定した提出書類等を指定の期間内に本人又は代理人が直接大学に持参し、入学手続を行うこと。  
なお、郵送による入学手続については合格者に通知する。

入学手続日	教養学部、経済学部(昼間コース)、教育学部、工学部の合格者 令和2年3月14日(土)、15日(日) 9時から17時まで 理学部の合格者 令和2年3月26日(木)、27日(金) 9時から17時まで
提出書類	(ア) 埼玉大学受験票 (イ) 日本留学試験の「 <b>受験票</b> 」 (ウ) その他本学の指定する書類等(合格者に通知する。)
納付金	(ア) 入学料 282,000円 (イ) 授業料(前期分) 267,900円 (年額 535,800円)

## 注意事項

- (1) 上記の入学手続期間内に入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱う。
- (2) 本学が定めた上記の入学手続日以外は、いかなる理由があっても一切受付しない。
- (3) 入学料及び授業料は、改定される場合がある。
- (4) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができる。
- (5) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。
- (6) 入学時には上記入学料等のほか、学生教育研究災害傷害保険の加入料など若干の諸経費が必要となる。  
保険金は、本学の教育研究活動中（授業・クラブ活動等の時）に生じた不慮の事故・災害により身体傷害を被った場合並びに、国内において、正課（教育実習、インターンシップ、ボランティア活動を含む。）・学校行事及びその往復途中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより支払義務を生じる損害賠償金について支払われる。
- (7) 令和2年3月31日（火）17時までに入学辞退の意思表示をした者については、入学志願者が納付した授業料及び学生教育研究災害傷害保険などの返還に応じるが、納付した入学料については、いかなる理由があっても返還しない。

# Web出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



## STEP

# 1

### 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)  
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…修了証明書、成績証明書、住民票、写真データなど



## STEP

# 2

### Web出願サイトにアクセス

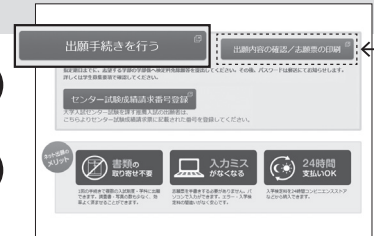
Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/e/saitama-n/>

または、

大学ホームページ ▶ <http://www.saitama-u.ac.jp/>

からアクセス

※出願期間の1週間前から入力・登録可能



## STEP

# 3

### 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

① 試験区分、志望学部・学科等

② 個人情報(氏名・住所等)

③ 申込登録完了

受付番号(12桁)は必ず控えてください。出願情報を確認する場合と、出願書類を出力する際に必要になります。

「出願内容の確認/志願票の印刷」ボタンより、受付番号(\*)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、Web志願票の出力ができます。

④ 入学検定料の支払い方法

● コンビニエンスストア  
● ページー対応銀行ATM  
● ネットバンキング ● クレジットカード

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ページー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはページー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号	_____
番号メモ(13桁)	_____

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済	_____
番号メモ(11桁)	_____

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ページー対応銀行ATMの場合

お客様番号	_____
メモ(11桁)	_____
確認番号	_____
メモ(6桁)	_____
収納機関番号(5桁)	5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ページーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

## 入学検定料の支払い

## 1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

## 2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

## 3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能

## セブン-イレブン



Loppi

LAWSON



Famiポート

あなたと、コンビニ。  
FamilyMart

クラブ  
ステーション



## 4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

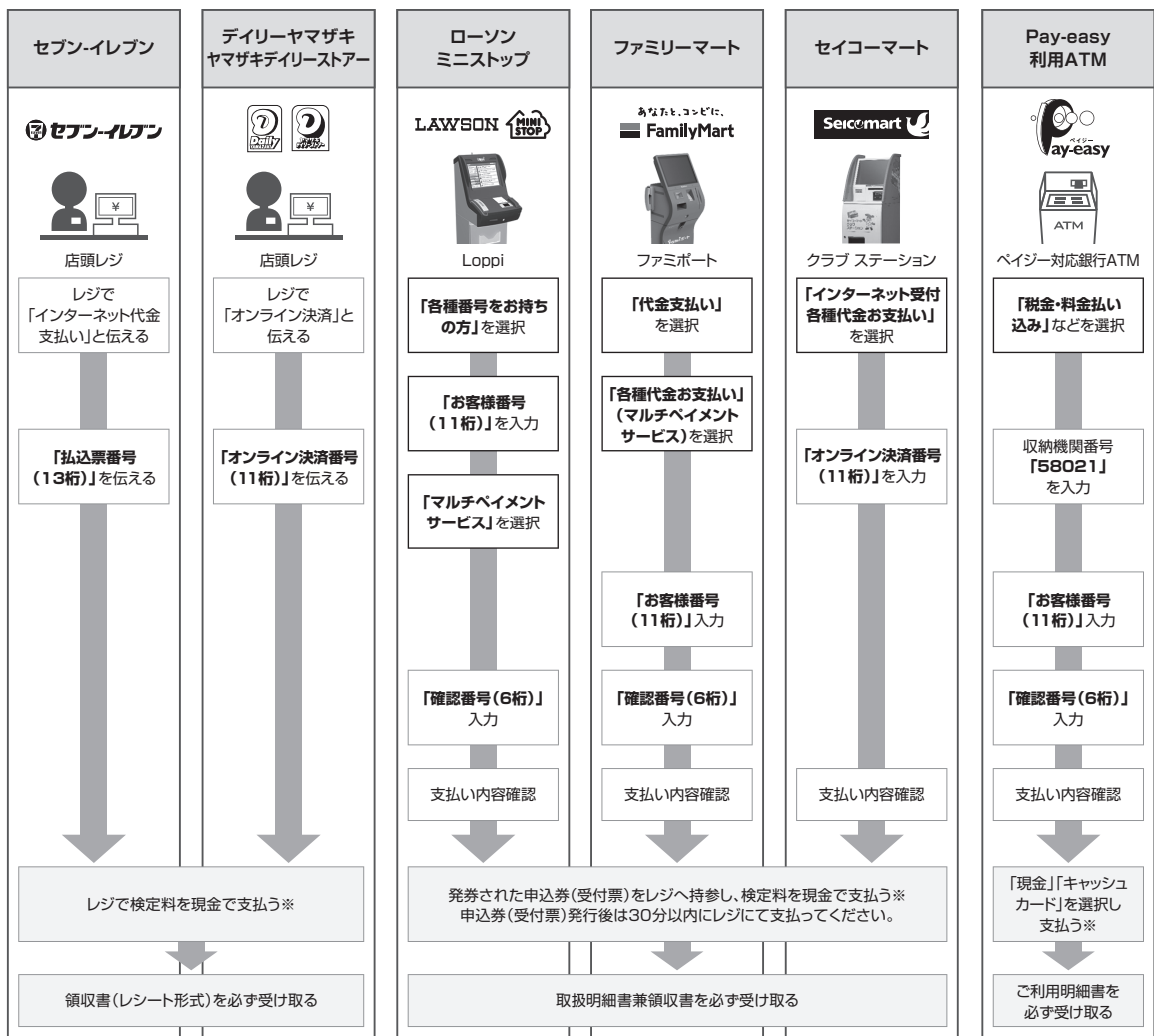
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

## 3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。



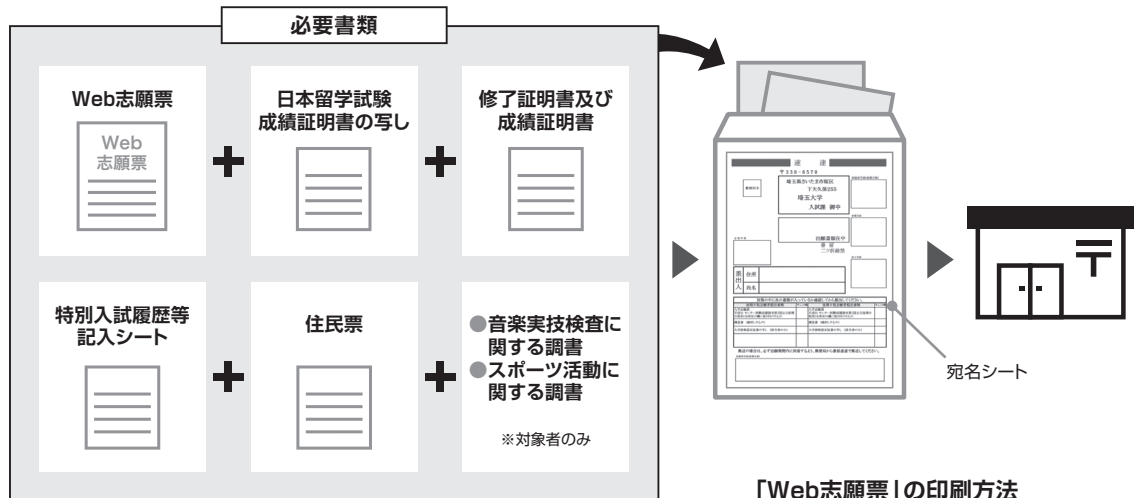
STEP

5

必要書類の郵送

\*登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

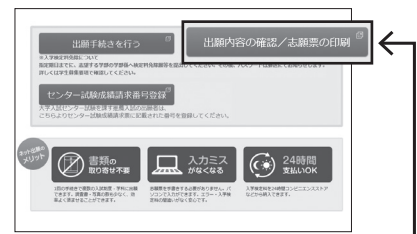
登録完了画面、または確認メールに記載されている必要書類を郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。※出願期間内必着です。



**送付先** 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学入試課 行

**■出願書類**  
詳細は本学HPで公表している学生募集要項で確認してください。  
※出願受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

「Web志願票」の印刷方法



「出願内容の確認/志願票の印刷」ボタンより、受付番号(\*)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、Web志願票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の  
注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

Web出願は24時間可能です。ただし、出願期間最終日の出願登録、入学検定料の支払は、17時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)までとなりますが、必要書類の郵送は各募集要項で定められた期間内に必ず到着するよう、ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

6

受験票の印刷

\*出願締切後にご登録のメールにご連絡します。

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間受付終了後から試験前日までに一斉に受験票を配信します。Web出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に片面印刷してください。



## 9 受験票のダウンロード

- (1) 令和2年2月12日(水)に、出願時に登録したメールアドレスへ「**受験票ダウンロード通知メール**」を**送信しますので**、受験票をダウンロードして印刷してください。

なお、メールが届かない場合であっても、出願が受理されていれば、同日以降に受験票のダウンロードができますので、下記【STEP2】【STEP3】を参照して受験票をダウンロードし、印刷してください。


ダウンロードした受験票の氏名等に間違いがある場合、学務部入試課へ連絡してください。

連絡先: 埼玉大学学務部入試課 【電話 048 (858) 3036】

- 【STEP1】 志願者より郵送される出願書類を本学にて確認後、インターネット出願時に登録したメールアドレスへ以下のとおり受験票ダウンロード通知メールを送信します。

【埼玉大学】出願サービス 受験票印刷可能メール 受信トレイ x

---

 no-reply@e-apply.jp disc.co.jp 経由  
To e-apply\_staff

◆=====◆  
【e-applyインターネット申込受付サイト】  
埼玉大学 出願サービス 受験票印刷可能のご案内  
◆=====◆

\*\*\*\*\*

このたびは、出願サイトをご利用いただき、誠にありがとうございます。  
受験票の印刷が可能となりましたので、お知らせいたします。

■受付番号  
228823856610  
※受験番号ではありません。

■以下のURLから登録内容を必ず確認の上、受験票を印刷してください。  
<https://rehearsal.e-apply.jp/n/saitama-n/login/228823856610>

■注意  
○試験当日は、印刷をした受験票を持参してください。  
○スマートフォン等の画面表示による受験票の提示は認めません。  
○受験票が印刷できない場合は、速やかに募集要項に記載されている問い合わせ先に連絡をしてください。  
○本メールは入試が終了するまで大切に保管をしてください。

\*\*\*\*\*

本メールは、送信専用メールアドレスから配信されています。  
返信をいただいてもお答えできませんので、ご了承下さい。


問い合わせについては、募集要項に記載されている問い合わせ先に連絡願います。

当メールに心当たりが無い場合は、誠に恐れ入りますが破棄していただきますよう、  
よろしく申し上げます。

\*\*\*\*\*

【STEP2】 受験票ダウンロード通知メールを受信後、登録内容確認画面にログインします。

登録内容確認ページにログインするには、出願登録時の【受付番号(数字 12桁)・生年月日・メールアドレス】が必要になります。



## Step6 受験票の印刷

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールにて通知します。  
必ず印刷し、試験当日持参してください。

🔴 出願内容の確認 / 志願票・受験票の印刷はこちら



※ トップページ / Top

出願したときの受付番号(12桁)、生年月日、メールアドレスを入力して、「ログイン」ボタンを押してください。

### ログイン

受付番号	<input type="text"/>	(半角数字)
生年月日	2000 / 01 / 01	
メールアドレス	<input type="text"/>	

ログイン

※ サイトの管理運営は株式会社システムズが行っています。  
© DISCO Inc.

【STEP3】 ログイン後、受験生登録画面より受験票(PDF)をダウンロードし、カラー印刷して、試験当日に持参してください。

#### お申込内容

受付番号	228582633633
受付日時	2019年1月14日 0時00分00秒
検定料	17,000 円
決済種別	クレジットカード
払込手数料	810 円
合計金額	17,810 円

書類(PDF)の表示	<p>入学検定料は納入済みです。</p> <p>【入学志願票等を印刷する皆さまへ】 次のボタンを押して表示される「入学志願者名票」「出願書類提出用宛名シート」を印刷し、その他必要な書類とあわせて、必ず提出期限内に「簡易書留・速達郵便」で郵送してください。 (必要書類・提出期限は必ず募集要項を確認してください。) ※「入学志願者名票」には「平成31センター試験成績請求票」を必ず貼付して提出してください(一般入試志願者のみ)。 ※「出願書類提出用宛名シート」は送付先の宛名等があらかじめ記載されていますので、書類を封入する角形2号封筒の表面に貼付して使用してください。</p> <p>【大学入試センター成績請求票貼付用紙を印刷する皆さまへ】 次のボタンを押して表示される「大学入試センター成績請求票貼付用紙」を印刷し、用紙に記載された説明をよく読み、「推薦 国公立推薦入試用」成績請求票を貼り付けのうえ、「〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学入試課」宛に12月19日(水)迄に届くよう郵送してください。</p> <p style="text-align: center;"><a href="#">書類(PDF)の表示</a></p>
受験票等のPDF	<a href="#">受験票等のPDFの表示</a>

#### 写真

(2)「埼玉大学受験票」は、個別学力検査受験、入学手続及び入試情報開示請求の際に必要なため、大切に保管しておいてください。

## 10 合否照会システムの利用方法について

### ■WEB による合否結果通知

#### 1. URLの入力

URL: <https://www.gouhi.com/saitama-u/>



※QRコードリーダー対応携帯電話をお持ちの方は、右のQRコードを読み取り、表示されたURLをクリックしてインターネットに接続してください。

#### 2. 操作手順



## (参考) 出願資格区分2における別表

【別表1】文部科学大臣指定準備教育課程一覧

準備教育課程の名称	位 置	備 考
東京外国語大学留学生日本語教育センター学部留学生準備教育課程	東京都 府中市	
大阪外国語大学留学生日本語教育センター学部留学生準備教育課程	大阪府 箕面市	平成十二年四月一日以降、平成十八年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
大阪外国語大学日本語日本文化教育センター学部留学生準備教育課程	大阪府 箕面市	平成十八年四月一日以降、平成十九年九月三十日までに当該課程に入学した者に限る。
大阪大学日本語日本文化教育センター学部留学生準備教育課程	大阪府 箕面市	
拓殖大学言語文化研究所附属日本語研修センター準備教育課程	東京都 文京区	平成十二年四月一日以降、平成十五年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
拓殖大学日本語学校準備教育課程	東京都 文京区	平成十五年四月一日以降、平成十九年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
京都コンピュータ学院鴨川校京都日本語研修センター進学準備1年コース及び進学準備1年半コース	京都府 京都市	
大阪 YMCA 学院日本語学科1年コース、日本語学科1年半コース及び日本語学科2年コース	大阪府 大阪市	平成十八年四月一日以降、平成二十一年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
大阪YMCA学院総合日本語1年コース、総合日本語1年半コース及び総合日本語2年コース	大阪府 大阪市	
環球日本語学習院日本語科進学準備2年コース	宮城県 仙台市	平成二十三年四月一日以降、平成二十六年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
環球日本語学習院進学特別課程2年コース及び進学特別課程1年半コース	宮城県 仙台市	
セントメリー日本語学院準備教育課程Aコース及び準備教育課程Bコース	栃木県 宇都宮市	
学校法人三井学園武蔵浦和日本語学院進学準備1年課程及び進学準備1年半課程	埼玉県 さいたま市	平成十六年四月一日以降、平成十九年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
学校法人三井学園武蔵浦和日本語学院進学準備2年課程及び進学準備1年半課程	埼玉県 さいたま市	平成十九年四月一日以降、平成二十二年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
学校法人三井学園武蔵浦和日本語学院進学準備課程2年コース及び進学準備課程1年6か月コース	埼玉県 さいたま市	
大原日本語学院準備教育課程1年コース及び準備教育課程1年半コース	東京都 千代田区	
学校法人新井学園赤門会日本語学校本校大学進学のための準備教育2年コース及び大学進学のための準備教育1.5年コース	東京都 荒川区	
カルチャー・アンド・ランゲージ・センター日本語学校日本語学科1、日本語学科2及び日本語学科3	東京都 新宿区	平成十三年四月一日以降、平成十五年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
KCP 地球市民日本語学校特別進学課程1年半コース及び特別進学課程2年コース	東京都 新宿区	
国際学会日本語学校進学課程1年コース及び進学課程1年半コース	東京都 新宿区	平成十二年四月一日以降、平成十六年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
日本学生支援機構東京日本語教育センター進学課程1年コース及び進学課程1年半コース	東京都 新宿区	
財団法人言語文化研究所附属東京日本語学校進学科1年コース、進学科1年半コース及び進学科2年コース	東京都 渋谷区	平成十二年四月一日以降、平成二十一年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
学校法人長沼スクール東京日本語学校進学科1年コース、進学科1年半コース及び進学科2年コース	東京都 渋谷区	
淑徳日本語学校大学進学課程A及び大学進学課程B	東京都 板橋区	
新宿日本語学校日本語学科1、日本語学科2及び日本語学科3	東京都 新宿区	
ジェット日本語学校日本語進学科A及び日本語進学科B	東京都 北区	
千駄ヶ谷日本語学校日本語学科I部準備教育課程2年コース、日本語学科I部準備教育課程1年6ヶ月コース、日本語学科II部準備教育課程2年コース及び日本語学科II部準備教育課程1年6ヶ月コース	東京都 豊島区	平成十八年四月一日以降、平成二十二年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
千駄ヶ谷日本語学校日本語学科I部準備教育課程1年6ヶ月コース、日本語学科I部準備教育課程2年コース、日本語学科II部準備教育課程1年6ヶ月コース及び日本語学科II部準備教育課程2年コース	東京都 新宿区	
東京工科大学附属日本語学校大学準備教育2年コース	東京都 大田区	平成二十二年四月一日以降、平成二十三年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
東京国際大学付属日本語学校準備教育課程A学科及び準備教育課程B学科	東京都 新宿区	
東京国際大学付属日本語学校準備教育課程4月コース及び準備教育課程10月コース	東京都 新宿区	

メロス言語学院日本語総合準備教育2年課程, 日本語総合準備教育1年6ヶ月課程及び日本語総合準備教育1年課程	東京都豊島区	
山野日本語学校大学進学予備教育1年コース及び大学進学予備教育1年半コース	東京都渋谷区	平成十二年四月一日以降, 平成十五年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
山野日本語学校大学進学準備教育1年コース及び大学進学準備教育1年半コース	東京都渋谷区	
国際ことば学院大学進学コース	静岡県静岡市	平成十四年四月一日以降, 平成二十年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
国際ことば学院日本語学校大学進学コース	静岡県静岡市	
静岡日本語教育センター進学特別課程	静岡県静岡市	
学校法人育英館関西語学院進学準備教育1年半コース及び進学準備教育1年コース	京都府京都市	
関西国際学友会日本語学校本科課程1年コース及び本科課程1年半コース	大阪府大阪市	平成十二年四月一日以降, 平成十六年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
日本学生支援機構大阪日本語教育センター本科課程1年コース及び本科課程1年半コース	大阪府大阪市	平成十六年四月一日以降, 平成二十年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
日本学生支援機構大阪日本語教育センター進学課程1年コース及び進学課程1年半コース	大阪府大阪市	
英数学館岡山校日本語科大学進学準備1年半コース	岡山県岡山市	平成十四年四月一日以降, 平成二十年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
九州英数学館国際言語学院日本語学科大学進学準備コース	福岡県福岡市	平成十二年四月一日以降, 平成十三年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
九州英数学館国際言語学院日本語学科大学進学準備1.5年コース及び日本語学科大学進学準備2年コース	福岡県福岡市	
財団法人アジア学生文化協会留学生日本語コース大学進学準備1年課程及び留学生日本語コース大学進学準備1.5年課程	東京都文京区	平成十二年四月一日以降, 平成二十六年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
公益財団法人アジア学生文化協会留学生日本語コース大学進学準備1年課程及び留学生日本語コース大学進学準備1.5年課程	東京都文京区	
東京ギャラクシー日本語学校準備教育課程2年コース及び準備教育課程1年6カ月コース	東京都中央区	
帝京マレーシア日本語学院日本留学準備教育課程15カ月コース, 日本留学準備教育課程18カ月コース及び日本留学準備教育課程20カ月コース	マレーシア クアラルンプール	平成十六年四月一日以降, 平成十八年十二月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
帝京マレーシア日本語学院日本留学準備教育課程12カ月コース, 日本留学準備教育課程18カ月コース及び日本留学準備教育課程20カ月コース	マレーシア クアラルンプール	

・このほか、中国赴日本国留学生予備学校（中華人民共和国吉林省）があります。

※ 掲載されている情報は平成28年2月18日現在のものです。以降の更新情報については、文部科学省のホームページでご確認ください。

### 【別表2】文部科学大臣指定研修施設一覧

○現在も運営しているもの

名称	所在地
中国帰国者定着促進センター	埼玉県
東京都中国帰国者自立研修センター	東京都
大阪府中国帰国者自立研修センター	大阪府

○閉所したもの

名称	所在地	閉所日
大阪中国帰国者定着促進センター	大阪府	平成20年4月30日
福岡中国帰国者定着促進センター	福岡県	平成16年4月30日
北海道中国帰国者自立研修センター	北海道	平成19年7月31日
山形県中国帰国者自立研修センター	山形県	平成19年6月30日
埼玉県中国帰国者自立研修センター	埼玉県	平成19年3月31日
千葉県中国帰国者自立研修センター	千葉県	平成21年3月31日
神奈川県中国帰国者自立研修センター	神奈川県	平成21年3月31日
長野県中国帰国者自立研修センター	長野県	平成20年3月31日
愛知県中国帰国者自立研修センター	愛知県	平成18年8月31日
京都府中国帰国者自立研修センター	京都府	平成20年3月31日
広島県中国帰国者自立研修センター	広島県	平成18年8月31日
福岡県中国帰国者自立研修センター	福岡県	平成19年12月31日

※掲載されている情報は平成22年4月1日現在のものです。以降の更新情報については、文部科学省のホームページでご確認ください。

### 【別表3】文部科学大臣指定 高等学校に対応する外国の学校の課程一覧

外国の学校の課程の名称	適用開始日
ウズベキスタン共和国のシコーラ・スレドゥネヴァ・オブラゾヴァーニヤの課程	平成二十九年三月十五日
スーダン共和国のアル・マドサラ・アッ・サーナウィーヤの課程	平成四年一月一日
ベラルーシ共和国のトレーチャ・ストゥペニ・オープシェヴォ・スレドネヴォ・オブラゾヴァーニヤの課程	平成二十三年一月十三日
ペルー共和国のエスクエラ・セクンダリアの課程	明治三十四年三月九日

ミャンマー連邦共和国のアテッタン・アスイン・ピンニャーイェーの課程（旧ビルマ連邦社会主義共和国のアテッタン・アスイン・ピンニャーイェーの課程を含む。）	昭和四十八年十月一日
ロシア連邦のオブシェエ・スレドニェエ・オブラゾヴァーニエの課程	平成二十一年十月六日

（適用開始日以後に修了した者が対象となる）

※掲載されている情報は平成31年1月31日現在のものです。以降の更新情報については、文部科学省のホームページでご確認ください。

【別表4】我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校一覧（12年以上の課程）

学校名	所在する都道府県	備考
インスチット・エドゥカレ（名称変更前のエスコラ・ピンゴ・デ・ジェンテを含む。）	茨城県	平成18年2月6日以降に当該課程を修了した者に限る。
エスコラ・エ・クレシェ・ド・グルーボ・オピソン	茨城県	
インスチット・エドカシヨナル・ジェンテ・ミウダ	群馬県	
インスチット・エドカシヨナル・セントロ・ニッポ・ブラジレイロ・デ・オイズミ	群馬県	
エスコラ・パラレロ各種学校（名称変更前のエスコラ・パラレロ 太田校を含む。）	群馬県	
伯人学校イーエーエス太田（名称変更前のコレージョ・ピタゴラス・ブラジル 太田校を含む。）	群馬県	
エスコラ・インテルクートウラウ・ユニフィカーダ・アルコ・イリス	埼玉県	
各種学校インスチット エドゥカシオナル ティー・エス レクレアソン	埼玉県	平成26年12月8日以降に当該課程を修了した者に限る。
コロンビア・インターナショナルスクール	埼玉県	
インディアン・インターナショナル・スクール・イン・ジャパン	東京都	平成23年4月1日以降に当該課程を修了した者に限る。
インドネシア学校東京	東京都	
カナディアン・インターナショナルスクール	東京都	
東京韓国学校中・高等部（名称変更前の東京韓国学校を含む。）	東京都	
東京国際フランス学園（名称変更前のリセ・フランコ・ジャポネ・ド・トウキョウ及びリセ・フランコ・ジャポネ・ド・東京 柳北校を含む。）	東京都	
東京中華学校	東京都	
東京横浜独逸学園	神奈川県	
横浜中華学院	神奈川県	
アルプス学園（名称変更前のコレージョ・ピタゴラス・ブラジル 山梨校を含む。）	山梨県	
コレージョ・エ・クレシェ・サウ・エ・ルス	長野県	平成18年2月6日以降に当該課程を修了した者に限る。
長野日伯学園（名称変更前のコレージョ・ピタゴラス・ブラジル 長野校を含む。）	長野県	
コレージョ・イザキ・ニュートン	岐阜県	
セントロ・エドカシヨナル・ノヴァ・エターバ	岐阜県	
ソシエダーデ・エドカシヨナル・ブラジリアン・スクール	岐阜県	
HIRO学園 エスコラ ブラジレイラ プロフェッソールカワセ（名称変更前のエスコラ・ブラジレイラ・プロフェッソール・カワセを含む。）	岐阜県	平成18年2月6日以降に当該課程を修了した者に限る。
エスコラ・アウカンセ	静岡県	
エスコラ・ノヴァ・エラ	静岡県	
エスコラ・ブラジル（名称変更前のエスコラ・ブラジレイラ・デ・ハママツを含む。）	静岡県	平成18年2月6日以降に当該課程を修了した者に限る。
セントロ・エドカシヨナル・イ・プロフィシオナリザンチ・CEP ブラジル	静岡県	
伯人学校イーエーエス浜松（名称変更前のエスコラ・アレグリア・デ・サベール 浜松校を含む。）	静岡県	平成18年2月6日以降に当該課程を修了した者に限る。
ムンド・デ・アレグリア学校（ブラジル課程に限る。）	静岡県	平成25年1月31日以降に当該課程を修了した者に限る。
エスコラ・サンパウロ	愛知県	平成18年2月6日以降に当該課程を修了した者に限る。
エスコラ・ネクター	愛知県	
コレージョ・ブラジル-ジャボン・プロフェッソール・シノダ	愛知県	
伯人学校イーエーエス豊田（名称変更前のエスコラ・アレグリア・デ・サベール 豊田校を含む。）	愛知県	
伯人学校イーエーエス豊橋（名称変更前のエスコラ・アレグリア・デ・サベール 豊橋校を含む。）	愛知県	平成18年2月6日以降に当該課程を修了した者に限る。
伯人学校イーエーエス碧南（名称変更前のエスコラ・アレグリア・デ・サベール 碧南校を含む。）	愛知県	
ニッケン学園	三重県	
伯人学校イーエーエス鈴鹿（名称変更前のエスコラ・ア	三重県	

レグリア・デ・サベール 鈴鹿校を含む。)		平成18年2月6日以降に当該課程を修了した者に限る。
日本ラチーノ学院 (名称変更前のコレージョ・ラティーノ・デ・シガを含む。)	滋賀県	

12年以上の課程で廃校となったもの

学校名	所在する都道府県	備考
コレージョ・ピタゴラス・ブラジル 真岡校	栃木県	平成18年2月6日から平成21年12月31日までの間に当該課程を修了した者に限る。
エスコーラ・パラレロ 伊勢崎校	群馬県	平成18年2月6日から平成21年3月31日までの間に当該課程を修了した者に限る。
セントロ・エドカシヨナル・カナリーニョ	埼玉県	平成18年2月6日から平成21年3月31日までの間に当該課程を修了した者に限る。
セントロ・デ・アプレンジザージェン・ロゴス	埼玉県	平成18年2月6日から平成22年4月1日までの間に当該課程を修了した者に限る。
エスコーラ・パラレロ 伊那校	長野県	平成18年2月6日から平成18年12月31日までの間に当該課程を修了した者に限る。
セントロ・エドカシヨナル・ノヴォ・ダマスコ	長野県	平成24年3月14日までに当該課程を修了した者に限る。
インスチツト・エドカシヨナル・エマヌエウ	岐阜県	平成18年2月6日から平成19年9月14日までの間に当該課程を修了した者に限る。
エスコーラ・ウノ・デ・エデュカソン・インファンチュウ・エンシーノ・フンダメンタウ・エ・エンシーノ・メディオ	静岡県	平成18年2月6日から平成19年10月31日までの間に当該課程を修了した者に限る。
エスコーラ・ニッポ・ブラジレイラ	静岡県	平成18年2月6日から平成21年10月5日までの間に当該課程を修了した者に限る。
コレージョ・ピタゴラス・ブラジル 浜松校	静岡県	平成18年2月6日から平成24年5月8日までの間に当該課程を修了した者に限る。
コレージョ・アウレオ	愛知県	平成18年2月6日から平成22年5月15日までの間に当該課程を修了した者に限る。
コレージョ・ドン・ボスコ	愛知県	平成18年2月6日から平成23年3月11日までの間に当該課程を修了した者に限る。
コレージョ・ピタゴラス・ブラジル 愛知校	愛知県	平成18年2月6日から平成24年5月8日までの間に当該課程を修了した者に限る。
京都韓国中学	京都府	平成18年3月31日までに当該課程を修了した者に限る。

※ 掲載されている情報は平成31年3月28日現在のものです。以降の更新情報については、文部科学省のホームページでご確認ください。

【別表5】我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校一覧（12年未満の課程）

学校名	所在する都道府県	備考
ムンド・デ・アレグリア学校 (ペルー課程に限る。)	静岡県	
エスコーラ・エ・クレシェ・ド・グルーポ・オピソン	茨城県	平成18年2月5日までに当該課程を修了した者に限る。
エスコーラ・ピンゴ・デ・ジェンテ	茨城県	
コレージョ・ピタゴラス・ブラジル 真岡校	栃木県	
インスチツト・エドカシヨナル・ジェンテ・ミウーダ	群馬県	
インスチツト・エドカシヨナル・セントロ・ニッポ・ブラジレイロ・デ・オイズミ	群馬県	
エスコーラ・パラレロ 伊勢崎校 (名称変更前のエスコーラ・パラレロ 東村校を含む。)	群馬県	
エスコーラ・パラレロ 太田校	群馬県	
コレージョ・ピタゴラス・ブラジル 太田校	群馬県	
セントロ・エドカシヨナル・カナリーニョ	埼玉県	
セントロ・デ・アプレンジザージェン・ロゴス	埼玉県	
コレージョ・ピタゴラス・ブラジル 山梨校	山梨県	
エスコーラ・パラレロ 伊那校	長野県	
コレージョ・エ・クレシェ・サウ・エ・ルス	長野県	
コレージョ・ピタゴラス・ブラジル 長野校	長野県	
インスチツト・エドカシヨナル・エマヌエウ	岐阜県	
エスコーラ・ブラジレイラ・プロフェソール・カワセ	岐阜県	
セントロ・エドカシヨナル・ノヴァ・エターバ	岐阜県	
ソシエダーデ・エドカシヨナル・ブラジリアン・スクール	岐阜県	
エスコーラ・アレグリア・デ・サベール 浜松校	静岡県	
エスコーラ・ウノ・デ・エデュカソン・インファンチュウ・エンシーノ・フンダメンタウ・エ・エンシーノ・メディオ	静岡県	
エスコーラ・ニッポ・ブラジレイラ	静岡県	
エスコーラ・ブラジレイラ・デ・ハママツ	静岡県	



コレジオ・ピタゴラス・ブラジル 浜松校	静岡県
エスコラ・アレグリア・デ・サベール 豊田校	愛知県
エスコラ・アレグリア・デ・サベール 豊橋校	愛知県
エスコラ・アレグリア・デ・サベール 碧南校	愛知県
エスコラ・サンパウロ	愛知県
エスコラ・ネクター	愛知県
コレジオ・アウレオ	愛知県
コレジオ・ドン・ボスコ	愛知県
コレジオ・ピタゴラス・ブラジル 愛知校（名称変更前のコレジオ・ピタゴラス・ブラジル 半田校を含む。）	愛知県
エスコラ・アレグリア・デ・サベール 鈴鹿校	三重県
コレジオ・ラティノー・デ・シガ	滋賀県

※ 掲載されている情報は平成31年3月28日現在のものです。以降の更新情報については、文部科学省のホームページでご確認ください。

## Ⅶ 全選抜共通事項

### 1 出願・受験等に関する注意事項等について

#### 1 障がい等のある入学志願者の事前相談について

本学に出願を希望する者で、身体等に障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、次により本学へ事前相談の申請を行う必要がある。

なお、不明な点又は事前相談の締切日までに申請することができない場合には事前相談担当まで相談すること。

事前相談担当：アドミッションセンター（入試課） TEL048-858-3036（平日 9時～17時）

##### (1) 申請方法

申請する場合は、次の該当する①～③を【〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学学務部入試課】あてに提出すること。

郵送の場合は、「受験上及び修学上の配慮申請書類在中」と封筒に朱書きすること。

提出された書類に基づき、本学関係者で検討を行う。ただし、検討の過程において、本人、保護者又は出身学校関係者へ照会する場合がある。

①	令和2年度埼玉大学入学者選抜試験受験上及び修学上の配慮申請書（本学所定の用紙） 申請用紙は、学務部入試課の窓口で直接受け取るか、埼玉大学ホームページからダウンロードして入手すること。（ <a href="http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/consultation/hairyo-shinsei.pdf">http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/consultation/hairyo-shinsei.pdf</a> ）
②	医師の診断書（障がいの程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの） 発行後6ヶ月以内の原本又は大学入試センター試験において受験上の配慮を申請して、その後、症状並びに希望する措置等に変更がない場合には、大学入試センターに提出した医師の診断書の写しを提出してもよい。
③	受験上の配慮事項決定通知書 大学入試センター試験において、受験上の配慮を申請して認められた場合、大学入試センターより「受験上の配慮事項決定通知書」が送付される。埼玉大学に事前相談を申請する際は、その通知書の写しを提出すること。

##### (2) 申請書提出時期

令和元年12月16日(月)から令和元年12月24日(火)までに申請すること。

障がいの程度が重度な場合には対応の検討に時間を要することもある。その場合にはできるだけ早めに申請すること。

なお、上記の締切日以降を過ぎた時点で申請した場合は、出願受付期間前に回答することができないことがある。その場合には、要望事項等への回答が来る前であっても出願受付期間内に出願する必要があるため、出願後に希望した措置の可否が通知されることになる。（出願受付期間を延長することはできない。）

##### (3) 申請受付後の回答日

出願受付期間開始日の前日（予定）

提出された書類を元に、ご希望の措置が実施できるか本学関係者が検討を行い、支障がないことを確認した時点で、事前相談申請書に記載されている住所あてに、回答文書を郵送する。そのため、上記の回答日はあくまで予定日となる。

##### (4) 出願時の手続

① この申請で受験許可を得た者は、出願書類を郵送後、その旨を上記の事前相談担当に電話連絡すること。

② この申請で受験許可を得た者が、出願を辞退、又は出願したが受験しない場合は、速やかに上記の事前相談担当に電話連絡するとともに、はがき又は手紙で通知すること。

#### 2 併願校の記載について

本学では、今後の入学試験の方法等の改善の資料とするため、併願校の記載を求めるが、個々人の合否判定の資料には使用しない。

### 3 受験にあたっての注意事項

- (1) 試験場については、埼玉大学を予定しているが、出願状況によっては近隣の学外試験場で実施することがある。試験場の所在地、道順等について受験票と同時にダウンロードする「受験案内」等により通知するので特に注意すること。
- (2) 一般入試志願者は、試験当日、大学入試センター試験受験票も必ず持参すること。
- (3) 試験に関する諸注意事項は、受験票と同時に送付する「受験案内」等及び試験当日の各試験場での掲示により知らせる。
- (4) 提出書類のうち外国語により作成されているものは、日本語の訳文を必ず添付すること。
- (5) 問い合わせは、原則として志願者本人が行うこと。なお、本要項の記載に関すること以外の問い合わせには応じない。
- (6) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、本学が行う学力検査等の受験を許可しないことがある。また、入学後でも入学を取り消すことがある。

### 4 欠員補充

- (1) 追加合格  
入学手続締切期日後、欠員が生じた場合の追加合格者は令和2年3月28日(土)以降に通知する。  
**※電話による合否結果の問い合わせには一切応じない。**  
本学への入学を辞退した者は当該学部・学科の追加合格者の対象とならない。  
他の国公立大学に合格しなかった者及び合格したが入学を辞退した者のうち、該当者に電話又は電子郵便により通知する。
- (2) 欠員補充第2次募集  
追加合格によっても募集人員に満たない場合は、「欠員補充第2次募集」を実施する。  
この募集の出願は、令和2年3月24日(火)の時点でいずれの国公立大学にも合格していない者及び、同時点で国公立大学に合格していたが、この募集の出願時にいずれの国公立大学にも入学手続を行っていない者に限られる。なお、欠員補充第2次募集への出願は、一つの大学・学部に限られる。  
また、この第2次募集に出願後、他の国公立大学へ入学手続を行った場合は、受験しても入学許可は得られない。

### 5 埼玉大学入試情報ホームページ(出願状況、合格状況)

【パソコン】 <http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/index.html>

【パソコン・スマホ】 <http://telemail.jp/web/saitama-u/>



スマホサイトQRコード

### 6 入試情報の開示

埼玉大学では、令和2年度入試情報を次のとおり開示する。

- (1) 開示対象者  
本募集要項による入試を受験し、不合格になった者を対象とする。  
(また、前・後期日程両方を受験し、前期日程は不合格、後期日程に合格した者は、開示対象者としない。)
- (2) 学力検査の成績等(請求に基づく)
  - ①大学入試センター試験成績(総合点、科目別得点)
  - ②個別学力検査等の成績(総合点、科目別得点)
  - ③順位
  - ④合格者の最低点・平均点(募集単位毎に合格者が6名以上の場合、総合点を開示する。)

#### 開示請求方法

1 申請者：受験生本人に限る。

2 請求方法

- (1) 必要事項を記入した「埼玉大学入試情報開示申請書」  
(以下のホームページからダウンロードする。)  
[http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam\\_info/disclosure/kaiji\\_shinsei.pdf](http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/disclosure/kaiji_shinsei.pdf)

- (2) 返送先の住所・氏名を記載し、404円分の切手を貼付した返信用封筒(長形3号封筒、「簡易書留」と朱書すること。)

※前・後期日程の2件申請する場合は返信用封筒は2つ必要。

- (3) 本学の受験票または大学入試センター試験の受験票  
(本人確認のため、正本に限る。コピー不可)

上記(1),(2),(3)を取り揃え封筒に入れて、下記申請先まで郵送または持参すること。

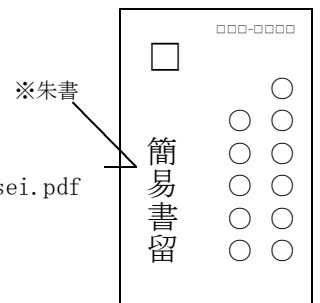
なお、同封された本学受験票等は、開示情報の通知とともに返却いたします。

3 申請期間：令和2年4月6日(月)～4月17日(金)【期間内必着のこと。】

4 申請先：〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255

埼玉大学入試課(「入試情報開示請求」と朱書すること。)

5 提供方法：令和2年5月下旬に郵送する。



<返信用封筒例示>

- (3) 学力検査の正解・解答例又は出題意図  
入試課窓口等で閲覧

## 7 個人情報の保護について

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人埼玉大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱う。

- (1) 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務、④学生宿舎の入居選考を行うために利用する。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用する。
- (3) 上記(1)及び(2)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがある。  
については、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供する。
- (4) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、可否及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達される。
- (5) 出願に当たって知り得た個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。

## 2 埼玉大学の検定料免除及び奨学生について

### 1 検定料の免除

学資負担者が、平成31年4月1日から出願時までには災害救助法が適用された地域（災害救助法適用地域）で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除する。

検定料の免除を希望する志願者は、検定料を払わず、本学ホームページ（[http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam\\_info/exemption/](http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/exemption/)）上から検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、罹災証明書（写しでも可。）を添付して、原則として1月17日（金）（一般入試以外の志願者は1月10日（金））までに、志望する学部の学部係へ提出してください。

本学で検定料免除願を受理し、検定料の免除を認めた場合、出願開始日の前日までにWeb出願時に必要なパスワードを郵送にてお知らせします。

なお、申請期限後に申請を希望する志願者は、志望する学部の学部係へ相談してください。

また、出願時に罹災証明書を提出できない場合は、検定料を払い込んだうえ、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書を提出した場合に検定料を還付します。

(参考)入学検定料免除の対象となる災害救助法適用地域（令和元年10月19日現在）

- 令和元年8月の前線に伴う大雨による災害にかかる被害地域（適用地域：佐賀県被害地域）
  - 令和元年台風第15号の影響による停電に伴う被害地域（適用地域：千葉県被害地域）
  - 令和元年台風第15号による災害にかかる被害地域（適用地域：東京都島しょ大島町）
  - 令和元年台風第19号に伴う災害にかかる被害地域（適用地域：東日本被害地域）
- ※ 適用地域の詳細については、内閣府ホームページを確認してください。

### 2 奨学生

本学では日本学生支援機構、地方公共団体及び民間奨学団体からの奨学生制度もある。

なお、本学部学生のそれぞれの奨学生採用者数は次表のとおりである。（令和元年9月1日現在）

年 度	日本学生支援機構※1-1～1-2		地方公共団体 ※2	民間奨学団体 ※2
	第一種	第二種		
平成29年度	286人	298人	5人	19人
平成30年度	288人	230人	4人	25人
令和元年度	225人	171人	2人	29人

※1-1 第一種基本月額と併せて入学時特別増額貸与を受ける者については、第二種の貸与者数には計上していない。

※1-2 第二種奨学金（短期留学）を含む。

※2 人数は大学側が把握している数である。

### 3 高等教育の修学支援新制度について

令和2年度から【国の高等教育の修学支援制度】が始まります。これは日本学生支援機構が支給する給付型奨学金と大学が行う授業料減免を合わせて行う新しい制度であり、新制度においては日本学生支援機構が支給する給付型奨学金と大学が行う授業料減免はセットで申込をする必要があります。

具体的な基準などは文部科学省ホームページ、日本学生支援機構ホームページを参照ください。

### 4 学生宿舎について

埼玉大学では、修学に適する良好な環境を提供し、自主的な生活を通じて、自立性を培うとともに、規律ある社会性を育む機会を与えることを目的として学生宿舎を設置している。

学生宿舎の居室は、約4.5畳のワンルームタイプ（照明設備、空調設備、IH調理機、机、椅子およびベッドは常設）で、居室数は、男子用144室、女子用128室の合計272室あるが、入居対象を学部の1年生と2年生に限定しているため、例年約半数の居室数分を募集している。

埼玉大学学生宿舎Webページから『令和2年度埼玉大学学生宿舎募集要項』を確認のうえ、『提出用紙様式等』をプリントアウトし、必要書類と併せて指定の方法により提出すること。

なお、Webページから募集要項等が入手できない場合には、返信用封筒を埼玉大学学務部学生支援課へ送付すれば、折り返し『募集要項等一式』を返送する。

送付する返信用封筒は、次のとおりにすること。

#### 返信用封筒

角形2号の封筒（A4サイズの紙を折らずに入る封筒）に、居住地の郵便番号、住所および氏名を記載して、120円分の切手を貼付すること。

速達での郵送を希望する場合は、290円追加して合計410円分の切手を貼付すること。

学生支援課に返信用封筒を送付する封筒の表の余白に、「埼玉大学学生宿舎入居者募集要項請求」と朱書きして送付すること。

学生宿舎入居者募集要項請求先 〒338-8570  
埼玉県さいたま市桜区下大久保255  
埼玉大学学務部学生支援課

#### 令和2年度学生宿舎入居申請出願期間

令和2年2月17日（月）～令和2年2月26日（水） ※期間内必着

個別学力試験の合格発表後、速やかに入居の可否が通知できるよう、出願者を対象に募集及び選考を行い、最終的には合格者に対して入居選考結果の通知を行っている。

そのため出願期間を受験票ダウンロード可能日から前期日程試験日までの一週間程度としている。

必要書類については予め準備し、不備がないよう注意すること。

#### ★ 埼玉大学学生宿舎Webページアドレス（URL）

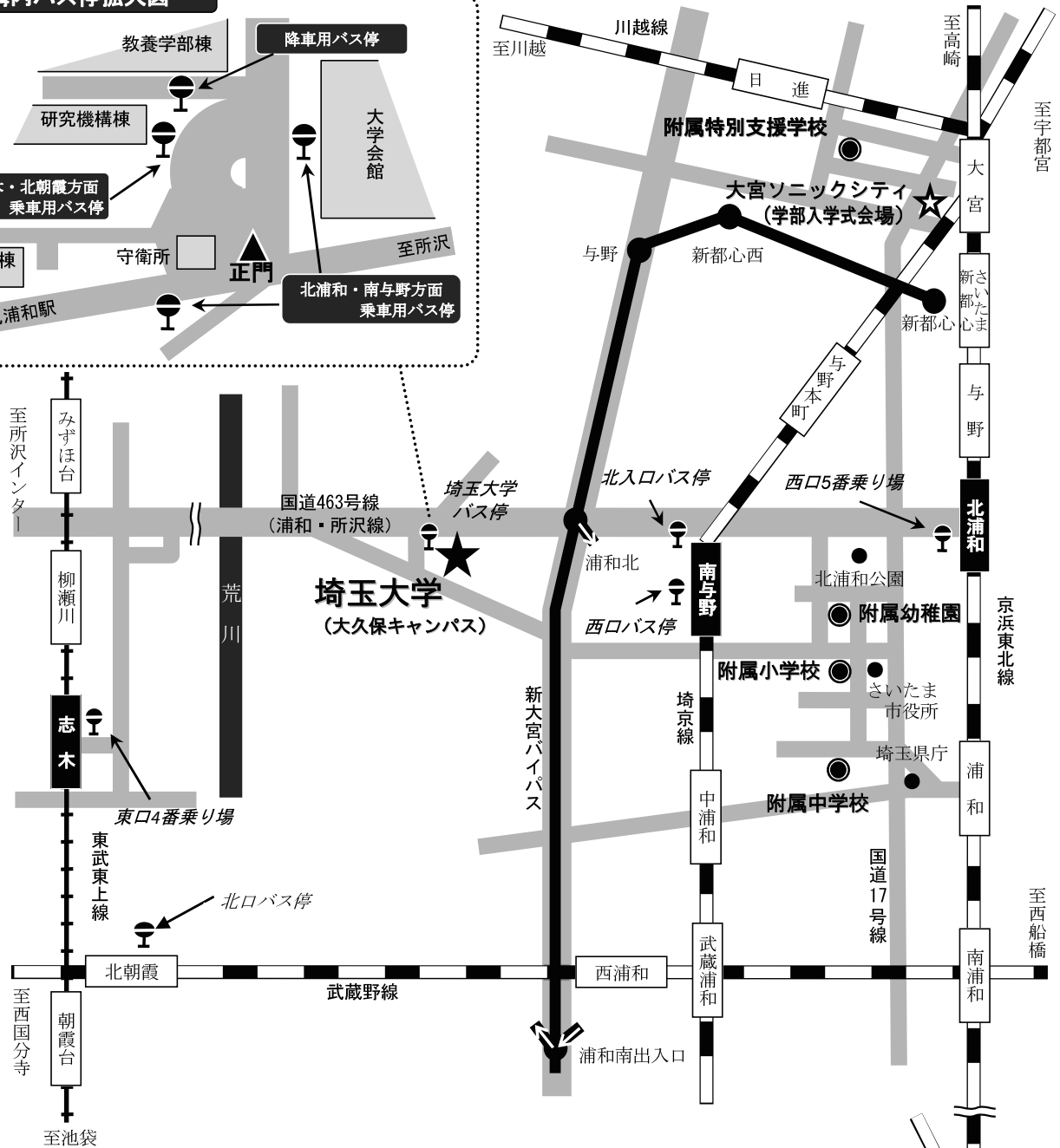
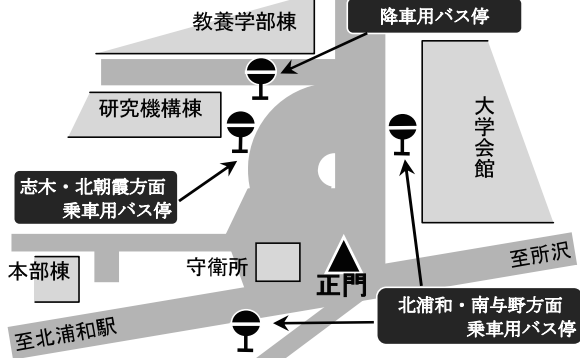
<http://www.saitama-u.ac.jp/support/seikatsu/sisetsu/syukusya/info.htm>

（本学ホームページ内検索で「学生宿舎」と入力しても該当ページが表示される。）

※ 入居希望者が募集人員より多くなることが予想される。入居が許可されない場合に備えて、他の住居（民間アパート等）についても考慮しておくこと。

# 大学周辺地図

## 構内バス停拡大図



## 広域路線図



## 【電車所要時間】

- ◎北浦和まで
    - ・東京から約39分
    - ・上野から約33分
    - ・大宮から約7分
  - ◎南与野まで
    - ・新宿から約34分
    - ・池袋から約29分
    - ・大宮から約7分
  - ◎志木まで
    - ・池袋から急行利用で約20分
    - ・成増から約10分
    - ・川越から急行利用で約12分
- 南与野には埼京線通勤快速は停車しませんのでご注意ください。



# 埼 玉 大 学 へ の 経 路

## 最寄り駅まで

J R 池袋駅 → ( J R 埼京線 ) → J R 南与野駅 【約29分】  
J R 新宿駅 → ( J R 埼京線 ) → J R 南与野駅 【約34分】  
J R 大宮駅 → ( J R 京浜東北線 ) → J R 北浦和駅 【約 7分】  
J R 大宮駅 → ( J R 埼京線 ) → J R 南与野駅 【約 7分】  
J R 東京駅 → ( J R 京浜東北線 ) → J R 北浦和駅 【約39分】

## 埼玉大学まで

J R 南与野駅 (西口) → (徒歩) → 埼玉大学 【約25分】  
J R 南与野駅 (北入口) → (バス) → 埼玉大学 【約10分】  
J R 南与野駅 (西口) → (バス) → 埼玉大学 【約10分】  
J R 北浦和駅 (西口) → (バス) → 埼玉大学 【約15分】  
東武 東上線 志木駅 → (バス) → 埼玉大学 【約20分】

試験当日、埼玉大学行のバスは混雑し、道路の渋滞に巻き込まれることが予想されます。  
したがって、最寄り駅からのバスによる場合、本学到着までにかかなりの時間を要することが考  
えられますので、混雑状況によっては、南与野駅からの徒歩による来学 (約25分) を推奨します。

## 自動車・二輪車の入構規制について

本学では、特に許可された者以外は自動車・二輪車でメインキャンパスへの入構はできない  
こととなっておりますので、個別学力検査等受験及び入学手続きの際は、自動車・二輪車で  
の来学はご遠慮願います。

なお、障害等のある方で、自動車・二輪車による入構を希望される方は、事前に連絡願います。  
また、自転車での来学の場合は、構内駐輪場をご利用願います。

## 募集要項についての問い合わせ先

※ 問い合わせは平日の9時~17時の間に、志望者本人が行ってください。

〒 338-8570

埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学アドミッションセンター (入試課)

TEL 048 (858) 3036 <http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/index.html>

教養学部志願者	教養学部係	TEL 048 (858) 3044
経済学部志願者	経済学部係	TEL 048 (858) 3287
教育学部志願者	教育学部係	TEL 048 (858) 3144
理学部志願者	理学部係	TEL 048 (858) 3345
工学部志願者	工学部係	TEL 048 (858) 3429

## インターネット出願についての問い合わせ先

■ 「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター  
(運用会社：株式会社ディスコ) TEL : 0120-202079 E-Mail : cvs-web@disc.co.jp